



Lend a Hand

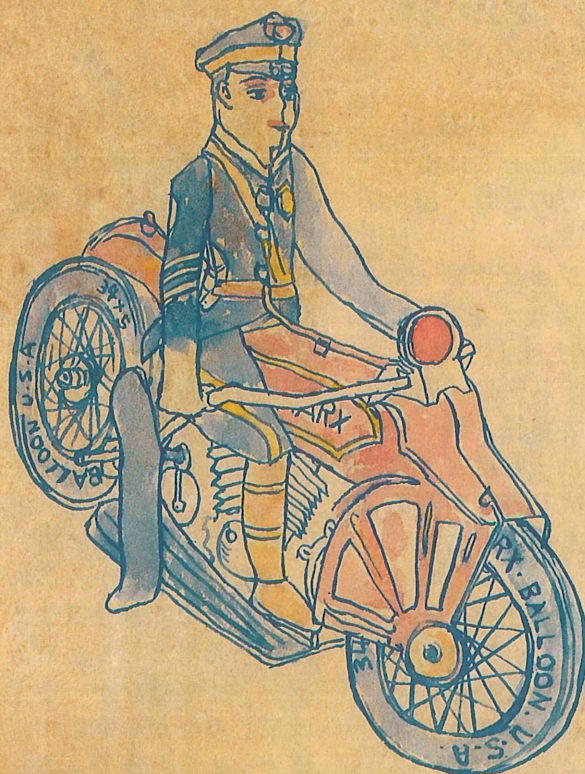
Prêter main-forte
Hilf auch Du
Tendi la mano
手を貸そう
이웃에 도움을 손길줄
Dê a Mão ao Próximo
Una Mano Solidaria
Sträck ut en hand

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2003—2004

ガバナー月信

No.
14

ガバナーメッセージ	2	半田南RCC結成認証状伝達式	19
地区幹事を終えて	3	地区役員・会長幹事懇談会	20
ガバナー補佐報告	4	5.30クリーンキャンペーン	21
地区委員会活動報告	8	出席報告	22
第6回地区諮問委員会	18	地区年次報告書	23



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760 2004年8月20日発行

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 豊島 徳三
〒491-0873 一宮市せんい2-5-11 豊島株式会社 一宮本店内
TEL 0586-75-7071(代) FAX 0586-77-1581
E-mail : governor03-04@rotary2760.org

8/20

ガ バ ナ ー メ ッ セ ー ジ

Governor Message

地区ガバナーを終えて

第2760地区ガバナー 豊島 徳三



一年間、至らぬ私に対し陰に陽に支え、時には厳しい御叱声を時には暖かい励ましを頂きいくつかの過ちを犯しながらも大過なく年度末を迎えることが出来ました。

これも偏に役員或いは会員並びにご家族の皆様のお力添えの賜であり、心より感謝申し上げます。

アナハイムの国際協議会に家内と共に出席し、初めて国際ロータリーの優れた組織とそこに集う世界のロータリアンの友情の輪などの素晴らしさを体験致しました。

ビチャイ・ラタクル R I 会長、ジョナサン・マジアベ R I 会長エレクトから直接教えを享け、『Lend a Hand』を実感して帰国しまして以来、定めに従い次期委員長会議、P E T S、地区協議会、地区大会等を、I . M、地区委員長会議と連日慣れない言語の中で右往左往し、一時はどうなる事かと本当にガバナーの大役を成し遂げられるかと自問自答の中で突っ走ったのも事実でした。

公式訪問では全クラブを訪れる事が出来なくて申し訳ないと思っております。しかし、38カ所の中で多くの会員の心、考え方、各々の土地柄、気質、営みを知り、愛知県に生を享けながらも70年の人生の中で知らない事の方が多く、正に目から鱗でした。この間の皆様の友情と暖かいお心遣いに感謝の外ありません。

延べ距離2,400 k m、靴も鞆も年間一足一ケで過ぎました。今、手元においております。思いを込めて大切に残したいと思っております。

周年記念の多い年でした。80クラブ中21のクラブが何らかの祝事をされ、その中で16クラブへお招き戴きました。何か創立当時に因んだお話をと思い調べ物をする中で、ロータリーの歴史を知る事が出来ました。又、各々のクラブのD . N . Aに触れる事もできました。

国際ロータリー2004年国際大会（関西）における47,000名の登録、三会場での行事には、国際ロータリーの拡がり、国際親善の場として恐らく人生の中で二度と日本での開催はないと思うと、記念すべきその年にガバナーであった事に幸せを感じました。

ロータリー館「友愛の家」を万博の中にパビリオンとして建設に関わり合い、開催中は館長の大役を仰せつかった事は光榮至極に存じます。

しかし、建設のために物心共に会員の皆様に大変ご負担をおかけした事は、役目であり責任ある立場とは申せ、私としては胸が痛み申し訳ない気持ちであります。それにも拘わらずご理解と期待以上のご協力には、只管感謝申し上げるより言葉もございません。

本当に有り難うございました。

未だ申し上げたい事、お礼やお話をしたい事も沢山ございますが、これ以上は駄弁を弄する事になりますので筆を置きます。もしガバナーという役目を義務としてとらえていたら、こんなに辛くシンドイ事はなかったでしょう。しかし私達夫婦は楽しみながら健康で、皆さんのお力添えにより務めをまっとうできました。今はそのことに「幸せ」と「満ち足りた思い」で一杯です。

最後に現在の心境として

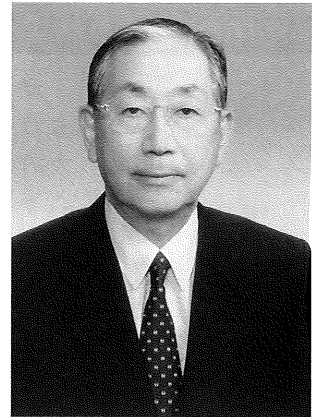
Old Soldiers never die
only just fade away

老兵は死なず、ただ消えゆくのみ

2003～2004年度
ガバナー 豊島 徳三
喜世子

地区幹事を終えて

地区幹事 瀧 義孝



月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり。芭蕉 奥の細道の冒頭の一節であります。正にあっと云う間に一年が過ぎ去ったという感覚であります。大過、小過混じえながらのガバナー事務所運営であり、6月12日（土）地区役員・会長幹事懇談会も終え、やっと一年生の卒業式を修める事が出来ました。

豊島ガバナーノミニ年度、エレクト年度、そしてガバナー年度にわたり、第2760地区の皆様には大変お世話になりました。バストガバナー諮問委員会各位には高所より心温まるご指導をいただきました。歴代地区幹事、地区役員の皆様よりご自身の経験を生かした地区ロータリーの運営についてご教示をいただきました。8分区ガバナー補佐の皆様にはLend a Handをテーマとした素晴らしいリーダーシッププランを実行されました。クラブ会長・幹事会を通し緊密な連携によって、RI会長方針、豊島ガバナー地区方針を浸透していただきました。その成果として、RI意義ある業績賞、RI会長賞（24クラブ）、ガバナー賞、RI会員増強・拡大賞、RI広報賞を受賞されるに至りました。クラブ会長・幹事各位のご尽力に感謝申し上げる次第であります。

ガバナー訪問38回、周年記念行事21クラブ、国際博委員会、大阪国際大会（関西）等々過密スケジュールの一年を乗り切れた事に感謝いたしております。こうした機会を与えられ、新たにロータリーの深さ、活動の広さに多くの教訓を得た体験はかけがえのない事と感謝すると共に、より自身の高揚をはかる機会であった事と感謝いたしております。

2003～2004年度の2760地区の課題

1. 会員退会防止、会員増強の問題

2003年7月1日 5,477人
2004年6月30日 5,353人（-124人）
入会325人 退会449人

2. 会員数 平均68名

20名未満	1クラブ
21～30名	7クラブ
31～40名	5クラブ
41～50名	3クラブ
51～60名	10クラブ
61～70名	16クラブ
71～80名	12クラブ
81～90名	9クラブ

91～100名	
7クラブ	
101～120名	
3クラブ	
121～140名	
1クラブ	
141～200名	1クラブ
会員増強クラブ数	19クラブ
変動なし	10クラブ
会員減少クラブ数	51クラブ

3. クラブ例会場の変更を余儀なくされたクラブ数クラブ

4. 例会費

南尾張分区	1,200～2,300円
西尾張分区	1,800～2,600～4,000円
東尾張分区	1,500～2,500～4,000円
西名古屋分区	3,900～4,500円
東名古屋分区	3,000～4,200円
東三河分区	1,200～3,000円
西三河中分区	1,500～2,700円
西三河分区	1,300～2,800円

5. 入会金

5～10～15～20万円

6. 地区事務所のあり方について

地区事務所は主にロータリー財団、米山奨学会等を主体とし運営されておりますが会員数6400名これからの増加を辿るだろうという時期に設置されました。現在もその必要性はいなめませんが経費的な圧縮を図らなければならないと思います。ガバナー事務所、エレクト事務所、ノミニ事務所と四つの事務所が開設される時期もある屋上屋を重ねる構造になっています。資料の散失がないようにという保管の役目も必要です。ガバナー事務所、エレクト事務所とそれぞれ異なった事をする中で地区事務所をいかに合理的に動かしていくかが課題であると思います。

最後になりましたが、訪問時の記念写真等お送りいただいた事にこの場を借りお礼申し上げます。

各クラブの益々のご発展と各位の御健勝をご祈念申し上げます、お礼とご挨拶と致します。

南尾張分区ガバナー補佐

河合 博文



私共の南尾張分区は今まで6ロータリークラブでしたが、大府ロータリークラブが出来た事により7ロータリークラブとなりました。

今まで隔月に会長幹事会を持回りで開催することで各クラブが主催出来ました、7ロータリークラブとなった為に新たに1月にも開催することになり、12月の会は忘年会を兼ねて又1月の会は新年会を兼ねて開催する事になりました。6月の会は従来から新旧会長幹事として引継ぎを兼ねて開催致しております。この会長幹事会の開催により各クラブの運営について意見の交換が良く行われ大変有意義になっております。

問題点はかくべつありませんが、新しく出来た大府ロータリークラブの会員増強が大変むずかしい状況ですが頑張っている事、それから今後の問題ですが空港ロータリーの設立についての意見交換も行いました。

是非、設立に向かって進んでいただきたいと

思います。これは常滑ロータリークラブだけの問題ではなく、7クラブ協力して立ち上げなければならないと考えております。

半田南ロータリークラブも6月8日にRCC結成認証状伝達式が盛大に行われました。今年度はIMは行わない事になりましたので、2月15日に名鉄グランドホテルにおいて7クラブ合同研修会を行い豊島ガバナーに講師をお願い致しまして盛大に意義ある会となりました。

各クラブの記念行事としては東海ロータリークラブが35周年例会を、東知多ロータリークラブも35周年例会を開きました。ガバナー補佐訪問は東海RCが7月23日(水)に、東知多RCは7月26日(土)に、大府RCは7月24日(木)に、半田RCは8月28日(木)に、半田南RCは8月25日(火)に、又知多RC9月8日(月)に、常滑RC9月5日(金)にそれぞれ順調に終了することが出来ました。ガバナー補佐幹事の村瀬秀和君、増岡達一君、並びに南尾張分区担当の地区副幹事林岡成君にもそれぞれ御同行いただいております。

ガバナー補佐報告

西尾張分区ガバナー補佐

田口 茂利平



昨年7月、ガバナー補佐とは何たるかの認識も不十分のまま、事前訪問の日程に追われるように各クラブを訪問し、不慣れなスピーチと協議会での応答のため不消化な訪問に終わりましたが、それだけに公式訪問での豊島ガバナーの優れた識見と温かい気配り、さわやかなトークにより、今年度のテーマ「手を貸そう」の提唱に全会員等しく心からの拍手を惜しまないすばらしい前半年度であったと感謝しております。

- ・尾西RCの総力を挙げた地区大会の成功
- ・稲沢RCの分区ゴルフ懇親会の盛況
- ・GSE受け入れに対する西尾張分区

各クラブの暖かい協力

- ・稲沢RCの西尾張分区「新入会員のつどい」の和やかなミーティング
- ・国際大会(大阪)に対し各クラブ家族同伴による多数出席
- ・創立○周年記念事業(稲沢、尾張中央、あま)

における家族の積極参加

・西尾張分区美術愛好家の合同美術展の充実等々。また

・R財団寄付から万博ロータリー館への協賛に至るまでの多額の協力

そして、一方では

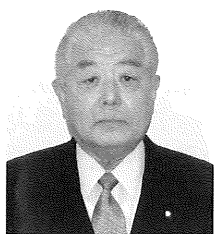
- ・各クラブ共通の悩みである会員減少問題
- ・例会会場移転に伴う経費増と財政難問題

その他幾つかの課題を残しながらも、豊島ガバナー・瀧地区幹事および荻本地区副幹事さんのご指導のもと一宮RCはじめ分区各クラブの会長・幹事さん・関係委員会の皆様のご理解とご支援により、何とか任期を終えることができましたこと本当にありがとうございました。

岡田補佐幹事・山田補佐幹事共々、心から感謝申し上げる次第であります。

東尾張分区ガバナー補佐

坪井 靖治



長いようで、過ぎてみればむしろ短く感じるこの1年でありました。

最初はどうなることやらと思っておりましたが、豊島徳三ガバナーはじめ、関係の皆様を支えられ、何とか責めを果たすこ

とが出来ましたのも偏に皆様方のご支援、ご指導の賜物と先ずはお礼を申し上げます。

昨年7月にはいよいよ年度が始まり、最初の仕事は各クラブへの補佐訪問でありました。東尾張分区は江南から長久手まで名古屋に隣接した細長い地域で、暑い盛りに補佐幹事とともに専ら車で訪問でありましたが、幸いにして各クラブで暖かい歓迎を受け、各クラブの会長・幹事との懇談会、例会、クラブ協議会を通じて、様々なご意見やクラブ独自の活動などを見聞きさせていただき、むしろ私共の方が大変勉強をさせていただいた次第です。

今年度東尾張分区内では、小牧クラブホストによる第14回インターアクト協議会を皮切りに、春日井、岩倉、瀬戸北の周年事業や4月の春日井クラブホス

トによる地区協議会など色々な行事がありました。更に今年度は、豊島ガバナーも私共もロータリー財団、米山、愛知万博などへ例年以上のご協力をお願いし、大阪大会も重なり、各クラブにとりましては大変出費の多い年になったと思いますが、各クラブともこれらの主旨に深いご理解をいただき、最大限のご協力を賜わり誠に有り難うございました。

また、今年度のIMでは、開催1年前に迫った愛・地球博をテーマに取り上げ、講演とフォーラムを催しましたところ、500名に達するご参加をいただき、愛・地球博への一層の理解と情報交換が深まったものと信じております。

いよいよ2005年は愛知万博の年ではありますが、またRI100周年の年でもあり、いよいよロータリーも第二世紀へ入るわけであります。各クラブにおかれましては、この第二世紀に相応しい新しい活動への挑戦を期待するものであります。

1年間の皆様のご支援とご協力に改めて感謝を申し上げ、ご報告と致します。

ガバナー補佐報告

西名古屋分区ガバナー補佐

岡田 守功



一昨年、考えるひまもなくガバナー補佐を引き受ける羽目になってしまいました。

ガバナー補佐の役目は、具体的にはガバナーが、各クラブを公式訪問する前に事前訪問し、ガバナーの意思をあら

かじめ伝えるということでしたが、現実はかなり厳しく、訪問時には各クラブ会長・幹事との懇談があり、例会時にはスピーチもあり、次いで、アセンブリに出席し相談を受けたり、助言をしたりとよく働かされました。その他、地区委員会及び幹事会又は地区内クラブの周年事業、地区大会への出席、そしてガバナー補佐主催のIMがありました。

西名古屋分区は12クラブありますが、地区副幹事とガバナー補佐幹事と共にすべて訪問しました。各クラブどれも立派なクラブばかりで、助言することより教わることの方が多かったようです。特に社会奉仕等は各クラブそれぞれ特色があり、地域社会と密着したものが多くみら

れました。

各クラブの親睦旅行や職場見学も、海での「たて干網漁」とカリニアモーターカーの試乗会等もあり、小生もつれて行って貰いたいものばかりでした。

会員増強にはかなりのクラブが成績を上げて、12クラブ中7クラブが増加していました。

万博への協力金も当分区では問題なく、ポールハリスフェローも増え、米山奨学会への寄附も順調です。これらの寄附金も世界的に見てトップクラスであるのに、RI本部からなお一層の要求があるとの話や、本部の会計がよくわからない等の噂を聞き、やや白けた気持ちにさせられました。

ロータリークラブの益々の発展のためにはRIの公平な運営と明朗会計が大切なことでしょう。各クラブは本当にクラブのため、社会のために頑張っていることを強く感じさせられました。みなさんの御協力のおかげを持ちまして、一年間ガバナー補佐を無事務めることが出来たことを感謝致します。

東名古屋分区ガバナー補佐

長谷川 正孝



東名古屋分区ガバナー補佐の任を受け本番に入ってこの一年は正に「光陰矢の如く」過ぎ去りました。

幸いにも豊島徳三ガバナーのお人柄に感服し少しでもお役に立ちたいと思いつつ、結果は足手纏いに過ぎませんでした。地区幹事の瀧氏、副幹事の本全氏には適切な助言等を頂き感謝しております。

クラブ訪問に際しては各クラブの会長、幹事さんのもと、それぞれ特色のある親睦と奉仕の活動を熱心に展開しておられる状況を見聞し頭の下がる思いでした。

私は地区財団委員会に所属し、六つの委員会（本年度は地区補助金委員会が増えた）に出ました。財団には本来の財源を集める活動と、外に向けて行う奉仕活動とがあり、外への奉仕活動を実施するに向けて委員長も委員の方も大変な準備作業をされているのを見て感動しました。財団委員長の鈴木氏始め各委員長並びに委員の方々に心から敬意を表します。

本年2月24日には東名古屋分区のIMを開催し、各クラブの強力なご支援により500名の参加を得て盛大に行うことが出来ました。「地球、My. Love」－あなたは何か出来ますか－をテーマに鳥取環境大学加藤尚武学長の主講演と5RCの環境浄化活動の実践報告や篠田陽作先生の環境改善へのお話などで、今後人類の避けて通れない切実な問題を提起し、身近なところで何が出来るか実践してみようとする有意義な会議であったと思います。

従来我が分区ではクラブ幹事の連絡会はありませんでしたが、新たに分区内の会長会が結成されガバナー補佐を交え会長同志の交流が一層深められる環境が整ったのが喜ばしい出来事の一つでありました。

後になりましたが私のために三浦、前田両補佐幹事、錦RC会長、幹事および会員一同が一丸となって支えて下さったことは忘れられません。そしてこの一年間ガバナー補佐の役を通して親睦と奉仕の輪で結ばれた分区内外の諸大兄に対し、私の生涯に素晴らしい彩を添えて戴いた勝縁に感謝し、この稿を終わります。

ガバナー補佐報告

東三河分区ガバナー補佐

木村 守雄



本年度ガバナー補佐を無事勤めさせて頂き、大森地区副幹事、彦坂、石本補佐幹事、分区の皆様方にはご指導と、ご支援を賜りまして有難うございました。ガバナーにはガバナーエレクト、クラブ会長には会長エレクト

ト制度がありますが、補佐にはそのような制度がなく、昨年度ガバナー補佐の指名を得た時、地区委員を経験したことも無く大変戸惑いを感じました。

前期の12月頃から次期ガバナー補佐研修会議が3回ほど行われ、本年度のIM中止文章を頂き、ガバナーエレクト方針と思い中止してしまいました。東三河分区ロータリー会員の皆様方には大変申し訳なく深くお詫び申し上げます。

東三河分区の各クラブの補佐訪問に於きましては会長、幹事さん始め会員の皆様方に心温まる歓迎を受け、忘れることの出来ない貴重な体験、訪問でした。

各クラブ共通の課題として会員の減少、経費の圧縮、会員の高齢化があり若い会員の増強が必要になって来ております。本年度は年度が始まってから、

ロータリー館建設費負担金が大幅変更され区内クラブに説明お願い申し上げ、ロータリー財団寄付等にもご協力いただきました。ガバナーエレクトの時、次年度の行事、地区方針を、地区協議会までにしっかり決定し、補佐研修会議で発表して頂ければ、分区内のクラブに事前に通知することが出来、補佐訪問の役目をスムーズに行うことが出来たと思います。

今年度、第9520地区アデレードとの研究グループ交換GSE受け入れには豊橋市内RC、またホームステイをお願いした家族の皆様、訪問先の案内役に各関係クラブに協力して頂き、有意義な交流であったと思います。

5月11日に開催しました東三河分区懇親ゴルフ大会には、奥三河RCさんは4時間かけての参加、また各クラブ大勢ご参加を得て、好天に恵まれガバナー賞も頂き伊良湖ゴルフ場で盛大に開催でき分区内の親睦、交流を深めることが出来ました。

本年度の活動を通じ、ロータリー精神の奥深さと強い友情に感謝しつつ報告させていただきます。

西三河中分区ガバナー補佐

鈴木 英成



ガバナー補佐として一年間、無事その任務を終える事ができたのは、豊島ガバナー、瀧地区幹事、そして当分区担当黒木地区副幹事のご指導と、西三河中分区各クラブ会長、幹事そして、会員皆様のご支

援、ご協力のお陰と深く感謝申し上げます。

ガバナー補佐訪問に際しましては、9クラブ会長、幹事さんはじめ、会員皆様の心温まる歓迎をいただき、忘れることのできない思い出となりました。

R I テーマ「手を貸そう」は、世界中発展途上国のどこにでも見られる貧困問題が背景にある深い意味を持っている。マジニアベ R I 会長の祖国ナイジェリアはアフリカの大国であるが、宗教対立、政治不安、治安悪化等の悩みを抱えている。1960年日本との外交関係が樹立され、一時、日本人学校が設立されたりして、かなりの交流があったが、現在日本人学校は閉鎖されている。

11月18日～11月21日、R I D9520地区 G S E チ

ーム受け入れを当分区が担当しました。前半2日間を豊田市内4クラブが担当し後半を岡崎南クラブが担当した。岡崎南ロータリークラブ例会に於いて、G S E チームの皆様からアデレードの美しい風景のスライド上映や、お話を聞き、オーストラリアについての理解を深めることができた。

3月24日第11回西三河中分区懇親ゴルフ大会が豊田東ロータリークラブのホストにて、セントクリークゴルフクラブで開催された。当日は9クラブより多数参加し160名の大コンペとなりました。「西三河中分区の皆様と一層の懇親を深めたい」との当初の目的は充分果たすことができた。

祝賀行事としては、3月16日岡崎城南ロータリークラブ創立15周年記念例会、3月26日、岡崎南ロータリークラブ創立40周年記念例会がありました。

過ぎてみれば、一年が短く感じますが、三浦補佐幹事、阿部補佐副幹事には色々とお世話になりました。心より感謝申し上げます活動報告とさせていただきます。

ガバナー補佐報告

西三河分区ガバナー補佐

榊原 義嗣



一昨年の12月5日からガバナー補佐としての仕事が始まりました。

豊島ガバナーから、R I 会長テーマ「手を貸そう」についてご指導を頂きました。さらに2760地区の年間の基本のロータリークラブ活動をたて（経）は各クラブの充実した活動であり、一方よこ（緯）として地区の委員会活動によりロータリークラブの活動を推進するという方針をいただき、その職務について勉強させていただきましたが、各クラブ、各委員会それぞれ伝統と歴史の中で特長ある事業を展開されました。

近年のガバナー公式訪問は2クラブ以上合同という形式となり、ガバナー補佐として事前に各クラブの例会でR I 方針の説明の卓話そしてクラブ協議会でのクラブの活動報告をいただくことになっております。補佐訪問の事前に各クラブの例会に出席を致しましたが、8月4日の刈谷R Cの補佐訪問をスタートとして、10月1

日の碧南R Cまで9クラブを訪問させて頂きましたが、50周年の刈谷クラブを筆頭として伝統のあるクラブも多く、それぞれのクラブが地域に密着して、ロータリークラブとしての実績を上げられており、各クラブが継続的に地域に対して事業を行われておられ感心しています。各クラブでの歓迎に対して誠に感謝しております。

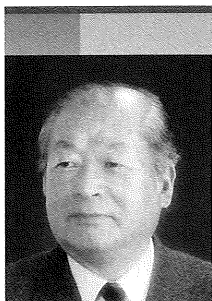
I Mにつきましては西三河分区の充実した活動を理解して本年は休むことになりました。一方伝統的に行われていた、親睦ゴルフ大会は楽しい一日となりました。

刈谷クラブの50周年、碧南クラブの45周年、高浜、三河安城クラブの周年事業等節目のクラブもありました。

「社会奉仕」「環境保全」「R C C」の三つの委員会の担当もありましたが、各委員長さんスタッフの皆様がベテランで、大いに勉強させていただきました。

過ぎてしまえば早かった一年ですが、皆様のご指導とご協力を感じ申し上げて報告といたします。

2003～2004年度 地区委員会活動報告



財務委員会

委員長 伊藤 鶴吉

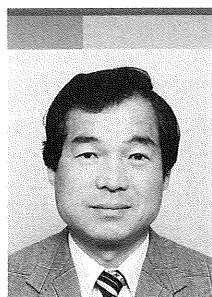
豊島徳三カバナー年度は、内外ともロータリーとしては、大変な時代に会員純増23人され、ガバナーのロータリーへの厚い愛情と「手を貸そう」の成果の賜でなかったかと思います。

地区資金運営にあたって、財務委員会がガバナー事務所と連帯を密にして、適正な活動と予算執行には、瀧地区幹事、森会計長さんが誠意をもって地区会計に当たっていただきました。

また、ガバナー事務所のスタッフの皆さま方のご協力に大変感謝申し上げます、ありがとうございました。

会員、一人ひとり大切な資金が地区発展に大きく貢献することは言うまでもありませんが、特に、豊島ガバナーは、経費の節減や各委員会活動に大英断をふるっていただきました。ありがとうございます。

いよいよ、愛・地球博も間近になって参りました、ロータリー館がロータリアンにとって憩いと思い出多い舎となることを願っています。



拡大委員会

委員長 野崎 洋二

私は、昨年に引き続き拡大委員長を拝命致しました。

私は就任時より永く続く不況によるロータリー活動、特に会員減少という現実を心配しておりました。このような状況下での拡大は非常に困難であろうと思っていたの

ですが、昨年度は長久手RC、大府RCが各々チャーターナイトを迎えることが出来ました。私は当地区ロータリアンのパワーの凄さを身にしみて感じた次第であります。そしてその力強い勢いを本年度に引継ぎ、新クラブ設立に努力して参りました。

当初は、岡崎にユニークなクラブ設立の気運があり、杉浦壽康委員（岡崎RC）の多大なご尽力を頂いたのですが、諸事情により残念ながらことここに至って挫折してしまいました。しかしその事は摘まれてしまったわけではありません。今後慎重なる検討のもとに、近い将来見事な花を咲かせて下さるよう期待して止みません。

最後になりましたが、この一年私の力不足のため、ガバナーを始め、皆様方のご期待に添えずご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申しあげます。



クラブ奉仕委員会

委員長 片山 主水

今年も「魅力あるロータリー」作りを中心に一年が過ぎました。

ロータリーの魅力は、まずロータリーが社会において一定の存在価値を有していなければなりません。その存在価値を支えるものがロータリーの目的、社会のための奉仕です。次にロータリーが人間的魅力を持った会員の集まりでいなければなりません。そのためにロータリーはロータリアンの人間的魅力を育成する内なる目的を有しなければなりません。

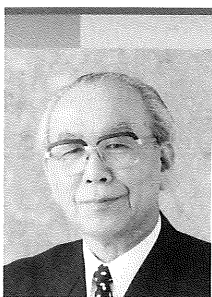
親睦はこの両目的を実現するための重要な触媒です。

対外的な目的はロータリーを外から引き上げるもの、対内的な目的は内から支えるものです。この両者によってロータリーに魅力と活力が生まれるものと確信します。

クラブ奉仕とは、ロータリーの魅力を作りだし、その魅力を持続するためのあらゆる方策を検討し現実に行動することを言います。

年とともに衰えるのが魅力です。ロータリー100年。往年の魅力を取り戻す又とない絶好の機会です。

各クラブの委員の皆さん、引き続き「魅力あふれるロータリー」へ果敢に「手を貸そう」ではありませか。



会員増強委員会

委員長 光岡 朗

2年間地区会員増強委員長を勤めさせて頂きました。この間与えられた数々のご好意、友情に深く感謝申し上げます。

会員増強の現状はどうでしょうか。一時のように会員が大幅に減少する傾向に少しは歯止めがかかったように感じています。但し6月末でどうなるのか、昨年のようなことの無いことを祈っています。

地区会員増強委員会として実行したこと、及び反省点を書かせて頂きます。

地区会員増強委員会の公式行事は、8月会員増強月間にちなんで行われる、会員増強委員長会議です。これに最大の力点を置くために、前事業年度の4月から準備を進めました。3回の会議で出された地区委員の結論をまとめ、5日の本会議に臨みました。

8月5日の地区会員増強委員長会議では、増強の方策、退会防止、新会員の研修フォロー等々テーブル毎に真剣に討論して頂きました。委員長会議の討論を経て、8月には地区増強委員が手分けして、各クラブの要請によって増強の卓話に回りました。

他方反省点は次の通りです。会員増強は年間

を通して行われるべきでしょう。現実には年度初めの8月初旬に全体会議を開いてこれで終わりというのでは少し物足りないように思います。出来れば後半にもう一度会合が出来れば増強の実が上がるでしょう。しかし予算が足りません。

最後に会員増強に関する私の考えを述べさせていただきます。

会員増強は、企業の売上げに似ています。会員増強があつてクラブの活性化が維持されていきます。新しい人が入らなければ、クラブが衰退していくことになりかねません。

会員増強は各クラブの永遠の課題です。各クラブがこれからも会員増強に力を注がれることを願って私のご挨拶とさせていただきます。



広報委員会

委員長 塚本 胤男

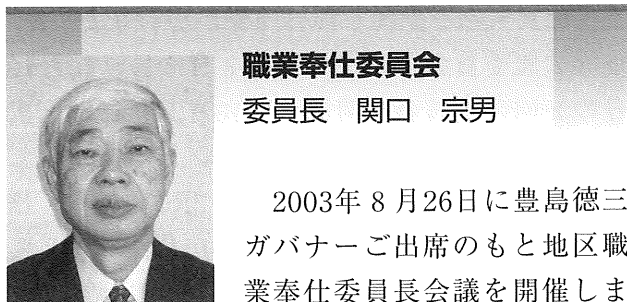
豊島ガバナーはRIの今年度のテーマ「手を貸そう」を受けて地区方針として5つの目標を立てられました。この方針に少しでも地区広報委員会として職務を果たせていけたらと・・・という気持ちで、この一年やってみました。

広報委員会の初仕事は豊島ガバナー、瀧地区幹事の7月15日愛知県知事神田真秋様へのガバナー就任の挨拶に同行することから始まりました。続いて中日新聞社大島宏彦取締役最高顧問(ガバナーエレクト)、中部経済新聞社代表取締役中村新一様を訪問され、翌16日には名古屋市長松原武久様を訪問し渉外関係が終わりました。地区広報委員会としましては8月8日、10月16日の2回の委員会を開催して10月24日に地区広報・雑誌委員長会議を名鉄グランドホテルにて開催させて頂きました。当日は72RCの広報、雑誌の委員長110名の出席のもとに広報活動の必要性と月刊「ロータリーの友」の一層の普及と中部経済新聞のRCコーナーの活用などの討議がなされ、その後、2002～2003年度地区RI広報賞を受賞されました名古屋千種RC大口直前会長より、

受賞に至る事業計画の説明をしていただきました。続いて内藤パストガバナーより、2005年日本国際博覧会「愛・地球博」の成功を目指してと題してロータリー館の説明と活用方法についてお話を伺いました。その後、愛知万博のイメージソングとして親しまれているフランス生まれのシャンソン『ブラボー！ムッシュ・ルモンド』をお二人の女性歌手の演奏で楽しいひと時を過ごしました。最後にロータリーの友編集長二神典子様より月刊『ロータリーの友』の編集方針について伺いました。二神様は女性で初めて『ロータリーの友』の編集長になられた方だけに広報出版に関しまして大変造詣の深い方です。二神様は、「ロータリアンはもっと『ロータリーの友』をいつも身近なところに置いていただき『ロータリーの友』ともっと親しんでいただきたい。又、当2760地区は『ロータリーの友』への投稿が全体から見たら少ないと思います。どうか、これからはどしどし応募してください。」と話されました。又、「『ロータリーの友』はロータリアンの皆様のお役に立つ情報がたくさん入っています。本棚に大事に飾ってあるのではなく、ロータリアンの皆様がいつも持ち歩いて下さってボロボロになってしまう・・・とそんな『ロータリーの友』でありたいと思っています。」と述べられました。

どうかロータリーの友を傍らにおいて、これからもご活用いただけたらと思います。

最後に皆様のお陰をもちまして、この任を無事終えることが出来ましたことを感謝致し、今後共、ご指導賜りますようお願い申し上げます。



職業奉仕委員会
委員長 関口 宗男

2003年8月26日に豊島徳三ガバナーご出席のもと地区職業奉仕委員長会議を開催しました。講師に第2680地区パストガバナー田中毅氏をお招きし、「職業奉仕の重要性と未来展望」という演題で講演を頂きました。講演後、分

別によるフォーラムと質疑応答を行いました。講演内容について冊子を発行し、各クラブに送付しました。

本年度、職業奉仕事例集を10月の職業奉仕月間に発行することが出来ました。これだけの事例集を近年出しているところはないように思います。他地区のガバナー事務所に1冊送付したところ、保存用のを送ってほしいとの事務所もありました。ロータリー文庫に送っておいたところ、今年3月他地区のパストガバナーから地区協議会で使用したいとの申し出がありました。職業奉仕の啓蒙活動に大変役立ったと思います。各ロータリークラブ、委員長、地区委員のご尽力、ご協力に厚くお礼申し上げます。



社会奉仕委員会
委員長 大野 義彦

2003～2004年度の地区協議会において、地区社会奉仕委員会としては、本年度は各クラブの自主性を尊重する旨申し上げると共に、今までの継続事業の見直しを要請した。同時に、年度内に完了できる、地域社会のニーズに合った新しい奉仕活動に取り組むようお願いした。年度内に4回の地区委員会を開催し、それぞれの時点における社会奉仕活動の検討と対応を協議した。11月の地区大会における写真コーナーには、各クラブをお願いして提出頂いた40枚以上の社会奉仕活動の実録写真を掲示し、好評であった。

2月に行った社会奉仕活動の集大成である委員長会議では、目玉の一つである盲導犬育成への援助に関連して事務局長の河西光様から有意義な話を拝聴した。地区内4クラブ（瀬戸、瀬戸北、刈谷、尾張中央）から活動への取り組みとその成果について報告して頂いた。その際、地区内各クラブの社会奉仕事例を列記した事例集を作成して出席者に配布し、今後の活動の一助とされるようお願いした。



RCC委員会

委員長 川井 健司

(I) 委員会開催

① 4月25日 次年度計画
について 6名出席

② 7月8日 ガイドブック配布状況、第5
回地区RCC交流会議について 8名出席

③ 9月26日 交流会議打ち合わせ 7名

(II) 地区RCC交流会議開催

2月6日 ガバナー他ご来賓、地区全RC社
会奉仕委員長、RCC11チーム代表等126名出席、
本会議および懇親会盛況

(III) 地区社会奉仕委員会2回と地区社会奉仕委
員長会議に川井委員長出席

(IV) 半田南RCC(災害支援ボランティアグル
ープ)が4月23日結成され、6月8日の認証状伝
達式に祝電贈呈、前田副委員長(半田)代表出
席。因みに、日本全国のRCCは30チームとなり、
この内で当地区は12チームとなりました。全国
的にRCC新設の気運が高まりつつあります。

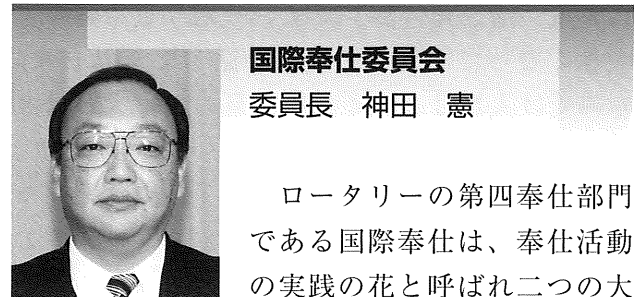


環境保全委員会

委員長 國分 孝雄

2003～2004年度、地区環境
保全委員会では、豊島ガバナ
ーの「環境問題に積極的に取
り組んでゆきましょう」という方針と、「太陽の
もとに出て、ロータリアン自ら手を汚して奉仕
活動をしましょう」との熱い思いを受けて委員
会活動を行いました。2003年9月19日(金)の
第1回地区内クラブ環境保全委員長会議では、
地区内80クラブから環境保全委員長を始め約100
名の参加を得て、愛知県が抱える環境問題とそ
の対策について、愛知県環境部松浦環境政策課
長の基調講演をもとに勉強会を開催しました。
その結果、2005年に「環境」と「市民参加」を
2本柱に「愛知万博」が開催されることから、
ゴミのない美しい愛知を目指して、2004年5月

30日を中心に地区内80クラブが、こぞって、単
独又は連係をとってクリーンキャンペーンを開
催することになり、数多くのロータリアンの参
加のもとに愛知県内全域で実施いたしました。
豊島ガバナーも久屋大通り公園でのゴミ拾いに
参加され、大いに汗を流されました。



国際奉仕委員会

委員長 神田 憲

ロータリーの第四奉仕部門
である国際奉仕は、奉仕活動
の実践の花と呼ばれ二つの大
きな流れがあります。

○一つは、ロータリーの人的交流によって国際
間の理解・親善・平和を推進する活動ー即ち
YEP(青少年交換)であり、

○もう一つは、社会的・人道的な問題に対する
国際的な援助活動、即ちWCS(世界社会奉
仕)であります。

活動の詳細はそれぞれの委員会より報告されます。

○その他に国際友好があり地区内80クラブ中、
姉妹・友好提携をされているクラブが57ク
ラブ、交流相手先国が14ヶ国(アジア8ヶ
国・北米2ヶ国・中南米2ヶ国・オセアニア
1ヶ国・ヨーロッパ1ヶ国)あります。

交換先クラブは東アジアに偏る傾向があります。

○「ロータリー100周年双子クラブ・プログラ
ム」は、100年間に渡る奉仕の祝賀の一環と
して昨年度R.I.が推奨しました。内容は二つ
の異なる国のクラブがパートナーを探し共同
して特別なプログラムを実施する事業です。
残念ながら、地区内での実施の報告はありま
せませんでした。

5月の大阪世界大会は地区内から1,700名を越
すロータリアンが参加をされ、海外からのロー
タリアンと友情交換をされ楽しい思い出を残さ
れたことと思います。

国際奉仕活動は年度をまたいだ継続事業が多
く、次年度に確実に引継がれることが重要です。
日頃より皆様のご協力に感謝申し上げます。



青少年交換委員会 委員長 大谷 和雄

青少年交換委員会の大きな行事は、8月。交換留学生選考テストと2003～4年度留学生による「帰国報告会」です。一廻りも二廻りも大きくなって現地での経験を話してくれます。春の受け入れは3・4月頃、夏の受け入れは8月頃です。受入・派遣国は、アメリカ、カナダ、ブラジル、オーストラリア、タイ、台湾、フランス、ドイツ、スウェーデン、フィンランドの10カ国となりました。第1回オリエンテーションは交流会を兼ね、派遣候補生はアプリケーションの記入方法など、受入留学生には日本での生活などについて留意事項の説明をします。

12月。第2回交流会で、受入留学生のみを京都・奈良へ連れてまいります。

2月。「三者懇談会」といって、受入留学生の高校の先生・ホストファミリー・国際奉仕委員長・カウンセラーなどに受入の問題等をお聞きし、次年度に備えます。

3月。オリエンテーションと交流会を兼ね、白馬ロータリークラブと共催の「スキの集い」を楽しみます。いずれも有意義な会です。



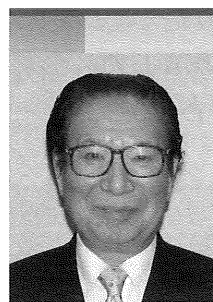
世界社会奉仕委員会 委員長 榊原 正治

世界の中では急激な進歩を遂げている国もあれば、反面、いろいろは事情で取り残されてくる国も数多くあります。その様な国、地域に対して世界社会奉仕（WCS）活動は、理解と親善を推進する機会を創り、人道的立場から援助、協力を必要とする人達に対し、2ヶ国以上のロータリアンが協力して、物質的、技術的、専門的援助を提供、支援しています。

本年度は、新たな支援先調査の為、10月12日から15日迄バングラディッシュを見聞してきまし

た。北海道より少し大きい位の国で1億3千万人の人が住んでいます。道路整備は悪く交通渋滞もすごくて3km強の道のりを通過するのに1時間位かかります。飲み水の井戸水には、ひ素が含まれていたり、失業率も高く生活難の人が多いせいか平均寿命は60才前後だそうです。地方では雨水が安全な飲み水として飲まれています。が、雨水をためるタンクが不足していました。

今年度委員会は、検討の結果、地区委員会に一任のクラブ様よりお預かりした貴重な資金をタイ3360地区の16のプロジェクトとドイツ国際平和村、そしてバングラディッシュに雨水タンク増設の為の支援をいたしました。WCS視察旅行は2月9日より15日迄、タイ3360地区に行き、昨年度支援したプロジェクトが実行されているかを視察し確認してきました。ご理解、ご協力を頂きました地区内クラブの皆様方に心より感謝申し上げます。



新世代委員会 委員長 藤井 忠

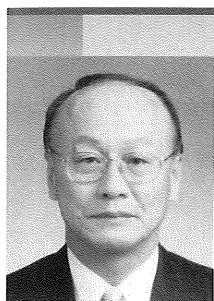
新世代委員会は継続事業でもあった、学校に講師・職場体験事業所の一覧表を作成するために各クラブに対してロータリアンの応募を要請しお願い致しました所、今期末で講師120名、職場体験事業所170名程度の登録がありました。この事業は新登録者、訂正者と限りなく続く事業で、学校側の利用とロータリアンの教育に携わる環境の整備に務めて参りました。この一年間ご協力いただきました各クラブ新世代委員会の皆様に厚くお礼申し上げます。

尚、登録者の締め切りはありません。毎日、毎年度の年中無休で登録者を募集しております。

新世代活動資料、5月末での講師、職場体験登録の計3冊の発刊と、IAC、RAC、ライラセミナーの各活動への参加、協力、地区大会時のポスターの展示等数多くの活動をして参りました。

しかし、現今の新世代の人々が将来の日本を担う事を思えば、地区、クラブの新世代の関係のみ

ならずロータリアン全員が若者達に声をかける奉仕に参加していただければ、ロータリーが未来に希望を持てる社会に貢献出来るものと確信しております。何卒新世代のためにご協力いただき、6000余のロータリアンに感謝申し上げます。



インターアクト委員会
委員長 堀井 武

我々の委員会の活動はロータリーの活動とは異なり高校生を対象とするため、ロータリー年度の始まり、すなわち7月早々その年度の大きな事業が集中します。そのためには前年度にほとんどの準備を終えています。それ故、前年度委員との連携がどの委員会より、重要となります。2大事業 地区協議会、海外研修は7月に集中し、地区協議会は尾関学園（提唱 小牧RC）が担当し、小牧勤労センターで行われ、テーマ「思いやり」のもと、7つの分科会に分かれ、活発な意見交換が成され、大成功の元に終わることが出来ました。特に高校生らしく簡素に行われたのは意義あることであった。

地区協議会の中で海外研修の壮行会が行われ36名のアクト生、2人の引率の先生、3名のロータリアンが紹介された。今回はイラク戦争、サード等問題があり一時は中止との意見もあり、ここまで漕ぎ着けられたのにはロータリー会員皆様のご理解のおかげと感謝します。

研修も順調に終わり各地のロータリークラブで今回参加したアクト生から報告がなされ、無事終了することが出来ました。このプログラムには皆様の大切な会費を沢山使わせていただいています。今後ともご支援よろしく申し上げます。



ローターアクト委員会
委員長 加藤 康治

次世代を担う若者たちに、ロータリーを通じて奉仕、友情、地域コミュニティーを享

受することのすばらしさを、感じてくれたことはすばらしいことです。

新世代に関するニーズは私どもが最も重要な課題と思われます。

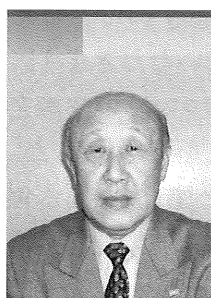
ローターアクト・クラブはアクトの自主性に委ねられるものの、ロータリアンがより一層の指導力を会してゆくことが地区委員会の役割と確認いたしております。

5月5日には地区ローターアクト委員会にお世話になった委員長のご出席をいただき、貴重なご意見等、またすばらしい懇親を深められたことは大変意義があったと思います。

国内研修、アクトーズミーティング、海外研修、年次大会等々を無事終えることができましたことは関係各位の方々のお陰と察しております。

6月26日には年度最後の行事、指導者研修会を行い、ローターアクト、地区ローターアクト委員会とも新旧への移行を完了いたします。

最後に藤井新世代委員長はじめ関係地区役員の方々のお陰をもちまして大役を終えることができましたことを感謝申し上げます。

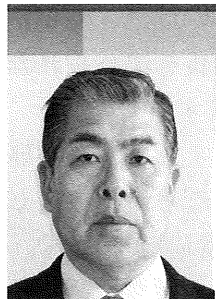


ライラ委員会
委員長 金子 利夫

「青春の声を聞かせましょう」をテーマとして、第12回ライラセミナーを一泊二日（5月15日（土）・16日（日））で実施致しました。受講生は事前のアンケートから、関心のあつた六つの社会問題（友達・自分と将来・家族・マナー・戦争と平和・ボランティア）を話し合うグループに分かれ「ホームルーム」と分科会の名を変え、グループリーダーが指導にあたりました。今回のセミナーサブタイトル「自ら気づき、考え、行動する」が数時間で実践されたことには大いに驚かされました。二日目の「青春の声」発表では受講者7名が自分の意見を堂々と発表してくれて聴衆であるロータリアンを魅了しました。また、友の会メンバーの企画運営も立派な行動として現れ、結果、当日友の

会入会者が44名とこれも大きな成果の一つでした。今後、友の会運営についても更に改善・提案することで益々発展していくことを願いたいと思います。

地区役員関係各位、新世代委員会、ライラ委員会、知立実行委員、友の会、全ての皆様方のご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



ロータリー財団委員会
委員長 鈴木 孝則

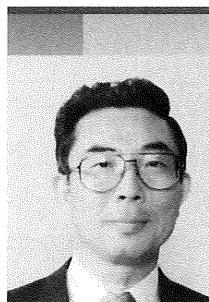
当委員会は、補助金委員会、財団奨学委員会、財団学友委員会、恒久基金委員会、研究グループ交換委員会、ポリオプラス委員会、6委員会の集合体です。そして、次年度からは、年次寄付委員会が加わります。

委員会の役目は、寄付を（１）集める（２）管理・運用する（３）活用するの３つです。各委員会活動の詳細につきましては、それぞれの委員長さんが報告されると思いますので、ここでは他の項目について述べさせていただきます。

本年度は、「ロータリー財団についての認識を深めるための啓蒙活動」に力点を置きました。例えば、ロータリー財団委員会と聞くと、「寄付を集めるだけ委員会」というイメージがすぐ浮かんだり、「ポールハリスフェローに一度なっておけば、後の寄付は必要ない」という思い込みをしているロータリアンが多数います。これらをどう改善するかに取り組みました。委員全員で意見交換をして、問題点を探り出しました。「寄付を集めることには熱心であったが、寄付金が、いくら集まり、どこで、どのように活用されているかの報告が伝わっていない」と言う意見が大勢でした。財団奨学生を推薦しない、GSEチームを受け入れない、補助金も利用しない、そして寄付金活用の情報が乏しいクラブ、正に「寄付をするだけで、何の満足感もない。」という事になります。この解消のために、あらゆる機会を捕らえて、「寄付金の活用」について

啓蒙した一年でした。幸い最強メンバーを揃える各委員会の活動は素晴らしく、「集める」とともに「寄付金の活用」がかなり目に見えるようになってきたと自負しております。

ロータリー活動の根幹をなす委員会です。更なる啓蒙により、自発的、積極的協力を得られる委員会を目指したいと思います。



財団奨学委員会
委員長 石田 正城

各クラブから財団国際親善奨学生を多数ご推薦いただき有難うございました。さる4月23日に書類選考を、5月16日に国際会議場にて最終候補者18名の面接試験を行いました。豊島ガバナーはじめ財団委員会で3会場に分け慎重に行われ、下記の14名が奨学生に決定いたしました。

① 3ヶ月文化研修

寺田奈穂（名古屋昭和RC）
小川博子（名古屋瑞穂RC）

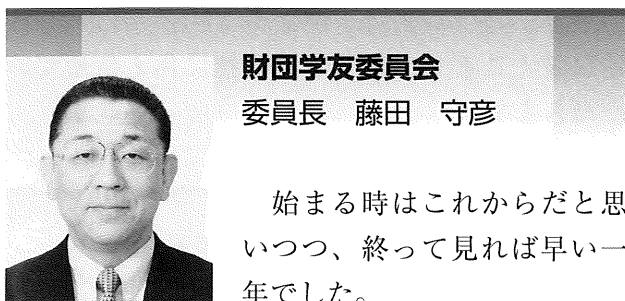
② 1年留学

近藤のぞみ（半田RC）
寺嶋美雪（名古屋名南RC）
寺嶋孝光（名古屋西南RC）
平田康治（刈谷RC）
本田安都子（名古屋みなとRC）
村手智子（一宮RC）

③ 2年留学

羽鳥裕美子（豊田RC）
鳴戸麻子（岡崎RC）
宮坂奈由（名古屋南RC）
村松研二郎（岡崎RC）
伊藤智子（津島RC）
山田真司（豊田東RC）

ロータリークラブの奨学金は1年12,500USドルと大変条件のよい奨学制度です。昨年度は残念なことに3名の辞退者が出てしまいました。各クラブでのご推薦、その後の顧問ロータリアンのご指導には責任を持って対処されますようお願い申し上げます。



財団学友委員会
委員長 藤田 守彦

始まる時はこれからだと思いつつ、終って見れば早い一年でした。

昨年7月27日のガイダンスは緊張した新奨学生を迎えての「ガイダンス」を開催しました。この時は16名の奨学生に対して心構えを豊島ガバナーはじめ、学友会から御教えをしました。

中間の今年2月22日にはオリエンテーションを行ない、留学先の交渉状況等、奨学生からの報告と学友会からのアドバイスをしました。この時には辞退者もあり奨学生は14名になっていました。

5月9日には学友会総会と奨学生の壮行会を行いました。この時には奨学生も2人減り12名になっていました。豊島ガバナーからは奨学生に対して国際親善大使としての心構えを御話願ひ、奨学生からは留学先の報告を受けました。

本年度は様々な事情があったにしても、辞退者が出た事を残念に思います。次年度も委員長をさせていただきますが、推薦クラブ、学友会幹事、会員の方とも連携を取り、より多くの国際親善大使を送り出す様にしたいと思います。

更なる御支援、御協力を御願ひ致しまして御報告とさせていただきます。



恒久基金委員会
委員長 本多 啓一

恒久基金委員会は、ロータリー財団委員会の中でもまだ新しい小委員会で、恒久基金

への寄付を奨励することが主な任務になっています。

本年度寄付目標は、各クラブ1名のベネファクターを達成し合計5万ドル、また地区内1名の大口寄付者で合計1万ドルを達成となりました。

本年度の成果としては、2名の方に大口寄付者になっていただき目標を達成できましたし、ベネファクターについては5月末現在49名で、年度末には目標を達成する見込みです。ロータリー財団の財政基盤をより強固にする為にも、恒久基金への更なるロータリアンのご協力をお願いいたします。

最後に、渡辺副委員長と加納委員のご支援に心から感謝申し上げ報告とします。



**研究グループ交換
(GSE) 委員会**
委員長 矢形 修己

2002-2004年度 G S E 活動は、岡部ガバナー年度・深谷 G S E 委員長(派遣担当)から引継ぎ、豊島ガバナー年度で受入を担当させていただきました。

R I D9520(南オーストラリアの4州)受入は派遣チームのプレゼンテーション作成、日本文化・歴史の再勉強、お土産選定など内部的な仕事と違い、ガバナー、ガバナー補佐はじめ、各クラブの財団委員長、G S E 委員、派遣チームメンバーなどロータリアンの皆様の絶大なご支援、ご協力を賜らなければ、成功できない重要なプロジェクトでありました。本当に皆様方の感謝の賜物と自負しております。

受入プロジェクトは、5月16日 ガバナー補佐会議を皮切りに20回強の委員会の開催、各分区での滞在スケジュール調整、ホストファミリー・各企業へのお願い、相手国との事前情報交換、派遣メンバーの受入協力、地区大会でのプレゼンテーション調整、30ページに亘るスケジュール表の作成と多くのプログラムをこなしてきました。

上記の事前準備も万全の状態です。R I D9520 G S E メンバーを11月1日、ガバナー、財団委員長はじめ委員全員で迎え入れました。目的意識の同じメンバーに国の壁は全く感じられず、笑顔と陽気さだけが残った印象です。

初日からの人間関係は停まるところ知らない

状態で深まっていき、機上の人になるまで、替わらなかったと言っても過言ではないでしょう。

プログラムは第1週から、ハードでタイトであったにもかかわらず、歓迎会から11回のプレゼンテーションは通訳も困るほどハイテンションのまま行われたと思います。各クラブ、また地区大会では多くのロータリアンに彼たちの国を理解していただいたと思います。

また公式行事では神田愛知県知事への表敬訪問、名古屋市、愛知県警などでも自国をアピール、オープン前の中部国際空港、万博会場（愛・地球博）も見学、トヨタ自動車、松下電器など企業理念・環境問題に対する取り組みも多く学んできました。多くのスケジュールの中、彼たちが一番喜んでいたことは、自分の職業と同じ研修だったと思います。リーダーのマルコムは学校、教育、各メンバーは名古屋トヨペット様、日本旅行・名鉄観光様、などにて観光誘致、愛知県警ではOBの方々の年金問題について、意見交換もでき、予想以上の成果にたいへん喜んでいただいていると思います。地区外研修も古都で歴史や文化を学び、ユニバーサルスタジオなど職業柄たいへん喜んでいました。クリントン米前大統領の講演も思い出に残る大きなひとつとなったでしょう。

プライベートではロータリアンの自宅でのホームパーティ、暖かいホストファミリーとの生活、ゴルフ、カラオケ、モーターショーなど充実した日程であったと聞いています。最後に送別晩餐会は、今までと違い多くのホストファミリーに出席していただき、夜更けまで、別れを惜しみました。

この1ヶ月間を通して、ハードでタイトすぎる多くの反省点が残りますが、両地区とも素晴らしい体験をさせていただき、感動の連続であったと思います。このGSEプログラムは各クラブ、ご支援をいただいたロータリアン、ファミリーなど国境を越えた信頼関係、世界平和を約束できたと言っても過言ではないでしょうか。人生の中で大きな思い出に残るすばらしい感動を残し、ロータリアンである喜びを再認識したと思います。

今後このプログラムが世界平和のためにも永遠に続くことをお祈りし、挨拶に代えさせていただきます。

ポリオプラス委員会

委員長 山内 登



ポリオプラスの問題が再浮上致しましたのが2、3年前になります。第2760地区において2002～2003年度より、ロータリーメンバー1人150ドルの寄付を3ヶ年で集めるキャンペーンが始まりました。本年度は（2003～2004年度）はちょうど中間年に当たります。周年行事に一括して金額を寄付していただいたクラブもありまた、各年50ドルを3ヶ年分割寄付のクラブもあります。多くのクラブより寄付をいただきました事に心よりお礼申し上げます。しかしまだ数クラブが寄付0（ゼロ）であります。人間にとって健康ほど尊く、幸せなことはありません。生まれながらにしてポリオの為体が不自由な子供をこの地球上からなくそうとする壮大な計画に、その意義を深くご理解いただき賛同していただきますようお願い申し上げます。まだ来年度1年間（2004～2005年度）キャンペーン最終年度がのこっております。くしくも2005年ロータリー設立100周年にあたります。その年にポリオ完全撲滅宣言をしようではありませんか。最後にこの一年間の御協力に対しましてお礼申し上げます。

米山奨学委員会

委員長 加藤 知成



2760地区のロータリアンの皆様、この一年間米山奨学事業にご協力頂きまして、誠に有難うございました。殊に、各クラブの米山奨学委員長並びに委員の皆様には、事業の意義を普及し、寄付の増進にご尽力頂きまして有難うございました。又、カウンセラーの皆様には、

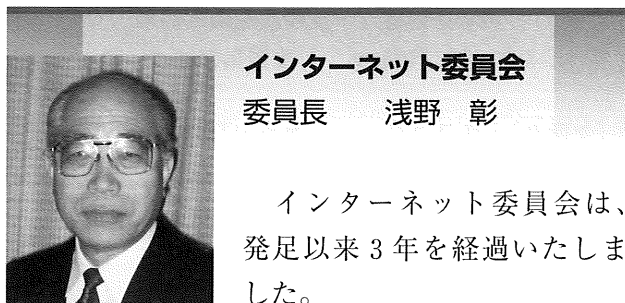
奨学生に対し暖かいサポートを賜りまして、有難うございました。地区米山奨学委員長として、心からお礼申し上げます。

私は、3年有余、地区米山奨学委員会在籍致しましたが、皆様をはじめ、多くの方々の好意と友情に触れるばかりでなく、多くのことを学ばせていただきました。

ロータリーは、奉仕の理想のもとに集まった人々の会合であるということは、頭では判っていましたが、具体的にはピンときていませんでした。が、「理想は実現に向かって日々努力していくものだ。」ということをしっかり叩き込まれたように思います。

ロータリアンが、奉仕の理想を追求されるかぎり、ロータリーは存続します。「米山奨学事業は、ロータリーの奉仕の理想の一端を担う事業だ。」と思います。

「米山奨学事業は、私達、日本のロータリアンが目で見ることのできる唯一のグローバルな意義有る活動である。」ということは、十分ご承知のこととは存知ますが、敢えて申し上げます。今後も、米山奨学事業に、暖かいご支援とご協力を重ねてお願い申し上げまして結びとさせていただきます。本当に、一年間有難うございました。



インターネット委員会
委員長 浅野 彰

インターネット委員会は、発足以来3年を経過いたしました。

この間ITの普及は目覚しく、その環境も整備されて、誰でも手軽に便利な道具として使えるようになりました。

本年度は、分区でのCICO会議を2分区で開催でき、現状の報告と取り組みを、身近に聞くことができ、クラブ毎の理解が深まり、今後の参考とする事ができました。

大阪での国際大会では、大会実行委員会のご尽力で、インターネットコーナーが開設され、お手伝いをさせていただきましたが、非常な盛

況であり、世界のITの普及を見せられました。

シカゴでの規定審議会の内容も、即刻知ることができ、新年度からの発効に対応して、取り入れることができます。

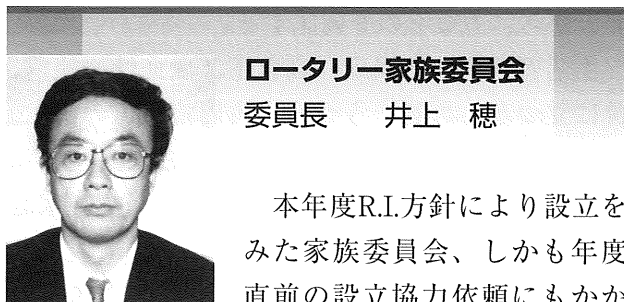
地区内ネットワークも整備されましたので、身近な道具として、活用いただきますよう、お願いいたします。



2005国際博委員会
委員長 内藤 明人

この一年の万博委員会は大変活発な動きの一年でした。2002年暮れに万博協会から、万博RC館は万博終了後取り壊すよう指示を受け、自治体からの存続希望のお話も断ち、RC館のあり方もはっきりしました。2億5千万円程の予算で、万博での例会場、ロータリー100年記念展示、一般市民の出会いの場として目的を持ったロータリー館の設置に向かいRC会員心を一つにしてこの成功に向かって立ち上がって頂いた次第です。この資金内容については、その半分は当地区2760地区会員のご協力によりまかない、残りは全国RC会員からのご協力金とその他のイベントや協力金でまかない、立派な万博ロータリー館を建設したいと考えております。

RC万博委員会に各クラブから参加頂いており、パストガバナー始め、地区役員経験の方々にそれぞれの立場の責任者としてご協力を頂いておりますが、大島新ガバナーもこの万博館成功に向かって強力に支援頂いており、新年度も皆様のご理解ご協力を宜しく申し上げます。

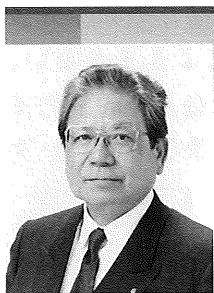


ロータリー家族委員会
委員長 井上 穂

本年度R.I方針により設立をみた家族委員会、しかも年度直前の設立協力依頼にもかかわらず地区内クラブにおかれましては、この趣

旨へのご理解をいただき委員会を設置したクラブは40クラブ、クラブ奉仕委員会と兼務したクラブが9クラブ、親睦活動委員会との兼務が26クラブと合計75クラブが活動をされました。委員会を代表して各クラブの皆様方に感謝申し上げます。

ロータリー家族に対する活動は各クラブにおかれましてはクリスマス家族例会、花見例会、お月見家族例会等々すでに取り組まれており、その延長線上で家族委員会活動とリンクしたクラブが多かったことは初年度としてはやむをえない事だと理解します。そんな中、物故会員家族に対するプログラムとか、退会したロータリーアンに対するプログラム等で委員会趣旨にそって新しく取り組まれたクラブも見受けられました。今後はさらに多くのクラブが一層充実した家族委員会活動に取り組まれる事を期待し、そのことが地域社会に対する奉仕活動に多くの人々の参加を促し、さらにロータリーの広報活動、会員増強などの活動に寄与してくると思います。今後さらなる飛躍を期待します。



保健関連委員会
委員長 田中 清隆

今年度新設された保健関連委員会は、出遅れのスタートであったが、それでも地区内で56クラブが委員会を設置された。

本年度事業計画の一つとして保健関連委員会による例会卓話の企画をお願いしたところ、多くのクラブで医療保健関連の多岐にわたる演題が取り上げられた。「中経新聞、今週の例会だよ」から、主なものを列記する。

生活習慣病、糖尿病、高血圧、虚血性心臓病、役に立つがんの話、うつ病、歯周病・歯の衛生、白内障、前立腺がん、かぶれ、性感染症、エイズ、予防接種、健康づくり、検診ドック、家庭での介護等々である。

地区委員会からもメディカルトピックスとして、「インフルエンザにご注意を」、「糖尿病予備

軍800万人」、「早急にエイズ対策を」、「急増する若年層の性感染症」を各クラブ宛に送付した。また、「性感染症とは」のミニパンフレットの配布を、インター、ローターアクト委員会に依頼した。

せっかく立ち上げた保健関連委員会ですから、今後も各クラブ独自の活動を継続されることを期待します。

第6回地区 諮問委員会

日時：2004年6月12日（土）P.M 4：00～

場所：名鉄グランドホテル 18F「アイリス」

[出席者]	福田浩三P.D.G.	田中P.D.G.
	盛田 P.D.G.	神戸P.D.G.
	松本P.D.G.	内藤P.D.G.
	野村P.D.G.	福田清成P.D.G.
	太田P.D.G.	岡部P.D.G.
	豊島D.G.	大島D.G.E.

オブザーバー

瀧地区幹事	安藤次期地区幹事
長谷川地区副幹事	廣瀬地区スタッフ

[欠席者]	森 P.D.G.	奥谷 P.D.G.
	加納P.D.G.	宮地P.D.G.
	蜂谷 P.D.G.	石川P.D.G.

次第

- 豊島ガバナー挨拶
- 協議事項
 1. 2003～2004年度
RI国際大会協力積立金について
 2. 2003～2004
地区運営についてのご意見
 3. その他
- 報告事項
報告事項に関する資料の目次を参照

半田南RCC結成認証状伝達式

2004年6月8日(火) 半田南 会長 沢田 信

半田南ロータリークラブが提唱のRCC、半田災害支援ボランティアコーディネーター（VC）の会に対する認証状伝達式例会を開催するにあたり、提唱クラブを代表して一言ごあいさつ申し上げます。

本日は、公私ご多用のところ、豊島ガバナーをはじめ関係役職ロータリアンのみなさま、半田市長さま、関係諸団体のみなさまが多数のご臨席を賜り、伝達式の華を添えて下さいましたこと、心より厚くお礼と感謝申し上げます。

RCCは、1992年度版手続要覧により初めて社会奉仕事業としてRI理事会において採択された事案で、そして1999年4月RI理事会で再度見直し決定されたものでもあります。IAC、RACとともに社会奉仕活動の三大事業の一つに認知されました。

本年2月6日開催の第5回RCC交流会議に出席して、初めてRCC（ロータリー地域社会共同隊）の本旨を勉強させて頂きました。それまでは聞きなれず、馴染みうすき用語でありました。

わがクラブ社会奉仕委員会、都築利金委員長を中心に、地区RCC交流会議を反省し検討を加えた末、わがクラブもRCCを誕生させようと合意、理事会の承認を得て、その推薦候補を半田災害支援ボランティアコーディネー

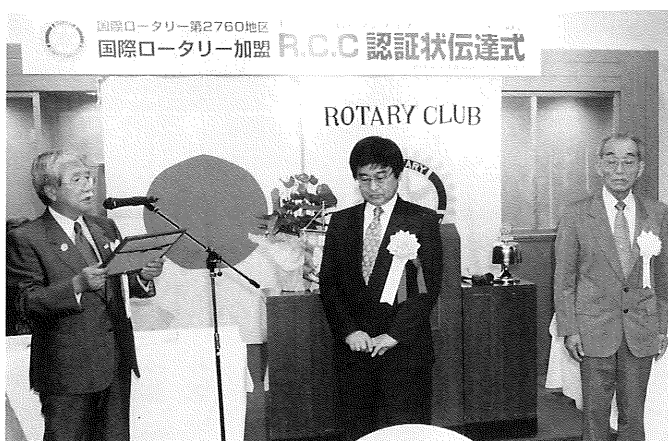
ターの会に絞り、決定いたしました。

半田災害支援VCの会の前身は、平成10年6月に社会奉仕委員会の起案に基

づき、社会奉仕活動の一環として、半田地域災害ボランティアコーディネーター研修講座を開講したのが動機で、その間関係団体の後援協力

を得て回を重ねた結果、受講生の結集力が実り、各々の立場から創意、工夫、卓越した英知を発揮されて、平成13年4月わがクラブから独立誕生したのがあります。現在では109名の構成会員を保有し、自主的な目標を樹立、活動を広域にされております。今後も更なる研修講座等を研鑽され、存在の啓蒙を積極的に行い、災害時には地域から期待される立場となられることを望み、役員みなさまがたのご苦勞に対し感謝申し上げます。

終わりに、支援団体のわがクラブも側面から助言と協力を限りなく惜しまないことのお約束を誓い、私のあいさつといたします。



“Lend a Hand”の達成

あなたに、あなたのクラブに感謝と敬意

地区幹事 瀧 義孝

日時：2004.6.12（土） PM5：00 場所：名鉄グランドホテル

'03～'04年度 RI第2760地区 地区役員・会長幹事懇談会が別記の如く開催されました。

諮問委員 パストガバナー各位の特別出席者をはじめ、地区役員、80クラブ会長幹事、事務局総勢210名のもとに挙行されました。点鐘の鐘は、

RI会長代理 山田三郎様より豊島ガバナーに寄贈された“清和の鐘”が用意されました。美しい余韻が心の奥深くに浸透する一年の感謝と敬意

をこめた豊島ガバナーの開会点鐘でありました。

Lend a Hand のテーマのもとに、各クラブより素晴らしいロータリー活動の実績がRIに認知され表彰伝達が数多く届きました。地区役員、各クラブの会長・幹事さんの多大のご活躍に感謝と敬意を表し一年のご労苦に御礼申しあげる次第であります。

なお、本日の表彰は5月末までにRIより通達を受けた件であることを申し添えます。

式典終了後は、名フィルによる“小さなコンサート”により一年の疲れを癒す音色と、引き続き懇談会で互いの交流に華が咲き、盛況のうちに終始し、手に手に輪に輪のロータリー友情の輪で散会となりました。

2003～2004年度 国際ロータリー第2760地区 地区役員・会長幹事懇談会



2003～2004年度 地区役員・会長幹事懇談会次第

2004年6月12日（土） 17：00～19：30 於：名鉄グランドホテル 11F 柏の間

16:30 受付開始

[式典の部]

司会：

地区幹事
ガバナー
地区会計長瀧 義孝
豊島 徳三
森 裕晃17:00 点鐘「清和の鐘」
開会の辞君が代、ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー地区副幹事
地区幹事
ガバナー
ガバナー
地区副幹事林 岡成
瀧 義孝
豊島 徳三
豊島 徳三
長谷川 昇一特別出席者紹介
ガバナー挨拶
表彰及び感謝状贈呈

受賞クラブ (51ページ参照)

周年記念行事ロータリー館寄付感謝状
中部経済新聞社への感謝状
受賞クラブ代表挨拶
閉会の辞代表クラブ
中部経済新聞
名古屋大須RC会長
地区監事名古屋西RC会長 横山 健一
伊藤 博
吉田 隆彦
水野 憲司

17:40 点鐘「清和の鐘」

[懇談会の部]

司会：

地区スタッフ

早川 英司

17:40 小さなコンサート

18:10 懇談会開宴
ガバナーエレクト挨拶
乾杯ガバナーエレクト
パストガバナー大島 宏彦
福田 浩三

懇談

ロータリーソング「手に手つないで」

ソングリーダー

地区副幹事
地区幹事林 岡成
瀧 義孝19:30 御礼の言葉
お開き

5.30 クリーンキャンペーン

地区環境保全委員会 委員長 國分 孝雄

2005年には「環境」と「市民参加」を2本柱に愛知万博が開催される事は周知のとおりであり、多くの人々が国内はもとより海外からもこの愛知を訪れます。これらの方々をゴミのない美しい街として迎え入れなければなりません。更に、2003～2004年度、豊島ガバナーの「環境問題に積極的に取り組んでゆきましょう」という方針と、「ロータリアンとして太陽のもとに出て、自ら進んで手を汚して奉仕活動をししょう」との熱い思いを受け、地区内環境保全委員長会議での決議と、地区内80クラブの賛同を得て2004年5月30日（ゴミゼロの日）中心にクリーンキャンペーンを愛知県内各所で展開しました。5月30日は前日に出された雨との天気予報とはうらはらに、豊島ガバナーの太陽のもとに出ようと云う願いが通じたのか久しぶりの晴天となり、無事にクリーンキャンペーンを実施する事ができました。

特に、日常はあまり自ら手を汚す奉仕活動とは縁遠い名古屋市内のロータリークラブでも17

ロータリークラブが協働して、名古屋の中心部、久屋大通り公園で清掃活動をおこないました。当日は、約500名弱のロータリアンが午前8時30分にオアシス21に集合し、豊島ガバナーの挨拶と注意事項の説明の後、9時から、夫々事前に割り当てられたエリアの清掃活動を約1時間に亘って展開しました。豊島ガバナーも自ら持参のトンガ、軍手、ゴミ袋の三点セットを手に参加メンバーと共に汗をながされました。又、凡そ1時間の清掃活動で集まったトラック一杯ものゴミの山と共に、参加のロータリアンも行動前とは打って変わって晴れ晴れとした顔になっていました。

最後に、限られた紙面の中ではこの運動に御参加頂いた各クラブの活動を十分に報告する事が出来ませんが、このクリーンキャンペーンに参加、御協力頂きました多くの地区内ロータリークラブ及びロータリアンの皆様には感謝と御礼をもうしあげたいと思います。

（一年間のご購読ありがとうございました）

月信担当地区副幹事 黒木 義公

一年間ご購読頂きまして有難うございました。何とか無事に仕事を終えることができました。これも会員の皆様の友情と協力のお陰と感謝しております。特に原稿依頼をお願いした方々には快くお引き受け頂き有難うございました。お陰でガバナー月信スタッフ一同一年間本当に楽しく、順調に仕事をする事が出来ました。この活動を通じてお互いにますます深い信頼と友情が生まれたことを報告させていただきます。皆さん新しい試みの次期ガバナー月信を楽しみに待ちましょう。



会員数 及び 出席報告 (平成16年6月分)

分 区	クラブ名	会 員 数		入 会		退 会		例 会 数	6月 出席率	女 性
		2003年 7月1日	2004年 6月末日	6月	累計	6月	累計			
南 尾 張 分 区	半 田	68	66	0	3	3	5	4	96.61%	4
	常 滑	58	54	0	0	2	4	4	94.03%	0
	東 海	56	52	1	5	3	9	4	92.73%	2
	東 知 多	27	22	0	2	5	7	4	88.26%	1
	半 田 南	54	50	1	2	5	6	4	93.21%	1
	知 多	33	27	0	0	3	6	3	90.00%	0
	大 府	28	28	0	2	0	2	4	86.00%	0
	7RC	324	299	2	14	21	39		91.55%	8
西 尾 張 分 区	一 宮	80	80	0	6	1	6	4	99.67%	0
	津 島	78	76	0	3	1	5	4	100.00%	1
	尾 西	40	37	0	0	0	3	4	91.89%	0
	一 宮 北	61	61	0	8	3	8	4	91.62%	0
	稲 沢	61	60	1	4	2	5	4	90.09%	0
	あ ま	91	93	0	5	2	3	4	96.08%	0
	西春日井	38	43	2	6	0	1	5	92.22%	1
	尾張中央	48	51	0	4	0	1	5	89.05%	0
東 尾 張 分 区	一宮中央	61	59	0	3	2	5	5	95.86%	6
	9RC	558	560	3	39	11	37		94.05%	8
	瀬 戸	82	83	0	4	0	3	5	99.51%	3
	犬 山	87	84	1	6	3	9	5	99.49%	0
	江 南	64	63	1	2	1	3	4	92.68%	1
	小 牧	74	71	0	2	2	5	5	73.30%	2
	春 日 井	75	62	0	0	6	13	4	95.31%	4
	尾 張 旭	34	29	0	1	3	6	4	99.19%	0
西 名 古 屋 分 区	名古屋空港	52	53	0	6	2	5	4	95.88%	0
	瀬 戸 北	75	73	0	0	0	2	5	100.00%	2
	岩 倉	21	17	0	1	2	5	5	100.00%	0
	豊山-城北	33	31	0	2	0	4	5	86.75%	1
	愛知長久手	23	23	0	7	2	7	5	80.00%	2
	11RC	620	589	2	31	21	62		92.92%	15
	名 古 屋	195	189	0	11	9	17	5	92.62%	0
	名古屋西	112	99	1	3	6	16	4	91.10%	0
西 三 河 中 分 区	名古屋南	114	113	3	11	4	12	5	92.88%	0
	名古屋みなと	89	84	0	3	6	8	4	97.01%	0
	名古屋東南	76	73	0	6	2	9	5	91.20%	6
	名古屋中	139	135	0	4	4	8	4	97.64%	0
	名古屋瑞穂	76	75	0	3	2	4	3	98.25%	0
	名古屋大須	67	65	1	5	4	7	4	95.01%	2
	名古屋栄	78	81	0	8	1	5	4	96.57%	0
	名古屋名南	82	83	0	4	2	3	5	98.15%	13
西 三 河 分 区	名古屋名駅	99	90	1	16	13	25	5	91.79%	2
	名古屋西南	52	54	0	7	2	5	4	95.71%	8
	12RC	1,179	1,141	6	81	55	119		94.83%	31
	名 古 屋 北	99	97	2	8	7	10	4	97.63%	0
	名古屋東	85	90	0	9	0	4	4	94.15%	0
	名古屋守山	67	65	0	4	2	6	5	90.87%	5
	名古屋和合	95	103	0	15	1	7	5	94.32%	0
	名古屋名東	65	57	0	2	5	10	4	100.00%	5
東 三 河 分 区	名古屋名北	53	50	0	1	1	4	4	99.36%	8
	名古屋千種	68	65	0	1	0	4	5	95.55%	6
	名古屋昭和	65	60	0	1	3	6	4	99.12%	0
	名古屋錦	36	36	0	2	1	2	5	89.87%	8
	名古屋東山	60	62	0	3	0	1	4	90.42%	2
	10RC	693	685	2	46	20	54		95.13%	34
	豊 橋	116	120	2	7	0	3	4	98.27%	4
	蒲 郡	67	66	0	2	2	3	3	91.16%	0
西 三 河 中 分 区	豊 橋 北	99	101	2	5	0	3	4	95.10%	2
	豊 川	69	68	2	3	0	4	5	95.18%	0
	田 原	60	61	3	8	4	7	3	94.94%	1
	豊 橋 南	65	62	0	1	3	4	4	96.61%	0
	新 城	62	60	0	1	1	3	4	97.49%	0
	渥 美	39	38	0	2	2	3	4	92.15%	0
	奥 三 河	29	26	0	0	0	3	5	92.20%	3
	豊川宝飯	53	53	1	3	1	3	5	96.20%	0
西 三 河 分 区	豊橋ゴールデン	71	71	1	1	0	1	4	95.40%	0
	田原バンフィック	71	68	0	1	2	4	4	91.07%	0
	豊 橋 東	48	47	0	1	2	2	4	100.00%	0
	13RC	849	841	11	35	17	43		95.06%	10
	岡 崎	103	99	0	8	2	12	5	98.84%	1
	豊 田	76	73	0	7	4	10	4	100.00%	0
	岡 崎 南	106	99	0	4	4	11	5	99.25%	2
	豊 田 西	101	100	0	6	3	7	3	98.95%	0
西 三 河 分 区	岡 崎 東	80	73	0	1	2	8	4	97.88%	0
	豊 田 東	80	81	0	3	0	2	5	97.01%	0
	岡崎城南	78	75	0	2	4	5	5	97.95%	0
	豊田三好	26	24	0	0	1	2	3	93.94%	3
	豊 田 中	52	49	0	3	2	6	4	97.00%	5
	9RC	702	673	0	34	22	63		97.87%	11
	刈 谷	82	86	0	14	5	10	4	100.00%	0
	安 城	69	70	1	4	1	3	4	99.48%	1
西 三 河 分 区	西 尾	77	77	1	5	0	5	4	100.00%	1
	碧 南	73	75	0	5	0	3	4	99.18%	0
	一 色	37	36	0	1	1	2	3	100.00%	0
	高 浜	43	43	0	1	0	1	3	100.00%	2
	知 立	63	62	0	4	2	5	5	98.21%	0
	西尾KIRARA	61	62	0	2	0	1	3	100.00%	0
	三河安城	47	54	2	9	1	2	4	95.86%	4
	9RC	552	565	4	45	10	32		99.19%	8

クラブ 平均

平均出席率 80 95.07

地区内クラブ数 80RC

2003年7月1日会員数 5,477名

当月会員数 5,353名 (内女性125名)

当月平均出席率 95.07%

増加会員数 (累計) 325名

減少会員数 (累計) 449名

差引純増会員数 (累計) ▲124名

2003～2004年度
地区年次報告書

国際ロータリー第2760地区

ガバナー 豊島 徳三

2003～2004年度豊島ガバナー公式訪問日程表

公式訪問日程日	訪問クラブ名
7月29日(火)	◎名古屋ロータリークラブ
7月30日(水)	◎豊橋東ロータリークラブ 豊橋ゴールデンロータリークラブ
7月31日(木)	◎一宮ロータリークラブ 尾西ロータリークラブ
8月4日(月)	◎名古屋昭和ロータリークラブ 名古屋東ロータリークラブ
8月6日(水)	◎名古屋名駅ロータリークラブ 名古屋西ロータリークラブ
8月9日(土)	◎東知多ロータリークラブ 東海ロータリークラブ 大府ロータリークラブ
8月19日(火)	◎豊山-城北ロータリークラブ 名古屋空港ロータリークラブ
8月20日(水)	◎岡崎ロータリークラブ 岡崎東ロータリークラブ
8月21日(木)	◎豊橋ロータリークラブ
8月22日(金)	◎津島ロータリークラブ あまロータリークラブ
8月25日(月)	☆名古屋栄ロータリークラブ 名古屋大須ロータリークラブ
8月27日(水)	◎知立ロータリークラブ 刈谷ロータリークラブ
8月29日(金)	◎蒲郡ロータリークラブ
9月1日(月)	◎豊橋南ロータリークラブ 豊橋北ロータリークラブ
9月2日(火)	◎名古屋名東ロータリークラブ 名古屋千種ロータリークラブ
9月4日(木)	◎名古屋南ロータリークラブ 名古屋瑞穂ロータリークラブ
9月5日(金)	◎小牧ロータリークラブ 春日井ロータリークラブ
9月9日(火)	◎犬山ロータリークラブ 江南ロータリークラブ 岩倉ロータリークラブ
9月10日(水)	◎名古屋守山ロータリークラブ 名古屋北ロータリークラブ
9月11日(木)	◎半田ロータリークラブ 半田南ロータリークラブ
9月16日(火)	☆田原パシフィックロータリークラブ 田原ロータリークラブ 渥美ロータリークラブ

公式訪問日程日	訪問クラブ名
9月17日(水)	◎豊田東ロータリークラブ 豊田ロータリークラブ 豊田中ロータリークラブ
9月18日(木)	◎名古屋東山ロータリークラブ 名古屋和合ロータリークラブ
9月22日(月)	◎知多ロータリークラブ 常滑ロータリークラブ
9月24日(水)	◎三河安城ロータリークラブ 安城ロータリークラブ
9月26日(金)	◎名古屋みなとロータリークラブ 名古屋西南ロータリークラブ
9月29日(月)	◎名古屋中ロータリークラブ
10月1日(水)	◎豊川ロータリークラブ 豊川宝飯ロータリークラブ
10月2日(木)	◎一色ロータリークラブ 西尾ロータリークラブ 西尾KIRARAロータリークラブ
10月3日(金)	◎岡崎南ロータリークラブ 岡崎城南ロータリークラブ
10月6日(月)	◎豊田西ロータリークラブ 豊田三好ロータリークラブ
10月7日(火)	◎瀬戸北ロータリークラブ 瀬戸ロータリークラブ 尾張旭ロータリークラブ 愛知長久手ロータリークラブ
10月8日(水)	◎名古屋名北ロータリークラブ 名古屋錦ロータリークラブ
10月15日(水)	◎碧南ロータリークラブ 高浜ロータリークラブ
10月17日(金)	◎新城ロータリークラブ 奥三河ロータリークラブ
10月22日(水)	☆名古屋東南ロータリークラブ 名古屋名南ロータリークラブ
10月29日(水)	◎稲沢ロータリークラブ 西春日井ロータリークラブ 尾張中央ロータリークラブ
10月31日(金)	◎一宮北ロータリークラブ 一宮中央ロータリークラブ

◎ホストクラブ（昼間例会） ☆ホストクラブ（夜間例会）

2003～2004年度ガバナー補佐訪問日程表

ク ラ ブ 名		ガバナー補佐訪問日
南 尾 張 分 区		
河合博文ガバナー補佐		林岡成地区副幹事
半	田	8月28日(木)
常	滑	9月5日(金)
東	海	7月23日(水)
東	知	7月26日(土)
半	田	8月26日(火)
知	多	9月8日(月)
大	多	7月24日(木)
府		
西 尾 張 分 区		
田口茂利平ガバナー補佐		荻本鉄夫地区副幹事
一	宮	7月17日(木)
津	島	8月8日(金)
尾	西	7月14日(月)
一	宮	10月17日(金)
稲	沢	10月8日(水)
あ	ま	8月4日(月)
西	春	10月14日(火)
尾	張	10月15日(水)
一	宮	10月1日(水)
中	央	
中	央	
東 尾 張 分 区		
坪井靖治ガバナー補佐		森田進地区副幹事
瀬	戸	9月17日(水)
犬	山	8月19日(火)
江	南	8月28日(木)
小	牧	8月20日(水)
春	日	8月22日(金)
尾	張	9月19日(金)
名	古	8月4日(月)
屋	空	9月16日(火)
瀬	戸	8月26日(火)
岩	倉	8月5日(火)
豊	山	9月9日(火)
愛	知	
長	久	
手		
西 名 古 屋 分 区		
岡田守功ガバナー補佐		長谷川昇一地区副幹事
名	古	7月15日(火)
名	古	7月24日(木)
名	古	8月20日(水)
名	古	9月12日(金)
名	古	10月8日(水)
名	古	8月25日(月)
名	古	8月21日(木)
名	古	8月7日(木)
名	古	8月4日(月)
名	古	10月7日(火)
名	古	7月23日(水)
名	古	9月11日(木)
西	南	

ク ラ ブ 名		ガバナー補佐訪問日
東 名 古 屋 分 区		
長谷川正孝ガバナー補佐		木全輝雄地区副幹事
名	古	8月22日(金)
名	古	7月14日(月)
名	古	8月27日(水)
名	古	9月3日(水)
名	古	8月5日(火)
名	古	9月24日(水)
名	古	8月19日(火)
名	古	7月28日(月)
名	古	9月16日(火)
名	古	9月4日(木)
東	山	
東 三 河 分 区		
木村守雄ガバナー補佐		大森克孝地区副幹事
豊	橋	8月7日(木)
蒲	郡	8月8日(金)
豊	橋	8月19日(火)
豊	川	9月17日(水)
田	原	8月29日(金)
豊	橋	8月18日(月)
新	城	10月3日(金)
渥	美	8月27日(水)
奥	三	9月24日(水)
豊	川	9月16日(火)
豊	橋	7月11日(金)
田	原	9月2日(火)
豊	橋	7月16日(水)
東		
西 三 河 中 分 区		
鈴木英成ガバナー補佐		黒木義公地区副幹事
岡	崎	8月6日(水)
豊	田	8月28日(木)
岡	崎	9月19日(金)
豊	田	9月8日(月)
岡	崎	7月31日(木)
豊	田	9月3日(水)
岡	崎	9月16日(火)
豊	田	9月22日(月)
豊	田	8月29日(金)
中		
西 三 河 分 区		
榊原義嗣ガバナー補佐		山内國雄地区副幹事
刈	谷	8月4日(月)
安	城	9月5日(金)
西	尾	9月9日(火)
碧	南	10月1日(水)
一	色	9月18日(木)
高	浜	9月30日(火)
知	立	8月6日(水)
西	尾	9月12日(金)
三	河	9月10日(水)
安	城	

第2760地区 2003～2004年度地区資金決算書

〈一般会計の部〉

収入の部		2002～2003年度		2003～2004年度			備考
科	目	予算	決算	予算	決算	差異	
前年度繰越金		3,000,000	6,043,733	3,000,000	18,164,920	-15,164,920	
地区資金前期		30,000,000	28,735,000	29,000,000	27,435,000	1,565,000	5,000円 5487人
地区資金後期		24,400,000	22,776,000	23,200,000	21,904,000	1,296,000	4,000円 5476人
雑収		20,000	10,180,198	20,000	88,884	-68,884	職業奉仕委員会より事例集販売費等
合	計	57,420,000	67,734,931	55,220,000	67,592,804	-12,372,804	

支出の部		2002～2003年度		2003～2004年度			備考
科	目	予算	決算	予算	決算	差異	
国際ロータリー行事費		1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	0	
ガバナー国際協議会出席補助金		1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	
R I 規定審議会出席補助金		300,000	300,000	300,000	300,000	0	
地区行事費		7,300,000	7,300,000	6,700,000	6,500,000	200,000	
地区大会費		4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000	0	
地区協議会		1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	0	
I M 費		1,600,000	1,600,000	1,000,000	800,000	200,000	
会長エレクト研修セミナー		600,000	600,000	600,000	600,000	0	
地区運営費		31,370,000	30,996,899	30,300,000	31,123,650	-823,650	
ガバナー会議等出席補助金		2,800,000	1,687,827	1,800,000	1,405,400	394,600	
ガバナー会運営協力金		1,200,000	1,145,175	1,160,000	1,095,300	64,700	100円 5477人(上) 100円 5476人(下)
ロータリー文庫運営協力金		1,800,000	1,715,925	1,740,000	1,642,950	97,050	150円 5477人(上) 150円 5476人(下)
ガバナー事務所運営費		8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000	0	
地区事務所運営費		10,000,000	11,500,000	10,000,000	12,600,000	-2,600,000	2005国際博委員会費 残金¥701,042と予備費より拠出
ガバナーエレクト事務所補助金		3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	0	
地区会計費		200,000	200,000	200,000	200,000	0	
地区幹事費		300,000	300,000	300,000	300,000	0	
ガバナー補佐費		2,820,000	2,850,000	2,850,000	2,880,000	-30,000	1クラブ 30,000円 増加
特別代表費		900,000	300,000	900,000	0	900,000	
記念品費		350,000	297,972	350,000	0	350,000	
地区委員会費		7,850,000	6,363,108	8,470,000	7,219,414	1,250,586	
地区諮問委員会費		1,000,000	796,108	1,000,000	915,208	84,792	
地区指名委員会費		50,000	0	50,000	20,000	30,000	
地区財務委員会費		100,000	10,000	100,000	45,566	54,434	
拡大委員会費		200,000	102,575	150,000	47,351	102,649	
クラブ奉仕委員会費		300,000	198,098	200,000	20,000	180,000	
会員増強委員会費		200,000	115,748	200,000	225,116	-25,116	
広報委員会費		200,000	10,000	150,000	96,347	53,653	
職業奉仕委員会費		300,000	196,538	250,000	0	250,000	
社会奉仕委員会費		300,000	18,862	250,000	42,947	207,053	} 87,053 (小委員会を含めた差異)
R C C 委員会費		300,000	460,000	300,000	420,000	-120,000	
環境保全委員会費		500,000	511,573	500,000	454,487	45,513	
国際奉仕委員会費		300,000	216,774	300,000	275,730	24,270	
青少年交換委員会費		200,000	159,475	200,000	200,000	0	
世界社会奉仕委員会費		300,000	282,470	300,000	421,640	-121,640	
新世代委員会費		250,000	250,000	250,000	673,255	-423,255	} -78,048 (小委員会を含めた差異)
インターアクト委員会費		400,000	141,350	400,000	141,000	259,000	
ローターアクト委員会費		400,000	365,126	400,000	392,974	7,026	
ライラ委員会費		150,000	39,217	150,000	70,819	79,181	
ロータリー財団委員会費		250,000	321,023	300,000	340,685	-40,685	
補助金委員会費		-	-	0	0	0	} -151,436 (小委員会を含めた差異)
財団奨学委員会費		250,000	188,245	250,000	249,212	788	
財団学友会委員会費		200,000	210,000	200,000	221,296	-21,296	
恒久基金委員会費		0	0	20,000	20,000	0	
研究グループ交換委員会費		300,000	310,000	300,000	420,243	-120,243	
ポリオプラス委員会費		100,000	105,775	50,000	20,000	30,000	
米山奨学委員会費(米山学友会を含む)		800,000	690,000	800,000	800,000	0	
インターネット委員会費		200,000	344,343	200,000	186,580	13,420	
2005国際博委員会費		300,000	319,808	1,200,000	498,958	701,042	
特別活動事業費		6,000,000	3,467,582	5,000,000	3,292,200	1,707,800	600円 5487人を特別会計 事業費繰入金へ
雑費		1,000,000	142,422	1,000,000	160,357	839,643	
予備費		2,600,000	0	2,450,000	0	2,450,000	
次年度繰越金		0	18,164,920		17,997,183	-17,997,183	
合	計	57,420,000	67,734,931	55,220,000	67,592,804	-12,372,804	

第2760地区 2003～2004年度地区資金決算書

〈特別会計の部〉

地区大会協力金

		2002～2003年度		2003～2004年度			備 考
		予 算	決 算	予 算	決 算	差 異	
収入	繰 越 金						
	協 力 金	30,000,000	28,735,000	29,000,000	27,435,000	1,565,000	5,000円 5487人
	繰 入 金					0	
	合 計	30,000,000	28,735,000	29,000,000	27,435,000	1,565,000	
支出	補 助 金	30,000,000	28,735,000	29,000,000	27,435,000	1,565,000	
	次 期 繰 越 金					0	
	合 計	30,000,000	28,735,000	29,000,000	27,435,000	1,565,000	

事業費

		2002～2003年度		2003～2004年度			備 考
		予 算	決 算	予 算	決 算	差 異	
収入	繰 越 金	0	9,993,721	0	1,724,100	-1,724,100	
	地 区 事 業 費	29,040,000	27,458,400	27,840,000	26,311,200	1,528,800	2,400円 5487人(上) 2,400円 5476人(下)
	繰 入 金	3,360,000	3,467,582	3,480,000	3,292,200	187,800	一般会計より 600円 5487人
	合 計	32,400,000	40,919,703	31,320,000	31,327,500	-7,500	
支出	青 少 年 交 換 事 業 資 金	12,600,000	11,120,525	12,180,000	12,350,221 (実質予算 11,522,700)	-170,221	(2,100円 5487人)
	青 少 年 活 動 事 業 資 金	15,000,000	15,081,357	14,500,000	13,983,145 (実質予算 13,717,500)	516,855	(2,500円 5487人)
	ポリオプラス活動支援金	1,800,000	0	1,740,000	0	1,740,000	(300円 5487人)
	研究グループ交換協力金	3,000,000	3,000,000	2,900,000	2,743,500 (実質予算 2,743,500)	156,500	(500円 5487人)
	一 般 会 計 へ 戻 し い れ		9,993,721				
	次 期 繰 越 金		1,724,100		2,250,634	-2,250,634	
	合 計	32,400,000	40,919,703	31,320,000	31,327,500	-7,500	

積立金

		2002～2003年度		2003～2004年度			備 考
		予 算	決 算	予 算	決 算	差 異	
1. RI規定審議会補助積立金							
収入	繰 越 金	300,000	326,557	600,000	626,557	-26,557	
	繰 入 金	300,000	300,000	300,000	300,000	0	一般会計より 300,000円
	合 計	600,000	626,557	900,000	926,557	-26,557	
支出	送 金	0	0	900,000	926,557	-26,557	
	次 期 繰 越 金	600,000	626,557	0	0	0	
	合 計	600,000	626,557	900,000	926,557	-26,557	
2. RI国際大会協力積立金							
収入	繰 越 金	0	0	0	0	0	
	積 立 金	12,100,000	11,434,000	11,600,000	10,963,000	637,000	1,000円 5487人(上) 1,000円 5476人(下)
	繰 入 金	0	0	0	0	0	
	合 計	12,100,000	11,434,000	11,600,000	10,963,000	637,000	
支出	送 金	12,100,000	11,434,000	11,600,000	10,963,000	637,000	2005国際博協力金として送金
	次 期 繰 越 金	0	0	0	0	0	
	合 計	12,100,000	11,434,000	11,600,000	10,963,000	637,000	
3. 2005年日本国際博覧会協力積立金							
収入	繰 越 金	24,800,000	30,263,000	48,413,000	21,672,500	26,740,500	
	積 立 金	18,150,000	17,161,500	17,400,000	16,444,500	955,500	1,500円 5487人(上) 1,500円 5476人(下)
	繰 入 金	0	0	0	0	0	
	合 計	42,950,000	47,424,500	65,813,000	38,117,000	27,696,000	
支出	活 動 費	0	25,752,000	0	0	0	
	送 金				38,117,000	-38,117,000	
	次 期 繰 越 金	42,950,000	21,672,500	65,813,000	0	65,813,000	
	合 計	42,950,000	47,424,500	65,813,000	38,117,000	27,696,000	
4. 特別事業基金							
収入	繰 越 金	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	0	
	積 立 金	0	0	0	0	0	
	繰 入 金	0	0	0	0	0	
	合 計	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	0	
支出	活 動 費	0	0	0	0	0	
	次 期 繰 越 金	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	0	
	合 計	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	0	

上記のとおり報告いたします。

平成16年 8 月

国際ロータリー第2760地区 2003～2004年度 ガバナー
地区幹事
地区会計長

豊島 徳三
瀧 義孝
森 裕晃

関係帳簿を監査の結果、地区資金一般会計および特別会計の収支計算書はいずれも適正であると認めます。

平成16年 8 月

国際ロータリー第2760地区 2003～2004年度 地区監事 水野 憲司
地区財務委員会委員長 伊藤 鶴吉

注、上記決算は来るべき地区大会の承認により確定する予定であります。

2003～04年度 地区事務所収支決算書

[収入の部]

科 目	01～02年度 決算額	02～03年度 予算額	02～03年度 決算額	03～04年度 予算額	03～04年度 決算額	備 考
地区事務所運営費	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	
補正予算	0	1,500,000	1,500,000	2,000,000	2,600,000	2005国際博委員会費拋出の ¥701,042を含む
利 子 収 入	662	0	6		21	
雑 収 入	237,420	200,000	500,210	200,000	501,346	委員会負担
当年度収入合計	10,238,082	11,700,000	12,000,216	12,200,000	13,101,367	
前年度繰越金	1,133,777	2,014,959	2,014,959	698,281	698,281	
収 入 合 計	11,371,859	13,714,959	14,015,175	12,898,281	13,799,648	

[支出の部]

家 賃 等	4,302,600	4,950,000	5,114,878	5,120,000	5,076,009	
敷 金	200,000	0			200,000	
光 熱 費	427,976	450,000	10,207	10,000	9,362	
人件費等 (通勤費含む)	事務局員1 事務局員2	3,112,320 0	3,000,000 3,000,000	6,078,662	6,000,000	6,298,914
事 務 費	404,605	400,000	423,965	430,000	1,102,483	
通 信 費	429,090	500,000	420,766	420,000	325,850	
運 送 費		0	151,580	150,000	98,109	
交 通 費	1,490	50,000	2,910	10,000	3,140	
備 品 費	21,000	20,000	900,723	50,000	19,887	
雑 費	36,733	20,000	79,289	50,000	20,867	
予 備 費	421,086	200,000	133,914	158,281	0	
当年度支出合計	9,356,900	12,590,000	13,316,894	12,398,281	13,154,621	
次年度繰越金	2,014,959	1,124,959	698,281	500,000	645,027	
支 出 合 計	11,371,859	13,714,959	14,015,175	12,898,281	13,799,648	

2003～2004年度 国際博協力金内訳

第 2 7 6 0 地 区	会 員	3 , 0 0 0 円	16,444,500
	一人当たり	7 , 0 0 0 円	37,434,594
	小 計		53,879,094
	特 別 寄 付	コ ン サ ー ト ・ ゴ ル フ	5,270,000
		地 区 大 会 ・ I M	2,000,000
		周 年 記 念 寄 付	1,100,000
		諮問委員会チャリティー	200,000
		国際大会協力金より振替	10,963,000
		カ エ ル 貯 金 箱	4,505,528 ※
		そ の 他	200,000
	小 計		24,238,528
	合 計		78,117,622

他 地 区	地 区 単 位 (12 地 区)	23,709,002
	クラブ単位 (7地区 140クラブ)	6,278,600
	特 別 寄 付	117,000
	合 計	30,104,602

総 合 計	108,222,224
-------	-------------

おかげをもちまして、今年度の協力金は上記の金額に達しました。ご協力いただいた皆様方には、心より感謝申し上げます。紙面にて失礼ですが、御礼申し上げます。

国際ロータリー第2760地区
2003～2004年度ガバナー 豊島 徳三

2003～2004年度国際博協力金クラブ別7000円追加分・貯金箱分

	クラブ名	7000円追加分	貯金箱分
南尾張分 区	半田	483,000	106,579
	常滑	406,000	
	東海	378,000	364,110
	東知多	69,000	106,000
	半田南	385,000	127,027
	知多	217,000	
	大府		41,500
	7RC	1,938,000	745,216
西尾張分 区	一宮	560,000	91,000
	津島	539,000	
	尾西	259,000	34,725
	一宮北	434,000	137,560
	稲沢	427,000	
	あま	651,000	100,000
	西春日井	280,000	
	尾張中央	510,000	
	一宮中央	420,000	33,480
	9RC	4,080,000	396,765
東尾張分 区	瀬戸	581,000	50,850
	犬山	595,000	
	江南	448,000	
	小牧	504,000	
	春日井	476,000	57,700
	尾張旭	224,000	14,210
	名古屋空港	364,000	81,560
	瀬戸北	511,000	31,391
	岩倉	133,000	6,772
	豊山・城北	217,000	
	愛知長久手		
	11RC	4,053,000	242,483
西名古屋分 区	名古屋	1,393,000	
	名古屋西	784,000	143,003
	名古屋南	819,000	54,310
	名古屋みなと	630,000	52,699
	名古屋東南	546,000	20,100
	名古屋中	973,000	62,000
	名古屋瑞穂	532,000	27,344
	名古屋大須	476,000	104,383
	名古屋栄	560,000	
	名古屋名南	584,000	4,000
	名古屋名駅	1,186,945	157,280
	名古屋西南	378,000	5,000
	12RC	8,861,945	630,119

※	貯金箱分
地区事務所	1,243
南尾張分 区 研 修 会	145,615
ガバナー専用貯金箱	1,300,000
クラブ貯金箱	3,058,670
合 計	4,505,528

	クラブ名	7000円追加分	貯金箱分
東名古屋分 区	名古屋北	700,000	51,825
	名古屋東	630,000	67,500
	名古屋守山	469,000	48,180
	名古屋和合	714,000	61,500
	名古屋名東	345,649	74,351
	名古屋名北	357,000	13,330
	名古屋千種	455,000	31,731
	名古屋昭和	441,000	
	名古屋錦	259,000	8,338
	名古屋東山	441,000	160,236
	10RC	4,811,649	516,991
東三河分 区	豊橋	812,000	153,000
	蒲郡		55,950
	豊橋北	693,000	
	豊川	462,000	
	田原	420,000	
	豊橋南	455,000	17,000
	新城	427,000	37,000
	渥美	281,500	14,163
	奥三河	182,000	18,175
	豊川宝飯	371,000	
	豊橋ゴールデン		
	田原バシフィック	497,000	
	豊橋東	336,000	2,055
	13RC	4,936,500	297,343
西三河中 分 区	岡崎	686,000	38,433
	豊田	532,000	
	岡崎南	721,000	28,325
	豊田西	707,000	
	岡崎東	532,000	
	豊田東	567,000	
	岡崎城南	546,000	17,067
	豊田三好	175,000	
	豊田中	357,000	4,044
	9RC	4,823,000	87,869
西三河分 区	刈谷	630,000	6,000
	安城	490,000	32,000
	西尾	525,000	45,550
	碧南	518,000	
	一色	259,000	27,000
	高浜	301,000	1,190
	知立	434,000	30,144
	西尾KIRARA	434,000	
	三河安城	339,500	
	9RC	3,930,500	141,884

合 計	37,434,594	3,058,670
-----	------------	-----------

2003～2004年度 地区大会収支決算報告

●収入の部

科 目	金 額	内 訳
登 録 料	29,388,000	2,449名×12,000円
家 族 登 録 料	144,000	24名×6,000円
晩 餐 会 登 録 料	3,492,000	194名×18,000円
地 区 分 担 金	27,435,000	5,487名×5,000円
地 区 資 金 補 助 金	4,000,000	
出 店 料	90,000	3店×30,000円
ホストクラブ補助金	134,273	
雑 収 入	395,145	祝儀収入、受取利息
合 計	65,078,418	

●支出の部

科 目	金 額	内 訳
総 務 関 係 費	29,394,496	記念事業、参加者手土産、記録誌作成、登録関係事務費、大会パンフレット、会議費等
企 画 運 営 費	17,124,718	式典プログラム、記念講演、ロータリーミーティング、歓迎晩餐会、顕彰昼食会等
会 場 設 営 費	6,032,565	会場設営費等
案 内 ・ 接 待 費	12,526,639	食事代、友愛の広場、ファミリープログラム、看板等
合 計	65,078,418	

2004年2月16日

大会実行委員長

都倉 吾一



大 会 幹 事

前田 正和



大 会 会 計

武田 守正



大 会 監 査

大野 誠一



2004～2005年度のための地区協議会決算報告書

収 入 の 部 ¥ 20,276,362
 支 出 の 部 ¥ 20,221,846
 差し引き残金 ¥ 54,516 →次期ホストクラブへ

収 入 の 部

項 目	比 較		差引増減	摘 要
	予 算 額	決 算 額		
1. 地 区 助 成 金	1,100,000	1,100,000	0	
2. 登 録 料	19,200,000	19,080,000	120,000	有料参加者1,590人
3. ホストクラブ負担金	200,000	0	200,000	
4. 雑 収 入	100,000	96,362	3,638	祝儀利息等
合 計	20,600,000	20,276,362	323,638	

支 出 の 部

項 目	比 較		差引増減	摘 要
	予 算 額	決 算 額		
1. 指 導 者 会 議	250,000	170,134	79,866	
会 場 費	150,000	150,000	0	会場借料
飲 食 費	100,000	20,134	79,866	飲料等
2. 地 区 協 議 会	15,000,000	13,777,613	1,222,387	
会 場 費	3,000,000	2,776,620	223,380	会場借料一式
会 場 設 営 費	3,000,000	3,436,104	-436,104	会場設営一式
会 場 運 営 費	500,000	82,151	417,849	アシスタント・音響・人件費等
飲 食 費	7,000,000	5,760,171	1,239,829	会員飲食費等
友 愛 の 広 場	1,500,000	1,722,567	-222,567	設営等含む一式
3. 庶 務 関 係 費	2,700,000	2,595,061	104,939	
登 録 諸 費	500,000	469,841	30,159	名札・名簿作成等
総 務 関 係	2,000,000	1,957,235	42,765	テキスト・報告書作成を含む諸費
渉 外 関 係	200,000	167,985	32,015	渉外一式
4. 実 行 委 員 会 費	1,800,000	2,533,628	-733,628	
会 議 諸 費	800,000	858,828	-58,828	実行委員会諸費
事 務 関 係	1,000,000	1,674,800	-674,800	人件費を含む・記録等
5. 雑 費	300,000	1,145,410	-845,410	
雑 費	300,000	1,145,410	-845,410	諸費
6. 予 備 費	550,000	0	550,000	
予 備 費	550,000	0	550,000	
合 計	20,600,000	20,221,846	378,154	

以上のとおり会計報告をいたします。

ホストクラブ

2004年6月29日

春日井ロータリークラブ

会 長 寺 倉 勇
 実行委員長 塚 本 兼 光

地区委員会・各クラブ委員長会議等主要日程

開催日	会 合 名	開催場所・備考
2003年 4月15日 火	現・次年度ロータリー財団委員会	名鉄ニューグランドホテル
4月21日 月	会員増強委員会準備	地区事務所
5月31日 土	米山奨学生合同企業見学会・懇親会	ノリタケの森
6月9日 月	会員増強委員会	地区事務所
6月11日 水	第1回補助金委員会・審議会	地区事務所
6月16日 月	第1回GSE委員会	地区事務所
6月17日 火	第1回新世代委員会	地区事務所
6月22日 日	ローターアクト指導者研究会	名古屋ダイヤビルディング
7月3日 木	第1回ガバナー補佐会議	一宮商工会議所
7月4日 金	第1回クラブ奉仕委員会	地区事務所
7月5日 土	米山学友会（愛知）第7回総会・懇親会	ホテルキャッスルプラザ
7月5日 土	第1回地区大会企画委員会	ファッションデザインセンター
7月7日 月	第1回会員増強委員会	地区事務所
7月8日 火	第2回新世代委員会	地区事務所
7月8日 火	第1回RCC委員会	名鉄グランドホテル
7月9日 水	第1回環境保全委員会	ウェスティンナゴヤキャッスル
7月9日 水	第2回補助金委員会・審議会	地区事務所
7月10日 木	第1回拡大委員会	地区事務所
7月10日 木	第1回ロータリー財団7委員会「合同委員会」	名鉄グランドホテル
7月11日 木	第1回国際奉仕委員会	地区事務所
7月12日 土	第1回地区諮問委員会	名鉄グランドホテル
7月12日 土	稲沢RC創立40周年記念式典	ウェスティンナゴヤキャッスル
7月12日 土 ～13日 日	第16回インターアクト海外派遣事前研修合宿	大府市勤労文化会館
7月14日 月	第1回インターネット委員会	地区事務所
7月14日 月	第2回GSE委員会	神戸屋
7月16日 水	第1回職業奉仕委員会	地区事務所
7月17日 木	第1回社会奉仕委員会	ホテルキャッスルプラザ
7月17日 木	第1回地区事務所運営委員会	地区事務所
7月20日 日	第14回インターアクト地区協議会	小牧市勤労センター
7月23日 水	第1回地区米山奨学委員会	地区事務所
7月24日 木 ～8月2日 土	第16回インターアクト海外派遣	オーストラリア ブリスベン
7月27日 日	2004～2005年度 財団奨学生ガイダンス	ホテルキャッスルプラザ
8月5日 火	会員増強委員会委員長会議	名鉄グランドホテル
8月8日 金	第1回広報委員会	地区事務所
8月20日 水	第2回環境保全委員会	ウェスティンナゴヤキャッスル
8月20日 水	第3回GSE委員会	地区事務所
8月23日 土	青少年交換委員会（帰国報告会）	桜花学園
8月23日 土	第1回インターアクト委員会	YMCA
8月26日 火	職業奉仕委員会委員長会議	名鉄グランドホテル
8月28日 木	クラブ米山奨学委員会委員長セミナー	ホテルキャッスルプラザ
9月2日 火	第3回新世代委員会	名古屋マリオットアソシアホテル
9月2日 火	第1回新世代委員会委員長会議	名古屋マリオットアソシアホテル
9月6日 土	第2回地区諮問委員会	名鉄グランドホテル
9月6日 土	第1回指名委員会	名鉄グランドホテル
9月10日 水	第2回米山奨学委員会	地区事務所
9月10日 水	クラブ奉仕委員会委員長会議	名鉄グランドホテル
9月12日 金	第2回国際奉仕委員会	地区事務所
9月12日 金	地区ロータリー財団セミナー	名鉄グランドホテル
9月15日 月	第1回米山学友会役員会	ホテルキャッスルプラザ
9月16日 火	第4回GSE委員会	地区事務所
9月19日 金	第1回環境保全委員会委員長会議	ウェスティンナゴヤキャッスル
9月20日 土 ～21日 日	ローターアクト国内研修	高山 白川郷
9月25日 木	第1回国際奉仕委員会委員長会議	名古屋東急ホテル
9月26日 金	第2回RCC委員会	地区事務所
9月30日 火	第3回補助金委員会・審議会	地区事務所
10月4日 土	米山奨学生・学友の企業見学会	NHK名古屋放送局
10月7日 火	第2回ロータリー財団7委員会「合同委員会」	地区事務所
10月10日 金	第2回広報委員会	地区事務所

地区委員会・各クラブ委員長会議等主要日程

開 催 日	会 合 名	開催場所・備考
10月14日 火	第5回GSE委員会	地区事務所
10月16日 木	第2回インターアクト委員会	地区事務所
10月17日 金	次年度インターアクト協議会について	勝川プラザ
10月24日 金	広報・雑誌委員会委員長会議	名鉄グランドホテル
10月25日 土	第2回地区大会企画委員会	ファッションデザインセンター
10月26日 日	第6回GSE委員会	レストラン神戸屋
10月26日 日	ローターアクト委員会	ロイヤルパークイン名古屋
10月28日 火	ロータリー財団委員会委員長会議	名鉄グランドホテル
10月30日 木	第2回インターネット委員会	地区事務所
11月2日 土	ローターアクトアクトーズミーティング	アイプラザ岡崎
11月3日 日	RI第9520地区研究グループ交換（GSE）来日歓迎晩餐会	名古屋東急ホテル
11月8日 土	第3回地区諮問委員会	ウェスティンナゴヤキャッスル
11月8日 土 ～9日 日	地区大会	ウェスティンナゴヤキャッスル
11月12日 水	第3回米山奨学委員会	地区事務所
11月15日 土	第2回米山学友会役員会	ホテルキャッスルプラザ
11月15日 土	第14回インターアクトクラブ次期役員研修会	YMCA研修室
11月15日 土	カウンセラー研究会	ホテルキャッスルプラザ
11月22日 土	尾張中央RC創立20周年記念式典	ウェスティンナゴヤキャッスル
11月25日 火	第4回補助金委員会・審議会	地区事務所
11月25日 火	第4回新世代委員会	地区事務所
11月26日 水	第3回環境保全委員会	ウェスティンナゴヤキャッスル
11月27日 木	第2回拡大委員会	地区事務所
11月28日 金	9520地区研究グループ交換（GSE）送別晩餐会	名古屋東急ホテル
12月10日 水	第7回GSE委員会	地区事務所
12月10日 水	2004学年度米山奨学生 第1次選考会（書類選考）	地区事務所
12月16日 火	第1回財団奨学委員会	レストラン神戸屋
12月23日 火	第3回米山学友会役員会 米山学友・奨学生忘年会	ホテルキャッスルプラザ
2004年 1月8日 木	第3回インターアクト委員会	地区事務所
1月14日 水	2004学年度米山奨学生 第2次選考会（面接試験準備）	地区事務所
1月15日 木	第8回GSE委員会	地区事務所
1月16日 金	春日井RC創立35周年記念例会	ホテルプラザ勝川
1月19日 月	第2回財団奨学委員会	地区事務所
1月22日 木	第2回社会奉仕委員会	ホテルキャッスルプラザ
1月23日 金	第3回インターネット委員会	地区事務所
1月24日 土	第4回地区諮問委員会	名鉄グランドホテル
1月27日 火	職業奉仕委員会	名鉄グランドホテル
1月28日 水	第2回クラブ奉仕委員会	地区事務所
1月28日 水	第1回地区財務委員会	ガバナー事務所
1月30日 金	2004学年度米山奨学生 第3次選考会（面接試験）	名古屋国際センター
2月5日 木	名古屋西RC創立50周年記念式典	ウェスティンナゴヤキャッスル
2月6日 金	第5回地区RCC交流会議	名鉄グランドホテル
2月7日 土 ～11日 水	ローターアクト海外研修	インドネシア
2月9日 月 ～14日 土	WCS視察旅行	タイ（チェンマイ・チェンライ）
2月13日 金	第9回GSE委員会	地区事務所
2月14日 土	青少年交換委員会（三者懇談会）	チェリープラザ'02
2月14日 土	豊川RC創立45周年記念例会	豊川商工会議所
2月18日 水	西名古屋区分IM	名鉄観光ホテル
2月18日 水	第4回環境保全委員会	ウェスティンナゴヤキャッスル
2月18日 水	三河安城RC創立5周年記念例会	ホテルグランドティアラ安城
2月21日 土	インターアクト顧問・委員長会議	YMCA研修室
2月21日 土 ～22日 日	ローターアクト全国研修	北海道帯広市
2月22日 日	第2回ロータリー財団委員会	名鉄グランドホテル
2月22日 日	2004～2005年度財団奨学生「オリエンテーション」	名鉄グランドホテル
2月24日 火	東名古屋区分IM	ウェスティンナゴヤキャッスル
2月26日 木	社会奉仕委員会委員長会議	ホテルキャッスルプラザ
2月26日 木	第4回インターネット委員会	地区事務所
2月27日 金	ロータリー財団「DDF選択会議」	地区事務所

地区委員会・各クラブ委員長会議等主要日程

開催日	会 合 名	開催場所・備考
2月27日 金	次年度地区指導者（委員長）会議	名鉄観光ホテル
2月28日 土	名古屋大須RC創立20周年記念式典	アートピアホール
3月5日 金	2004～2005年度会長エレクト研修セミナー（PETS）	名鉄観光ホテル
3月6日 土	米山奨学期間終了者歓送会・指導教官感謝の会	ホテルキャッスルプラザ
3月10日 水	名古屋東南RC創立35周年記念式典	ウェスティンナゴヤキャッスル
3月12日 金	第10回GSE委員会	地区事務所
3月13日 土	東尾張分区IM	ウェスティンナゴヤキャッスル
3月16日 火	第5回新世代委員会	地区事務所
3月16日 火	岡崎城南RC創立15周年記念式典	岡崎ニューグランドホテル
3月20日 土	第5回地区諮問委員会	ウェスティンナゴヤキャッスル
3月20日 土	地区協議会（の為の）指導者会議	ウェスティンナゴヤキャッスル
3月20日 土	海外研修参加者父兄説明会	YMCA研修室
3月21日 日	碧南RC45周年記念式典	衣浦グランドホテル
3月24日 水	第2回環境保全委員長会議	ウェスティンナゴヤキャッスル
3月24日 水	ライラ委員会	知立セントピアホテル
3月26日 金	岡崎南RC創立40周年記念式典	名鉄岡崎ホテル
3月27日 土	蒲郡RC創立50周年記念式典	蒲郡プリンスホテル
3月30日 火	刈谷RC創立50周年記念式典	刈谷市産業振興センター
3月30日 火	第6回新世代委員会	地区事務所
4月1日 木	第3回国際奉仕委員会	地区事務所
4月8日 木	第2回地区事務所運営委員会	地区事務所
4月14日 水	第4回米山奨学委員会	地区事務所
4月14日 水	渥美RC創立35周年記念式典	伊良湖ガーデンホテル
4月15日 木	第2回国際奉仕委員長会議	名古屋東急ホテル
4月15日 木	現ロータリー財団委員会正副委員長会議及び次期ロータリー財団委員会全体会議	名鉄グランドホテル
4月16日 金	第11回GSE委員会	地区事務所
4月18日 日	2004～2005年度地区協議会	ウェスティンナゴヤキャッスル
4月21日 水	名古屋守山RC創立40周年記念式典	名古屋マリオットアソシアホテル
4月23日 金	2005～2006年度財団奨学生書類選考委員会	地区事務所
4月24日 土	岩倉RC創立25周年記念例会	名鉄犬山ホテル
5月5日 水	ローターアクト委員会	江南 曼荼羅寺
5月9日 日	財団学友会総会及び2004～2005年度財団奨学生壮行会	ホテルキャッスルプラザ
5月12日 水	東海RC創立35周年記念例会	新日鐵公園クラブ
5月13日 木	2004学年度 米山カウンセラー研修会	ホテルキャッスルプラザ
5月13日 木	2004学年度 米山奨学生のオリエンテーション	ホテルキャッスルプラザ
5月13日 木	第12回GSE委員会	地区事務所
5月14日 水	第2回ガバナー補佐会議	一宮商工会議所
5月15日 土	第2回新世代委員会委員長会議	知立市文化会館
5月15日 土 ～16日 日	ローターアクト年次大会	名鉄グランドホテル 名古屋国際会議場 白鳥ホール
5月15日 土 ～16日 日	2003～2004年度地区第12回ライラセミナー	知立市文化会館（パティオ池鯉鮒）
5月16日 日	瀬戸北RC創立25周年記念式典	名古屋観光ホテル
5月16日 日	2005～2006年度財団奨学生候補者面接試験	名古屋国際会議場
5月17日 月	名古屋東RC創立45周年記念例会	ウェスティンナゴヤキャッスル
5月21日 金	名古屋北RC創立45周年記念式典	名古屋東急ホテル
5月23日 日 ～26日 水	RI国際大会	大阪ドーム、大阪国際会議場 リーガロイヤルホテル
5月25日 火	第5回インターネット委員会	地区事務所
5月27日 木	第3回拡大委員会	地区事務所
5月29日 土	米山奨学生・学友の学術研修会	名古屋能楽堂
5月29日 土	第17回インターアクトクラブ海外派遣事前説明会	YMCA研修室
5月29日 土	あまRC創立35周年記念式典	名古屋能楽堂
6月5日 土	新世代関連合同委員会	名古屋マリオットアソシアホテル
6月12日 土	第6回地区諮問会議	名鉄グランドホテル
6月12日 土	2003～2004年度地区役員・会長幹事懇談会	名鉄グランドホテル
6月12日 土 ～13日 日	第17回インターアクト海外派遣事前研修合宿	大府市勤労文化会館
6月16日 水	第5回環境保全委員会	ウェスティンナゴヤキャッスル
6月30日 水	第3回財団奨学委員会	地区事務所

年間出席率・会員増強一覽

分 区	クラブ名	会 員 数			女 性	年間 出席率
		2003年 7月1日	2004年 6月末日	増減数		
南尾張分 区	半 田	68	66	△ 2	4	99.69%
	常 滑	58	54	△ 4	0	94.57%
	東 海	56	52	△ 4	2	93.51%
	東 知 多	27	22	△ 5	1	91.72%
	半 田 南	54	50	△ 4	1	96.09%
	知 多	33	27	△ 6	0	88.09%
	大 府	28	28	0	0	89.10%
	7RC	324	299	△ 25	8	93.25%
西尾張分 区	一 宮	80	80	0	0	99.48%
	津 島	78	76	△ 2	1	97.91%
	尾 西	40	37	△ 3	0	93.33%
	一 宮 北	61	61	0	0	92.32%
	稲 沢	61	60	△ 1	0	93.11%
	あ ま	91	93	2	0	97.83%
	西 春 日 井	38	43	5	1	94.40%
	尾 張 中 央	48	51	3	0	95.78%
	一 宮 中 央	61	59	△ 2	6	96.03%
	9RC	558	560	2	8	95.58%
東尾張分 区	瀬 戸	82	83	1	3	99.86%
	犬 山	87	84	△ 3	0	99.21%
	江 南	64	63	△ 1	1	92.29%
	小 牧	74	71	△ 3	2	83.98%
	春 日 井	75	62	△ 13	4	97.20%
	尾 張 旭	34	29	△ 5	0	98.83%
	名 古 屋 空 港	52	53	1	0	99.52%
	瀬 戸 北	75	73	△ 2	2	99.93%
	岩 倉	21	17	△ 4	0	98.45%
	豊 山 ・ 城 北	33	31	△ 2	1	94.43%
	愛 知 長 久 手	23	23	0	2	77.40%
	11RC	620	589	△ 31	15	94.65%
西 名 古 屋 分 区	名 古 屋	195	189	△ 6	0	94.35%
	名 古 屋 西	112	99	△ 13	0	92.31%
	名 古 屋 南	114	113	△ 1	0	93.77%
	名古屋みなと	89	84	△ 5	0	98.15%
	名古屋東南	76	73	△ 3	6	94.48%
	名古屋中	139	135	△ 4	0	98.48%
	名古屋瑞穂	76	75	△ 1	0	97.42%
	名古屋大須	67	65	△ 2	2	96.78%
	名古屋栄	78	81	3	0	97.94%
	名古屋名南	82	83	1	13	97.75%
	名古屋名駅	99	90	△ 9	2	94.00%
	名古屋西南	52	54	2	8	97.40%
	12RC	1,179	1,141	△ 38	31	95.95%

分 区	クラブ名	会 員 数			女 性	年間 出席率
		2003年 7月1日	2004年 6月末日	増減数		
東 名 古 屋 分 区	名 古 屋 北	99	97	△ 2	0	98.14%
	名 古 屋 東	85	90	5	0	94.13%
	名 古 屋 守 山	67	65	△ 2	5	92.94%
	名 古 屋 和 合	95	103	8	0	95.17%
	名 古 屋 名 東	65	57	△ 8	5	100.00%
	名 古 屋 名 北	53	50	△ 3	8	97.55%
	名 古 屋 千 種	68	65	△ 3	6	95.99%
	名 古 屋 昭 和	65	60	△ 5	0	98.94%
	名 古 屋 錦	36	36	0	8	92.10%
	名 古 屋 東 山	60	62	2	2	93.18%
	10RC	693	685	△ 8	34	95.81%
東 三 河 分 区	豊 橋	116	120	4	4	96.43%
	蒲 郡	67	66	△ 1	0	92.87%
	豊 橋 北	99	101	2	2	96.02%
	豊 川	69	68	△ 1	0	96.30%
	田 原	60	61	1	1	94.94%
	豊 橋 南	65	62	△ 3	0	97.30%
	新 城	62	60	△ 2	0	91.68%
	渥 美	39	38	△ 1	0	82.53%
	奥 三 河	29	26	△ 3	3	92.23%
	豊 川 宝 飯	53	53	0	0	93.58%
	豊橋ゴールデン	71	71	0	0	93.94%
	田原パシフィック	71	68	△ 3	0	92.68%
	豊 橋 東	48	47	△ 1	0	100.00%
	13RC	849	841	△ 8	10	94.08%
西 三 河 中 分 区	岡 崎	103	99	△ 4	1	98.91%
	豊 田	76	73	△ 3	0	99.72%
	岡 崎 南	106	99	△ 7	2	98.63%
	豊 田 西	101	100	△ 1	0	99.54%
	岡 崎 東	80	73	△ 7	0	98.35%
	豊 田 東	80	81	1	0	98.11%
	岡 崎 城 南	78	75	△ 3	0	97.38%
	豊 田 三 好	26	24	△ 2	3	97.50%
	豊 田 中	52	49	△ 3	5	96.54%
	9RC	702	673	△ 29	11	98.30%
西 三 河 分 区	刈 谷	82	86	4	0	100.00%
	安 城	69	70	1	1	94.71%
	西 尾	77	77	0	1	99.36%
	碧 南	73	75	2	0	98.52%
	一 色	37	36	△ 1	0	99.72%
	高 浜	43	43	0	2	100.00%
	知 立	63	62	△ 1	0	98.34%
	西尾KIRARA	61	62	1	0	98.80%
	三 河 安 城	47	54	7	4	94.58%
	9RC	552	565	13	8	98.23%

地区内クラブ数 80RC	2003年7月1日会員数	5,477名
	2004年6月30日会員数	5,353名
	うち女性会員数	125名
	会員増減数	△ 124名
	年間平均出席率	95.73%

ポール・ハリス・フェロー認証者

クラブ	名前
常滑	二村圭亮
常滑	村田聡
東海	勝崎視美
東知多	小笠原直樹
東知多	高津忠男
東知多	今津昭
東知多	村瀬竜雄
半田南	榊原清則
半田南	榊原肇
知多	山口剛生
知多	岩崎征宣
一宮	足立誠
一宮	長谷川勝久
一宮	伊藤幸一
一宮	則竹伸也
津島	加藤則之
津島	鈴木吉男
津島	水野憲雄
一宮北	林岡成
一宮北	藤原峯忠
一宮北	安井久雄
あま	上田博行
尾張中央	山下隆義
尾張中央	法月章
尾張中央	沖野満
尾張中央	二村泰博
尾張中央	毛利雅俊
尾張中央	尾関正美
尾張中央	池田哲朗
尾張中央	日比野豊
尾張中央	熊澤勝則
一宮中央	永田正
瀬戸	有竹俊明
瀬戸	柴田善右エ門
犬山	小川嘉吉
犬山	山田拓司
犬山	山根雄司
犬山	安田新平
江南	尾関憲市
春日井	志水ひろみ
名古屋空港	栗田和典
名古屋空港	竹尾悟
瀬戸北	加藤充弥
岩倉	河端章三
豊山-城北	小川保
名古屋	平野善得
名古屋	河合弘登
名古屋	木村操
名古屋	永岡滋
名古屋	岡田邦彦
名古屋	藤森源久
名古屋	深山-
名古屋	中村暁

クラブ	名前
名古屋	齋藤英彦
名古屋	杉浦典男
名古屋	高松正敏
名古屋西	望月宏秋
名古屋西	大杉誠
名古屋みなと	三枝樹明道
名古屋みなと	Hideo Iida
名古屋東南	尾本和弘
名古屋東南	高須シヅ
名古屋東南	浜崎明
名古屋中	長谷川昭
名古屋中	長谷川雅晴
名古屋中	神谷裕之
名古屋中	白瀧正人
名古屋中	高間公平
名古屋中	鶴飼泰光
名古屋中	占部憲一
名古屋中	山本保弘
名古屋瑞穂	宗宮信賢
名古屋大須	松本定道
名古屋大須	鈴木洋
名古屋大須	湯山淳三
名古屋大須	柴岡正将
名古屋大須	桐山寿浩
名古屋栄	日置教康
名古屋栄	羽田野道明
名古屋栄	江藤戦治
名古屋栄	川北幸彌
名古屋栄	北原兼男
名古屋名南	細井俊男
名古屋名南	森尾紹生
名古屋名南	富山信也
名古屋名南	青木光輝
名古屋名南	東山直史
名古屋名南	加藤昌秀
名古屋名駅	近藤義男
名古屋名駅	前田幸雄
名古屋名駅	岡本敏男
名古屋名駅	斎藤孝一
名古屋名駅	櫻木邦衛
名古屋名駅	杉本和英
名古屋名駅	増田裕
名古屋名駅	近藤義男
名古屋名駅	前田幸雄
名古屋名駅	増田裕
名古屋名駅	岡本敏男
名古屋名駅	斎藤孝一
名古屋名駅	櫻木邦衛
名古屋名駅	杉本和英
名古屋西南	森田正樹
名古屋西南	中野雅司
名古屋北	菱田孝行
名古屋東	Fr. Michael Calmano

クラブ	名前
名古屋守山	長谷川昭行
名古屋守山	森藤左エ門
名古屋和合	稲川久
名古屋和合	岩田栄一
名古屋和合	端山佳誠
名古屋和合	林邦司
名古屋名北	彦坂雄志郎
名古屋名北	伊藤晋一
名古屋名北	古川康司
名古屋名北	尾関實津成
名古屋昭和	林治生
名古屋昭和	佐藤公康
名古屋錦	長谷川周義
名古屋錦	近藤歌子
名古屋錦	林光夫
名古屋錦	植村元雄
名古屋東山	小早川慶光
豊橋	石井俊秀
豊橋	岡村和彦
豊橋	後藤圭司
豊橋北	坂柳猛興
豊橋北	岡田省司
豊橋北	加藤太一
豊橋北	田中正治郎
豊川	牧野一郎
豊川	八木利治
豊川	生田米八
豊橋南	神谷浩史
豊橋南	吉野勝己
新城	丸山明敏
新城	権田敏秀
渥美	丸山純夫
豊川宝飯	森下武治
田原パシフィック	大久保寛
田原パシフィック	河合保寿
田原パシフィック	河辺虎太郎
田原パシフィック	斎藤幹夫
豊橋東	莊孝向
豊橋東	鈴木昌敏
豊橋東	鈴木準之助
岡崎	浅井章
岡崎	服部晃
岡崎	柴田芳孝
豊田	稲垣利彦
豊田	鈴木秀和
豊田	秋田敬治
豊田	孕石邦雄
豊田	酒井法丈
豊田	山内昇三
豊田	丸井俊裕
岡崎南	本間英晴
岡崎南	高橋賢司
岡崎南	市川敏幸

ポール・ハリス・フェロー認証者

クラブ	名前
岡崎南	小久保 文雄
豊田西	鈴木 宏行
豊田西	窪谷 修一
豊田西	山形 悦男
豊田西	柴田 勇
豊田西	野田 清衛
豊田西	松谷 敬一
岡崎東	市川 幾雄
岡崎東	成瀬 尚勝
岡崎東	新波 勝也
岡崎東	深津 幸雄
岡崎東	細井 純雄
岡崎東	岩月 春樹
豊田東	杉浦 英昭
岡崎城南	近藤 正俊

クラブ	名前
岡崎城南	四十万谷 与志明
岡崎城南	岡田 吉生
岡崎城南	杉浦 節雄
岡崎城南	佐々木 靖史
豊田三好	鈴木 達雄
豊田三好	永井 光彦
豊田中	中条 善朗
刈谷	廣根 実
刈谷	加藤 俊二
刈谷	太田 宗一郎
刈谷	御友 重孝
西尾	水野 友司
西尾	藤田 昭博
碧南	角谷 信二
碧南	杉浦 昌裕

クラブ	名前
碧南	新美 惣英
高浜	川角 年比古
知立	橋本 順子
知立	神谷 太一
知立	石田 喜男
知立	水野 泰昌
知立	酒井 一造
知立	山田 哲夫
西尾KIRARA	岡田 義雄
西尾KIRARA	小林 豊
西尾KIRARA	高須 均
三河安城	安藤 一高
三河安城	富田 清治

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー認証者

クラブ	名前
半田	加藤 凱也
東海	小嶋 洋一
半田南	山田 忠治
あま	堀江 承元
あま	西川 広樹
あま	佐藤 明
あま	浅野 多喜男
一宮中央	長谷川 正巳
犬山	日比野 良太郎
犬山	井川 光雄
犬山	木村 完
小牧	長谷川 憲治
尾張旭	山田 稔
瀬戸北	本多 敬文
名古屋みなと	岸上 泰道
名古屋みなと	成沢 政美
名古屋東南	伊藤 秀雄
名古屋栄	小島 興一
名古屋名南	横井 信子
名古屋名南	平野 鷗奈子
名古屋名南	川辺 清次
名古屋名南	川村 繁生
名古屋名南	菊岡 深智子
名古屋名南	三島 多恵子
名古屋名南	岡村 鐘雄
名古屋名南	大隅 紀郎
名古屋名南	坂田 信子
名古屋名南	真木 實
名古屋名南	佐々木 元彦
名古屋名南	鈴井 一博
名古屋名南	山本 誠一
名古屋名駅	小室 健次郎

クラブ	名前
名古屋名駅	横山 敏
名古屋西南	神谷 昌宏
名古屋北	岩月 忠和
名古屋北	河合 利周
名古屋北	小栗 七生
名古屋東	安藤 茂
名古屋東	浅見 勲
名古屋東	栗田 穰
名古屋東	加藤 忠夫
名古屋東	千田 毅
名古屋東	鷲見 弘明
名古屋和合	加治佐 健二
名古屋和合	安井 隆豊
名古屋名東	野原 仙太郎
名古屋名東	足立 勉
名古屋名東	坂本 精志
名古屋名北	石黒 勉
名古屋名北	松岡 三明
名古屋千種	鈴木 正男
名古屋昭和	加藤 厚
名古屋昭和	太田 宏
名古屋昭和	高村 富三
名古屋昭和	田中 邦幸
名古屋錦	伊藤 康之
豊橋	青木 公貞
豊橋北	高倉 宣夫
豊橋北	小林 康男
豊橋北	竹内 稔弘
豊橋北	鈴木 茂久
豊橋北	佐藤 矩朗
豊川	白井 利明
豊橋南	藤城 俊明

クラブ	名前
新城	本多 克弘
岡崎	杉浦 壽康
岡崎	梅田 章次
岡崎	中根 幹雄
岡崎	金山 久雄
岡崎	古澤 武雄
岡崎	加藤 信吾
岡崎	村井 忠
岡崎南	神谷 直三
岡崎南	加藤 勤
岡崎南	岡田 庸男
岡崎南	三浦 勝美
岡崎南	加藤 正男
岡崎東	原田 耕平
岡崎東	成瀬 尚勝
豊田東	中根 茂
豊田東	梅村 正
豊田東	鈴木 昌
岡崎城南	早川 義夫
豊田三好	金子 忠雄
豊田三好	杉浦 隆宏
豊田三好	鈴木 正輝
豊田三好	野々山 彰
豊田三好	花沢 勇
豊田三好	深谷 勝善
豊田三好	堀川 泰
豊田三好	山田 良一
刈谷	野村 重彦
碧南	森田 英治
碧南	新美 孝
一色	三矢 隆
高浜	角谷 宏

ベネファクター認証者

クラブ	名前
常 滑	鯉 江 公 司
一 宮 北	丸 井 利 軌
江 南	三 輪 公 成
江 南	大 森 春 彦
江 南	岩 井 正 彦
春 日 井	寺 倉 勇
春 日 井	足 立 治 夫
瀬 戸 北	青 山 隆
尾 張 旭	飯 田 幸 雄
名 古 屋	青 山 正 幸
名 古 屋	荒 川 慎 太 郎
名 古 屋 南	鶴 田 欣 也
名 古 屋 東 南	宮 崎 薫
名 古 屋 中	片 山 敬 勝
名 古 屋 大 須	吉 田 隆 彦
名 古 屋 栄	福 本 豊 彦
名 古 屋 名 南	大 山 秀 美 智

クラブ	名前
名 古 屋 名 南	鈴 木 享
名 古 屋 名 南	佐 々 木 元 彦
名 古 屋 名 南	鵜 飼 克 己
名 古 屋 名 南	三 浦 和 人
名 古 屋 名 駅	小 室 健 次 郎
名 古 屋 名 駅	横 山 敏
名 古 屋 北	松 永 亮
名 古 屋 守 山	徳 永 和 人
名 古 屋 和 合	森 武 保
名 古 屋 東 山	近 藤 俊 彦
蒲 郡	永 島 八 郎
豊 橋 北	小 林 康 男
豊 橋 北	石 川 顕 次
渥 美	丸 山 純 夫
渥 美	彦 坂 育 甫
渥 美	木 村 守 雄
渥 美	渡 会 一 昭

クラブ	名前
渥 美	石 本 健 一
豊 川 宝 飯	伴 辰 三
岡 崎	本 多 啓 一
岡 崎	三 嶋 勉
岡 崎 東	杉 田 雄 男
岡 崎 城 南	加 藤 順 弘
豊 田 中	福 岡 輝 夫
西 尾	齋 藤 肇
西 尾	犬 塚 和 夫
碧 南	杉 浦 健 次
碧 南	加 藤 良 邦
知 立	磯 貝 一 己
知 立	近 藤 一 幸
西尾KIRARA	加 納 隆
三 河 安 城	金 子 功 男

2005年度ロータリー財団国際親善奨学生候補者一覧

国際親善奨学生 1 学年度（アカデミックイヤー）

氏 名	性別	年齢	出身（在籍）大学	研究分野	国 名	推薦RC	カウンセラー
平 田 康 治	男	21	東 京 大 学	法 学	イ ン グ ラ ン ド	刈 谷	鈴木文三郎
本 田 安 都 子	女	26	名古屋大学大学院(博)	国 際 多 元 文 化	ア メ リ カ	名古屋みなと	水谷 隆
村 手 智 子	女	21	慶 應 義 塾 大 学	英 米 文 学	イ ン グ ラ ン ド	一 宮	野村 章夫
近 藤 のぞみ	女	25	神戸大学大学院(修)	地 域 文 化 学	フ ラ ン ス	半 田	榎原 正治
寺 嶋 孝 光	男	23	名古屋学院大学大学院(修)	応 用 言 語 学	ア メ リ カ	名古屋西南	水野 裕善
寺 嶋 美 雪	女	24	東京大学大学院(修)	フランス語フランス文学	フ ラ ン ス	名古屋名南	大山秀美智

国際親善奨学生（マルチイヤー 2 年）

氏 名	性別	年齢	出身（在籍）大学	研究分野	国 名	推薦RC	カウンセラー
宮 坂 奈 由	女	27	東京大学大学院(修)	比較文学比較文化	フ ラ ン ス	名古屋南	後藤 正憲
村 松 研 二 郎	男	25	名古屋大学大学院(博)	文 化 人 類 学	フ ラ ン ス	岡 崎	加藤 信吾
羽 鳥 裕 美 子	女	26	名 古 屋 大 学	政 治 行 政 学	フィリピン	豊 田	杉浦 敏夫
鳴 戸 麻 子	女	29	名古屋大学大学院(修)	美 学 美 術 史	ス ペ イ ン	岡 崎	加藤 信吾
山 田 真 司	男	22	早 稲 田 大 学	政 治 学	フィリピン	豊 田 東	今井 啓介
伊 藤 智 子	女	30	名 古 屋 大 学	英 語 学	ア メ リ カ	津 島	河西あつ子

文化研修奨学生（3 ヶ月）

氏 名	性別	年齢	出身（在籍）大学	研究分野	国 名	推薦RC	カウンセラー
寺 田 奈 穂	女	28	ニューヨーク大学	美 術 品 修 復	セ ネ ガ ル	名古屋昭和	佐藤公康
小 川 博 子	女	21	名古屋市立大学	人 文 社 会 学 部	ア メ リ カ	名古屋瑞穂	小串和夫

2003学年度 米山記念奨学会 奨学生名簿

氏 名	性別	国籍	大学名	専 攻	学 年	指 導 教 員	世話クラブ	カウンセラー	期間
新 奨 学 生									
尤 銘 煌	男	台 湾	愛知学院大学	日 本 文 化	博士3	小笠原 真教授	津 島	三谷栄一	1年
鄭 賢 貞	女	韓 国	愛知教育大学	学 校 教 育	修士2	岡田 安代教授	稲 沢	伊 串 惇	1年
尹 小 儉	男	中 国	中 京 大 学	体 育 学	博士2	田中 豊穂教授	小 牧	秦野 滋	2年
グエン・ティー・フーン・チャー	女	ベトナム	中部大学	国際関係学	修士2	安達 隆一教授	名古屋みなと	田島伸也	1年
アディカリ, インドゥ・サラマ	女	ネパール	中部大学	情報工学	学部3	阪田 泉助教授	半 田	鈴村せつ子	2年
テ ィ ン ・ タ イ ツ	男	ミャンマー	豊橋技術科学大学	機械システム工学	学部3	柳田 秀記教授	豊 橋	神野紀郎	2年
デハ'アラ'アハリガ', モハ'サマ'カマ'ラ'ハマシ	男	スリランカ	豊橋技術科学大学	電気・電子工学	学部3	澤田 和明教授	豊 橋 南	磯村秀樹	2年
フング・ニュン・ドク	男	ベトナム	豊橋技術科学大学	物 質 工 学	修士1	亀頭 直樹教授	豊川宝飯	森下良三	2年
李 冠 平	男	中 国	豊橋技術科学大学	機能材料工学	博士2	西宮 伸幸助教授	豊橋ゴールデン	渡辺久祐	2年
呉 世 雄	男	韓 国	豊橋技術科学大学	環境・生命工学	博士2	金 熙演助教授	田原ハ'シヰック	鈴木達司	2年
鄭 光 敏	男	韓 国	名古屋大学	社会経済システム	博士2	平川 均教授	半 田 南	佐藤隆史	2年
銭 峰 男	中 国	名古屋大学	産業経営システム	博士2	岸田 民樹教授	東 海	小嶋洋一	2年	
蔡 展 維	男	台 湾	名古屋大学	産業経営システム	博士2	岸田 民樹教授	岡 崎	水野周久	2年
クアン・ティ・フーン	女	ベトナム	名古屋大学	保 健 学	学部3	森田せつ子教授	豊 田 中	深田一弘	2年
張 潤 男	中 国	名古屋大学	分子総合医学	医博4	山内 一信教授	豊田三好	永井光彦	1年	
パンマワン・ゴンケオ	男	ラ オ ス	名古屋大学	土 木 工 学	博士2	田辺 忠顕教授	名古屋南	澤田壽之	2年
カシム, モハマド・アブル	男	バングラデシュ	名古屋大学	電 子 工 学	博士3	森田 慎三助教授	名古屋西	宮田紀昭	1年
金 植 男	韓 国	名古屋大学	生物圏資源学	博士2	竹中 千里教授	名古屋瑞穂	増田盛英	2年	
ミア, モハマッド・カスロ	男	バングラデシュ	名古屋大学	国際開発	博士3	大塚 豊教授	名古屋西南	安江英雄	1年
ロ ー シ ア ナ	女	インドネシア	名古屋大学	国際開発	博士2	西村 美彦教授	名古屋空港	伊藤幸調	2年
ティシャアモンジン, ヌンヌット	女	タ イ	名古屋大学	国際コミュニケーション	修士2	中條 直樹教授	東 知 多	熊澤 岌	1年
ヴィラパタナニラーノ, ケマパック	女	タ イ	名古屋大学	国際開発	修士2	岡本 由美子助教授	知 立	石田喜男	1年
李 欣 怡	女	台 湾	名古屋大学	日本語文化	博士2	吉田 香織助教授	名古屋栄	原 常之	2年
朴 吉 在	男	韓 国	名古屋工業大学	物 質 工 学	博士2	野上 正行教授	犬 山	加藤健司	2年
孫 程 男	中 国	名古屋工業大学	電子情報工学	修士2	田坂 修二教授	知 多	平松典保	1年	
韓 在 熙	女	韓 国	名古屋市立大学	人 間 文 化	博士2	丹羽 孝教授	瀬 戸 北	高島鋭朗	2年
宝 音 図	男	中 国	名古屋市立大学	生 薬 学	博士2	水上 元教授	名古屋名南	横井信子	2年
イラリオ・フェルナンデス・ロサリオ・イサベル	女	ペ ル ー	名城大学	電気電子工学	修士2	内藤 克彦教授	尾張中央	住川誠一	1年
ファン・ドク・アン・ミン	男	ベトナム	名城大学	経 済 学	修士2	佐々木 建教授	名古屋名東	坂本精志	1年
梅 琳 男	中 国	名城大学	農 学	修士2	松久 次雄教授	岡崎城南	杉浦節雄	1年	
継 続 奨 学 生									
呉 岳 樺	男	台 湾	愛知学院大学	日 本 文 化	博士3	鏡味 明克教授	一 宮 北	荻本鉄夫	2年
康 林 男	中 国	中 京 大 学	国 文 学	博士3	佐藤 房儀教授	名古屋北	渡邊嘉昭	2年	
ルビス, ムハンマド・ユスフ・サハリサ'	男	インドネシア	豊橋技術科学大学	物 質 工 学	修士2	亀頭 直樹教授	豊 橋 北	岡田省司	2年
タ ン ・ タ ン ・ コ ック	男	ベトナム	豊橋技術科学大学	建 設 工 学	修士2	角 徹三教授	田 原	大河直樹	2年
サイト'ウサ'マン・エム・ティ	男	バングラデシュ	豊橋技術科学大学	物 質 工 学	学部4	神野 清勝教授	豊 川	竹本尚美	2年
ホ'アハ'オ, リー・ワメン	男	ラオス	豊橋技術科学大学	エコロジー工学	学部4	DEL CARPIO講師	豊 橋 東	伊藤一義	2年
金 如 根	男	中 国	名古屋大学	政 治 学	博士3	市橋 克哉教授	名古屋守山	橋本浩一	2年
金 慶 美	女	韓 国	名古屋大学	社 会 環 境 学	博士3	伊藤 義美教授	名古屋大須	山田邦彦	2年
金 孝 政	男	韓 国	名古屋大学	物質制御工学	博士3	椿 淳一郎教授	岡 崎 東	柴田健吉	2年
李 庚 晃	男	韓 国	名古屋大学	材料プロセス工学	博士3	高井 治教授	あ ま	岡本重夫	2年
ナム, ホ'ン'ダ'ラ'ブ'リン'ケ'ル'ティ'ン	男	スリランカ	名古屋大学	国際協力	修士2	安田 信之教授	一 宮	加藤数也	2年
趙 青 女	中 国	名古屋大学	日本語文化	博士3	福田 真人教授	西 尾	小笠原金蔵	2年	
継 続 奨 学 生									
金 秀 英	女	韓 国	名古屋外国語大学	日本語教育	博士4	水谷 修教授	名古屋名駅	増田 裕	1年
李 黎 明	男	中 国	中 京 大 学	社 会 学	博士4	日比野省三教授	一宮中央	鹿島兼一	6ヶ月
メハ'ット, シェリフ	男	米 国	名古屋大学	日本語文化	博士4	福田 真人教授	尾 張 旭	笹田博茂	6ヶ月
朴 相 俊	男	韓 国	名古屋大学	建 築 学	博士4	谷川 雄恭教授	春 日 井	伊藤正之	1年
任 樹 女	韓 国	名古屋大学	日本語文化	博士4	近藤 健二教授	江 南	伊藤文仁	1年	
張 遠 宜	男	中 国	名古屋大学	産業経営システム	博士4	友杉 芳正教授	常 滑	市田弘治	6ヶ月
庄 兵 男	中 国	名古屋大学	人 文 学	博士4	竹内 弘行教授	名古屋東	水野 勤	1年	
鄭 智 元	男	台 湾	名古屋大学	生物機能工学		小林 猛教授	豊 田	岩瀬邦男	3ヶ月

米山寄付金納入クラブ別明細表

第2760地区

2004年06月30日現在（単位：円）

クラブ名	普通寄付金 単価(年額)	2003 / 07月 ~ 2004 / 06月			会員数 (1月1日)	一人当り 平均寄付額	過 去 累 計 額		
		普通寄付金	特別寄付金	合 計			普通寄付金	特別寄付金	合 計
愛知長久手	4,000	96,000	0	96,000	25	3,840	190,600	105,400	296,000
あ ま	4,000	368,000	1,412,500	1,780,500	93	19,145	7,549,250	23,808,500	31,357,750
安 城	4,000	278,000	810,000	1,088,000	70	15,542	6,889,700	24,691,000	31,580,700
渥 美	4,000	162,000	160,000	322,000	40	8,050	4,855,100	4,050,000	8,905,100
尾 西	4,000	160,000	0	160,000	37	4,324	5,417,750	3,535,000	8,952,750
知 立	4,000	248,000	740,000	988,000	61	16,196	2,737,750	9,750,000	12,487,750
知 多	4,000	128,000	160,000	288,000	31	9,290	2,364,000	3,525,000	5,889,000
蒲 郡	4,000	268,000	1,050,000	1,318,000	67	19,671	6,203,900	16,635,500	22,839,400
半 田	4,000	274,000	2,030,000	2,304,000	69	33,391	6,578,200	25,855,610	32,433,810
半 田 南	4,000	220,000	340,000	560,000	55	10,181	3,932,000	15,063,350	18,995,350
碧 南	5,000	370,000	1,900,000	2,270,000	75	30,266	7,733,750	22,770,500	30,504,250
東 知 多	6,000	160,000	435,383	595,383	26	22,899	4,486,950	14,441,091	18,928,041
一 宮	5,000	400,000	1,690,000	2,090,000	80	26,125	8,097,400	21,467,801	29,565,201
一 宮 中 央	5,000	302,000	610,000	912,000	60	15,200	2,940,500	9,865,000	12,805,500
一 宮 北	5,000	307,000	1,096,000	1,403,000	58	24,189	6,522,850	15,280,260	21,803,110
稲 沢	4,000	250,000	600,000	850,000	64	13,281	5,801,450	14,113,500	19,914,950
犬 山	5,000	431,000	1,090,000	1,521,000	85	17,894	6,538,500	25,521,917	32,060,417
一 色	4,000	148,000	300,000	448,000	36	12,444	4,152,200	11,051,000	15,203,200
岩 倉	5,000	98,500	960,000	1,058,500	19	55,710	2,799,500	5,554,000	8,353,500
刈 谷	4,000	350,000	1,710,000	2,060,000	93	22,150	8,338,000	23,620,000	31,958,000
春 日 井	5,000	362,500	1,197,000	1,559,500	70	22,278	8,407,200	20,959,600	29,366,800
小 牧	5,000	364,000	170,000	534,000	72	7,416	5,857,200	17,796,000	23,653,200
江 南	4,000	260,000	331,945	591,945	65	9,106	6,298,300	16,288,027	22,586,327
三 河 安 城	4,000	194,000	990,000	1,184,000	50	23,680	738,000	4,030,000	4,768,000
名 古 屋	4,000	792,000	2,250,000	3,042,000	199	15,286	24,689,900	39,451,000	64,140,900
名古屋千種	4,000	266,000	540,000	806,000	65	12,400	4,725,000	12,940,000	17,665,000
名古屋東	4,000	348,000	1,480,000	1,828,000	89	20,539	9,744,200	23,623,000	33,367,200
名古屋東山	4,000	240,000	0	240,000	63	3,809	1,378,000	6,660,000	8,038,000
名古屋北	5,000	498,000	1,511,000	2,009,000	100	20,090	10,292,600	29,411,000	39,703,600
名古屋空港	4,000	208,000	0	208,000	52	4,000	5,672,750	16,015,196	21,687,946
名古屋名駅	5,000	502,500	1,425,000	1,927,500	102	18,897	4,671,000	16,805,000	21,476,000
名古屋名北	4,000	208,000	500,000	708,000	51	13,882	5,046,750	22,032,000	27,078,750
名古屋名南	4,000	334,000	1,250,000	1,584,000	84	18,857	4,218,000	19,550,000	23,768,000
名古屋名東	4,000	250,000	910,000	1,160,000	60	19,333	5,248,500	30,777,834	36,026,334
名古屋南	5,000	577,500	1,980,000	2,557,500	117	21,858	12,292,500	29,800,000	42,092,500
名古屋みなと	4,000	358,000	300,000	658,000	90	7,311	10,732,500	28,715,000	39,447,500
名古屋瑞穂	5,000	380,000	520,000	900,000	76	11,842	7,791,000	34,225,500	42,016,500
名古屋守山	4,000	268,000	875,000	1,143,000	67	17,059	8,361,300	22,906,256	31,267,556
名古屋中	3,000	417,000	1,637,000	2,054,000	139	14,776	11,000,750	46,629,000	57,629,750
名古屋西	5,000	555,000	250,000	805,000	110	7,318	14,428,450	17,350,500	31,778,950
名古屋錦	4,000	144,000	556,000	700,000	37	18,918	1,855,000	8,966,000	10,821,000

米山寄付金納入クラブ別明細表

クラブ名	普通寄付金 単価(年額)	2003 / 07月 ~ 2004 / 06月			会員数 (1月1日)	一人当り 平均寄付額	過 去 累 計 額		
		普通寄付金	特別寄付金	合 計			普通寄付金	特別寄付金	合 計
名古屋大須	4,000	266,000	1,900,000	2,166,000	66	32,818	5,502,250	27,648,000	33,150,250
名古屋栄	3,500	276,500	1,590,000	1,866,500	80	23,331	3,202,250	14,830,000	18,032,250
名古屋西南	4,000	212,000	200,000	412,000	54	7,629	1,926,000	6,430,000	8,356,000
名古屋昭和	4,000	256,000	770,000	1,026,000	63	16,285	3,066,000	14,820,000	17,886,000
名古屋東南	6,000	462,000	950,000	1,412,000	78	18,102	11,166,350	16,687,500	27,853,850
名古屋和合	4,000	398,000	1,950,000	2,348,000	102	23,019	8,321,000	30,310,188	38,631,188
西春日井	4,000	156,000	550,475	706,475	40	17,661	4,822,750	20,052,046	24,874,796
西尾	5,000	380,000	2,030,000	2,410,000	75	32,133	6,786,650	28,480,515	35,267,165
西尾KIRARA	4,000	244,000	720,000	964,000	61	15,803	2,767,500	8,420,000	11,187,500
岡崎	4,000	400,750	915,000	1,315,750	98	13,426	8,871,300	32,992,640	41,863,940
岡崎東	4,000	312,000	1,220,788	1,532,788	76	20,168	6,171,500	33,105,048	39,276,548
岡崎城南	5,000	390,000	390,000	780,000	78	10,000	3,928,000	9,928,500	13,856,500
岡崎南	3,000	313,500	1,400,000	1,713,500	103	16,635	7,141,150	29,980,000	37,121,150
奥三河	4,000	110,000	0	110,000	26	4,230	3,683,750	1,621,000	5,304,750
大府	8,000	224,000	250,000	474,000	28	16,928	224,000	250,000	474,000
尾張旭	4,000	132,000	435,000	567,000	32	17,718	4,610,300	20,248,087	24,858,387
尾張中央	3,000	150,000	500,000	650,000	51	12,745	2,645,500	9,127,523	11,773,023
瀬戸	5,000	410,000	300,000	710,000	83	8,554	6,549,750	19,117,229	25,666,979
瀬戸北	6,000	444,000	1,000,000	1,444,000	73	19,780	6,308,750	14,044,800	20,353,550
新城	5,000	310,000	300,000	610,000	62	9,838	4,735,450	10,022,000	14,757,450
田原	4,000	240,000	50,000	290,000	61	4,754	5,393,100	9,710,200	15,103,300
田原パシフィック	4,000	284,000	445,000	729,000	70	10,414	3,085,000	8,629,300	11,714,300
高浜	4,000	172,000	380,000	552,000	43	12,837	4,520,200	7,598,538	12,118,738
常滑	4,000	228,000	10,000	238,000	58	4,103	6,487,450	10,820,000	17,307,450
東海	4,000	222,000	520,000	742,000	54	13,740	5,800,750	14,009,630	19,810,380
豊橋	4,000	464,000	923,000	1,387,000	116	11,956	10,590,450	39,780,863	50,371,313
豊橋ゴールデン	3,500	248,500	590,000	838,500	71	11,809	3,752,000	15,850,000	19,602,000
豊橋東	3,200	153,600	340,000	493,600	48	10,283	1,108,600	3,531,500	4,640,100
豊橋北	4,000	398,000	1,064,000	1,462,000	100	14,620	9,079,150	27,437,335	36,516,485
豊橋南	4,000	260,000	130,000	390,000	65	6,000	6,024,550	15,008,748	21,033,298
豊川	5,000	339,000	990,000	1,329,000	67	19,835	5,860,000	26,270,000	32,130,000
豊川宝飯	3,500	185,500	270,000	455,500	53	8,594	3,017,250	19,040,000	22,057,250
豊田	3,000	229,500	1,170,000	1,399,500	75	18,660	6,827,400	24,534,000	31,361,400
豊田東	3,000	241,500	480,000	721,500	81	8,907	4,912,500	23,650,000	28,562,500
豊田三好	5,000	127,500	130,000	257,500	25	10,300	1,396,250	3,230,000	4,626,250
豊田中	3,000	154,500	850,000	1,004,500	51	19,696	646,500	3,900,000	4,546,500
豊田西	4,000	410,000	30,000	440,000	101	4,356	6,435,750	13,420,000	19,855,750
豊山一城北	4,000	120,000	200,000	320,000	29	11,034	3,787,500	11,473,225	15,260,725
津島	5,000	390,000	720,000	1,110,000	77	14,415	8,196,750	14,515,010	22,711,760
その他	0	0	0	0	0		0	516,650	516,650
合 計		23,259,350	62,430,091	85,689,441	5,476	15,648	466,929,600	1,396,675,417	1,863,605,017

米山寄付金納入地区別明細表

2004年06月30日現在（単位：円）

地 区	2003 / 07月 ～ 2004 / 06月			会員数	一人当り 平均寄付額	過 去 累 計 額		
	普通寄付金	特別寄付金	合 計			普通寄付金	特別寄付金	合 計
2500	6,210,050	13,831,459	20,041,509	2,768	7,240	181,403,835	232,825,975	414,229,810
2510	9,772,000	21,402,646	31,174,646	3,306	9,430	275,507,400	453,593,781	729,101,181
2520	8,928,336	10,813,275	19,741,611	2,955	6,681	265,746,373	295,121,231	560,867,604
2530	10,872,500	20,837,569	31,710,069	2,707	11,714	220,770,650	357,468,973	578,239,623
2540	3,169,600	4,084,222	7,253,822	1,337	5,425	118,317,370	125,498,714	243,816,084
2550	6,485,000	32,516,352	39,001,352	2,165	18,014	199,183,850	688,509,076	887,692,926
2560	8,275,500	28,243,152	36,518,652	2,252	16,216	214,975,403	517,297,229	732,272,632
2790	13,708,000	30,759,585	44,467,585	3,312	13,426	359,206,220	847,068,395	1,206,274,615
2800	10,941,000	7,007,600	17,948,600	2,180	8,233	181,823,800	172,925,237	354,749,037
2820	9,476,000	28,431,666	37,907,666	2,416	15,690	229,353,850	915,873,823	1,145,227,673
2830	2,900,500	7,588,493	10,488,993	1,348	7,781	104,556,685	137,186,826	241,743,511
2840	6,849,500	23,529,217	30,378,717	2,260	13,442	192,275,570	570,171,719	762,447,289
2570	10,278,300	23,090,420	33,368,720	2,198	15,181	249,402,325	557,776,358	807,178,683
2580	19,050,700	30,472,000	49,522,700	3,771	13,133	505,418,853	1,221,516,646	1,726,935,499
2590	15,392,500	55,738,002	71,130,502	2,760	25,772	330,643,000	1,207,162,502	1,537,805,502
2600	10,612,100	23,732,972	34,345,072	2,510	13,683	240,126,790	735,263,908	975,390,698
2610	11,172,500	31,087,300	42,259,800	3,098	13,641	204,552,320	589,494,872	794,047,192
2620	15,380,750	41,353,630	56,734,380	3,868	14,668	393,151,250	651,629,406	1,044,780,656
2750	22,235,500	61,506,509	83,742,009	4,865	17,213	518,642,110	1,772,148,162	2,290,790,272
2770	14,383,500	48,346,000	62,729,500	3,028	20,716	296,192,830	1,235,247,034	1,531,439,864
2780	13,249,650	38,430,500	51,680,150	2,668	19,370	302,068,400	1,090,242,074	1,392,310,474
2630	15,390,500	27,762,931	43,153,431	4,018	10,740	358,355,965	983,642,263	1,341,998,228
2640	17,428,000	42,551,800	59,979,800	2,907	20,633	496,697,250	1,355,980,539	1,852,677,789
2650	25,259,650	83,637,219	108,896,869	5,444	20,003	672,404,495	2,469,046,165	3,141,450,660
2660	23,657,750	61,605,370	85,263,120	4,429	19,251	618,045,610	1,944,145,566	2,562,191,176
2680	15,066,500	33,588,616	48,655,116	3,448	14,111	359,324,595	781,191,015	1,140,515,610
2690	16,511,700	29,738,429	46,250,129	3,663	12,626	345,379,700	665,765,943	1,011,145,643
2760	23,259,350	62,430,091	85,689,441	5,476	15,648	466,929,600	1,396,675,417	1,863,605,017
2670	14,339,500	26,978,328	41,317,828	3,387	12,199	291,042,250	592,051,566	883,093,816
2700	15,870,050	25,384,681	41,254,731	3,458	11,930	346,197,325	549,265,511	895,462,836
2710	16,289,500	30,691,389	46,980,889	3,801	12,360	321,302,890	746,226,612	1,067,529,502
2720	12,896,400	12,248,712	25,145,112	2,892	8,695	262,195,470	336,323,996	598,519,466
2730	9,278,208	15,255,601	24,533,809	2,740	8,954	186,516,597	203,918,188	390,434,785
2740	8,950,750	23,556,725	32,507,475	2,708	12,004	198,740,870	479,961,423	678,702,293
その他	0	0	0	0	0	0	18,851,324	18,851,324
合 計	443,541,344	1,058,232,461	1,501,773,805	106,143	14,149	10,506,451,501	26,897,067,469	37,403,518,970

米 山 功 労 者

ク ラ ブ	氏 名
常 滑	稲 葉 勝 彦
東 海	勝 崎 視 美
東 知 多	鈴 木 一 也
半 田 南	内 藤 剛
半 田 南	榊 原 徳 三
知 多	葉 山 博 美
知 多	村 上 茂 登
知 多	鈴 村 鉦 直
知 多	竹 内 義 将
一 宮	渡 邊 一 正
一 宮	山 口 元 彦
一 宮	廣 瀬 雅 美
一 宮	飯 田 清 春
一 宮	石 井 宏 兒
一 宮	近 藤 俊 彦
一 宮	森 島 勝 美
一 宮	野 木 森 栄
一 宮	足 立 誠
津 島	河 西 あつ子
津 島	児 玉 昭
津 島	三 谷 栄 一
津 島	寺 島 淳 一
津 島	鶴 見 治 貞
一 宮 北	佐 分 博 明
あ ま	柏 子 見 昌 敏
あ ま	北 野 庸 夫
あ ま	中 川 昌 樹
あ ま	山 田 幹 夫
西 春 日 井	小 澤 詠 見 子
西 春 日 井	櫻 井 利 夫
西 春 日 井	田 辺 辰 彦
西 春 日 井	鳥 居 利 一
尾 張 中 央	大 島 俊 三
尾 張 中 央	大 野 眞 一
尾 張 中 央	山 田 栄 久
一 宮 中 央	木 全 義 信
瀬 戸	亀 山 久
犬 山	奥 村 金 康
犬 山	千 田 典 人
江 南	宇 佐 見 英 一
江 南	脇 田 博 治
江 南	熊 澤 治 夫
小 牧	舟 橋 章 好
小 牧	山 下 みつ子
春 日 井	桜 井 真 行
春 日 井	山 田 治
春 日 井	山 内 孝 弘

ク ラ ブ	氏 名
春 日 井	松 尾 隆 徳
尾 張 旭	高 島 昇
瀬 戸 北	青 山 雅 彦
岩 倉	井 上 隆 義
岩 倉	大 江 秀 和
岩 倉	関 戸 昭 光
岩 倉	関 戸 一 雄
岩 倉	山 内 嘉 久
豊 山 - 城 北	多 田 通 夫
名 古 屋	福 沢 孝 夫
名 古 屋 西	宮 田 紀 昭
名 古 屋 南	篠 田 美 樹
名 古 屋 南	土 方 茂
名 古 屋 南	田 中 偉 生
名 古 屋 み な と	川 島 保 國
名 古 屋 東 南	水 野 裕
名 古 屋 東 南	尾 本 和 弘
名 古 屋 中	長 谷 川 雅 晴
名 古 屋 中	鬼 頭 完 次
名 古 屋 中	近 藤 雄 泉
名 古 屋 中	菅 原 正 倫
名 古 屋 中	山 本 保 弘
名 古 屋 瑞 穂	八 木 沢 幹 夫
名 古 屋 瑞 穂	宮 崎 信 次
名 古 屋 大 須	堀 田 泰 造
名 古 屋 大 須	加 藤 正 樹
名 古 屋 大 須	木 村 光 徳
名 古 屋 大 須	前 田 隆 久
名 古 屋 大 須	小 澤 幸 男
名 古 屋 大 須	出 口 忍
名 古 屋 栄	日 置 教 康
名 古 屋 栄	石 河 隆
名 古 屋 栄	足 立 正 幸
名 古 屋 栄	江 藤 戦 治
名 古 屋 栄	羽 田 野 道 明
名 古 屋 栄	原 常 之
名 古 屋 名 南	太 田 敦 士
名 古 屋 名 南	新 原 尚
名 古 屋 名 南	山 田 利 子
名 古 屋 名 駅	松 浦 幸 信
名 古 屋 名 駅	野 村 一 郎
名 古 屋 名 駅	櫻 木 邦 衛
名 古 屋 名 駅	神 保 成 智
名 古 屋 名 駅	田 口 望
名 古 屋 西 南	西 川 博
名 古 屋 西 南	矢 野 雄 三
名 古 屋 北	山 本 光 夫

ク ラ ブ	氏 名
名 古 屋 東	安 藤 茂
名 古 屋 東	猪 村 正 彦
名 古 屋 東	岸 田 正 昭
名 古 屋 東	Fr. Michael Calmano
名 古 屋 東	水 野 茂 生
名 古 屋 東	三 品 周 一
名 古 屋 東	野 田 剛 司
名 古 屋 東	梶 山 正 弘
名 古 屋 東	山 口 譽 起
名 古 屋 東	吉 田 則 雄
名 古 屋 東	大 伴 勝 彦
名 古 屋 守 山	瀬 古 賢 二
名 古 屋 守 山	後 藤 敬
名 古 屋 守 山	長 瀬 輝 代 之
名 古 屋 和 合	林 薫
名 古 屋 和 合	林 邦 司
名 古 屋 和 合	伊 藤 勝 康
名 古 屋 和 合	一 柳 宰
名 古 屋 和 合	稲 川 久
名 古 屋 和 合	石 井 正 己
名 古 屋 和 合	加 藤 一 郎
名 古 屋 和 合	片 桐 寛 治
名 古 屋 和 合	丸 山 弘 昭
名 古 屋 和 合	尾 関 和 成
名 古 屋 和 合	佐 橋 嘉 彦
名 古 屋 名 東	奥 佳 澄
名 古 屋 名 東	加 藤 常 文
名 古 屋 名 東	儀 賀 良 公 秀
名 古 屋 名 東	山 田 武 司
名 古 屋 名 北	梶 川 久 雄
名 古 屋 千 種	池 森 由 幸
名 古 屋 千 種	伊 藤 健 文
名 古 屋 千 種	水 谷 祥 督
名 古 屋 千 種	西 川 豊 長
名 古 屋 昭 和	木 下 実
名 古 屋 昭 和	斎 藤 正 俊
名 古 屋 昭 和	佐 藤 鑛 二
名 古 屋 昭 和	上 野 広
名 古 屋 錦	近 藤 歌 子
名 古 屋 錦	長 谷 川 周 義
名 古 屋 錦	金 子 紀 子
名 古 屋 錦	河 北 英 次
名 古 屋 錦	後 藤 博 文
名 古 屋 錦	瀬 瀬 睦 子
豊 橋	石 川 百 代
蒲 郡	大 場 善 男
蒲 郡	飯 島 卓

米 山 功 労 者

ク ラ ブ	氏 名
豊 橋 北	松 井 由 次
豊 橋 北	田 中 正 治 郎
豊 橋 北	匹 田 雅 久
豊 川	高 橋 睦 治
豊 橋 南	磯 村 博 宣
新 城	寿 昌 宏 之
豊 川 宝 飯	原 田 邦 夫
豊 川 宝 飯	松 井 康 守
豊橋ゴールドン	天 野 義 久
豊橋ゴールドン	野 場 敏 孝
田原パシフィック	林 俊 樹
田原パシフィック	井 上 健
田原パシフィック	富 永 潤
田原パシフィック	辻 義 郎
豊 橋 東	神 野 武 郎
豊 橋 東	鈴 木 準 之 助
豊 田	河 原 秀 紀
豊 田	小 島 洋 一 郎
豊 田	倉 橋 学
豊 田	宮 戸 優 治 郎
豊 田	野 口 明 生
豊 田	矢 頭 賢 一
豊 田	米 山 和 浩
岡 崎 南	澤 田 守 弘
岡 崎 南	小 久 保 文 雄
岡 崎 南	成 瀬 正 明
岡 崎 東	足 立 憲 彦
岡 崎 東	本 間 勇 雄
岡 崎 東	中 川 和 広
岡 崎 東	竹 内 詔 一
豊 田 三 好	鈴 木 達 雄
豊 田 中	原 田 隆 司
豊 田 中	廣 部 明 美
豊 田 中	深 田 一 弘
豊 田 中	飯 田 武 子
豊 田 中	河 合 英 二
刈 谷	太 田 宗 一 郎
安 城	石 原 昭
安 城	石 川 博
安 城	伊 藤 隆 夫
安 城	神 谷 芳 宏
西 尾	羽 佐 田 芳 和
西 尾	伊 藤 富 義
西 尾	稲 垣 良 次
西 尾	小 田 井 博 茂
西 尾	小 澤 育 史
西 尾	岡 安 邦 夫

ク ラ ブ	氏 名
西 尾	榊 原 正 人
西 尾	宍 戸 秀 隆
西 尾	鳥 居 祥 雄
西 尾	鳥 居 忠 善
西 尾	筒 井 兼 之
西 尾	山 田 慶 勝
西 尾	岡 田 雅 彦
碧 南	池 田 弘 孝
高 浜	武 田 法 子
高 浜	都 築 秀 二
高 浜	笠 松 栄 治
西尾KIRARA	犬 塚 万 弘
西尾KIRARA	齋 藤 保 夫
三 河 安 城	平 子 昭 三
三 河 安 城	伊 吹 治 郎
三 河 安 城	稲 垣 靖
三 河 安 城	小 西 紀 久 雄
三 河 安 城	糸 善 夫
三 河 安 城	畔 柳 弘 文
三 河 安 城	柵 木 政 美
三 河 安 城	松 本 正
三 河 安 城	森 田 勝 己
三 河 安 城	西 尾 四 郎
三 河 安 城	丹 羽 修
三 河 安 城	杉 浦 真 理 子
三 河 安 城	鳥 居 剛 育
三 河 安 城	山 口 恭 正
三 河 安 城	矢 田 良 一

米山功労者（マルチプル）

ク	ラ	ブ	氏	名
半	田		神 戸	信 寅
半	田		川 口	新 平
半	田		前 田	佳 男
半	田		三 保 谷	樞
半	田		小 栗	孝 久
半	田		沢 田	公 嗣
半	田		竹 内	辰 夫
半	田		田 中	徹
半	田		富	武 司
半	田		六 鹿	直 視
東	知	多	藤 沢	健 夫
半	田	南	服 部	茂 雄
一	宮		牛 田	猛
一	宮		浅 井	雅 高
一	宮		船 橋	正 員
一	宮		猪 子	誠 兒
一	宮		加 藤	恭 平
一	宮		川 松	保 夫
一	宮		岸	岩 男
一	宮		森	初 男
一	宮		森	克 彦
一	宮		墨	芳 郎
一	宮		江 崎	哲
一	宮		日 野	正 美
一	宮		平 谷	良 樹
一	宮		岩 田	功
一	宮		磯 部	茂
一	宮		加 藤	数 也
一	宮		鎌 田	芳 彰
一	宮		木 村	実
一	宮		小早川	泰三
一	宮		後 藤	尚 史
一	宮		近 藤	文 彦
一	宮		松 本	和 徳
一	宮		松 田	暁 昌
一	宮		森 田	力
一	宮		森	保 彦
一	宮		村 川	文 穂
一	宮		長尾	大八郎
一	宮		丹 羽	健
一	宮		酒 井	孝
一	宮		鈴 木	敏 朗
一	宮		土 川	保 夫
一	宮		榊 原	譲
一	宮		坂 野	邦 夫
津	島		稲 川	明 俊
津	島		梶 浦	興 蔵

ク	ラ	ブ	氏	名
津	島		遠 山	孝 義
稲	沢		田 口	茂 利 平
あ	ま		浅 野	多 喜 男
あ	ま		堀 江	承 元
あ	ま		稲 垣	孝 憲
あ	ま		真 木	伸 一
あ	ま		大 野	弘 之
あ	ま		光 岡	朗
西	春	日 井	星 野	清 久
一	宮	中 央	加 藤	康 治
一	宮	中 央	後 藤	正 雄
一	宮	中 央	水 野	房 治 郎
一	宮	中 央	森	榮
一	宮	中 央	渡 辺	邦 夫
瀬	戸		青 山	優
瀬	戸		清 谷	正 夫
犬	山		安 達	英 昭
犬	山		青 山	博 仁
犬	山		板 津	英 基
犬	山		小 川	嘉 吉
犬	山		大 島	克 己
犬	山		杉 本	治 彦
犬	山		田 中	進 一 郎
春	日	井	亀 谷	鉦 一
春	日	井	松 本	淳
春	日	井	新 美	治 男
春	日	井	志 水	ひ ろ み
尾	張	旭	箕 輪	良 孝
岩	倉		河 村	金 明
岩	倉		丹 羽	規 之
豊	山	- 城 北	太 田	光 将
名	古	屋	中 北	智 久
名	古	屋	盛 田	淳 夫
名	古	屋	高 橋	正 聿
名	古	屋 西	藤 本	博 之
名	古	屋 南	江 口	博 寿
名	古	屋 南	岩 田	崇 祺
名	古	屋 南	伊 藤	文 男
名	古	屋 南	加 藤	慶 一
名	古	屋 南	嶺 木	昌 行
名	古	屋 南	村 瀬	廣 芳
名	古	屋 南	山 口	賢 一
名	古	屋 南	吉 岡	正 人
名	古	屋 南	北	登 一
名	古	屋 東 南	下 郷	卓 弥
名	古	屋 東 南	大 西	弘 高
名	古	屋 中	江 崎	正 則

ク	ラ	ブ	氏	名
名	古	屋 中	深 田	正 雄
名	古	屋 中	池 田	曠
名	古	屋 中	佐 藤	貞 明
名	古	屋 中	鳥 山	敦 生
名	古	屋 中	國 友	昌 大
名	古	屋 中	占 部	憲 一
名	古	屋 瑞 穂	細 川	達 也
名	古	屋 瑞 穂	岩 根	敬 泰
名	古	屋 瑞 穂	森	恒 夫
名	古	屋 瑞 穂	亀 井	直 人
名	古	屋 瑞 穂	高 須	洋 志
名	古	屋 大 須	浅 野	彰
名	古	屋 大 須	伊 藤	与 則
名	古	屋 大 須	岩 崎	征 一
名	古	屋 大 須	神 田	憲
名	古	屋 大 須	内 藤	明
名	古	屋 大 須	小 笠 原	和 俊
名	古	屋 大 須	住 田	正 夫
名	古	屋 大 須	吉 田	明 夫
名	古	屋 栄	安 藤	明 雄
名	古	屋 栄	長 崎	守 利
名	古	屋 栄	西 村	忠 郎
名	古	屋 栄	西 田	充 宏
名	古	屋 栄	小 川	隆
名	古	屋 栄	横 江	徳 広
名	古	屋 栄	中 野	淳 司
名	古	屋 栄	谷 川	貢
名	古	屋 栄	八 神	基
名	古	屋 名 南	安 藤	鉄 一
名	古	屋 名 南	林	隆 二
名	古	屋 名 南	平 野	鶏 奈 子
名	古	屋 名 南	堀 田	光 江
名	古	屋 名 南	久 米	伸 治
名	古	屋 名 南	中 西	芳 子
名	古	屋 名 南	大 隅	紀 郎
名	古	屋 名 南	真 木	實
名	古	屋 名 南	田 中	省 三
名	古	屋 名 南	山 本	誠 一
名	古	屋 名 南	餘 久 保	国 光
名	古	屋 名 南	横 井	信 子
名	古	屋 名 南	吉 兼	智 子
名	古	屋 名 駅	小 崎	誠 三
名	古	屋 名 駅	横 山	敏
名	古	屋 北	松 永	亮
名	古	屋 東	安 井	孝
名	古	屋 東	山 田	信 二
名	古	屋 東	浅 見	勲

米 山 功 労 者 (マルチプル)

ク ラ ブ	氏 名
名 古 屋 東	伏 原 靖 二
名 古 屋 東	高 橋 雄 二 郎
名 古 屋 東	古 川 善 次 郎
名 古 屋 東	増 田 浩 男
名 古 屋 東	山 田 幸 弘
名 古 屋 東	本 多 満
名 古 屋 東	高 橋 雄 二 郎
名 古 屋 和 合	中 條 忠 直
名 古 屋 和 合	天 野 清 美
名 古 屋 和 合	石 堂 功 卓
名 古 屋 和 合	柏 木 順 壱
名 古 屋 和 合	浅 野 英 夫
名 古 屋 和 合	柴 崎 守 正
名 古 屋 名 北	斎 藤 秀 敏
名 古 屋 名 北	尾 關 實 津 成
名 古 屋 千 種	二 村 聰
名 古 屋 千 種	大 谷 和 雄
名 古 屋 千 種	和 田 正 敏
名 古 屋 昭 和	林 治 生
名 古 屋 昭 和	加 藤 厚
名 古 屋 昭 和	中 山 一 郎
名 古 屋 昭 和	杉 田 等
名 古 屋 錦	伊 藤 康 之
豊 橋	杉 田 錦 子
豊 橋	小 島 良 子
豊 橋	富 田 佳 央
豊 橋	柳 原 伸 行
豊 橋 北	坂 柳 猛 興
豊 橋 北	竹 内 稔 弘
豊 橋 北	安 田 賢 志
豊 橋 北	杉 山 雄 一
豊 橋 北	伊 東 元 一
豊 橋 北	高 倉 宣 夫
田 原	仲 谷 修

ク ラ ブ	氏 名
豊 橋 南	塩 之 谷 昌
豊 川	足 立 陽 一 郎
豊 川	花 田 和 男
豊 川	牧 野 一 郎
豊 川	高 谷 彌 五 郎
新 城	田 村 幹 洋
豊 橋 東	水 鳥 正 一
岡 崎	梅 田 章 次
岡 崎	岩 附 辰 治
岡 崎	太 田 賢 太 郎
岡 崎	杉 浦 壽 康
豊 田	木 下 桂 一
豊 田	秋 田 敬 治
豊 田	松 井 勇
豊 田	光 岡 新 吾
豊 田	鈴 村 幸 伸
豊 田	杉 浦 毅
豊 田	杉 浦 弘 高
豊 田	鈴 木 元 弘
豊 田	鈴 木 秀 和
豊 田	山 内 昇 三
岡 崎 南	岡 田 庸 男
岡 崎 南	今 泉 孝 一
岡 崎 南	神 谷 直 三
岡 崎 南	小 野 隆
豊 田 西	戸 軽 政 雄
岡 崎 東	山 内 隆 一
岡 崎 東	深 津 幸 雄
岡 崎 東	加 藤 宏
岡 崎 東	小 林 清 文
岡 崎 東	小 野 文 憲
豊 田 東	今 井 康 夫
豊 田 東	杉 山 時 男
豊 田 東	鈴 木 昌

ク ラ ブ	氏 名
豊 田 中	神 谷 修
豊 田 中	大 塚 哲 夫
豊 田 中	鈴 村 幸 雄
刈 谷	加 藤 俊 二
刈 谷	加 藤 真 治
安 城	杳 名 俊 裕
安 城	中 根 宏 好
安 城	永 谷 文 人
安 城	酒 井 直 司
安 城	清 水 正 幸
安 城	杉 山 勝 宏
西 尾	天 野 卓
西 尾	犬 塚 宣 明
西 尾	杉 浦 義 浩
西 尾	犬 塚 和 夫
西 尾	杉 浦 脩
西 尾	高 濱 明 利
碧 南	服 部 一 彦
碧 南	石 川 春 久
碧 南	三 嶋 正
一 色	三 矢 隆
高 浜	角 谷 宏
知 立	神 谷 太 一
知 立	近 藤 一 幸
知 立	水 野 吉 樹
知 立	塚 本 昌 男
知 立	山 田 哲 夫
西 尾 KIRARA	伊 藤 則 男
西 尾 KIRARA	石 川 逸 大
西 尾 KIRARA	辻 村 和 美
西 尾 KIRARA	辻 村 義 之
三 河 安 城	平 野 勝 則
三 河 安 城	大 見 育 太
三 河 安 城	富 田 清 治

米 山 功 労 者 (メジャードナー)

ク ラ ブ	氏 名
半 田	加 藤 凱 也
東 海	小 嶋 洋 一
東 知 多	加 藤 知 成
瀬 戸 北	藤 田 音 春

ク ラ ブ	氏 名
瀬 戸 北	本 多 敬 文
名 古 屋	下 出 玲 子
名 古 屋 み な と	浅 井 久 一 郎
名 古 屋 北	岩 月 忠 和

ク ラ ブ	氏 名
名 古 屋 北	河 合 利 周
名 古 屋 名 東	坂 本 精 志
碧 南	井 上 達 夫
碧 南	吉 井 才 司

2003～2004年度各クラブのWCS活動内容

分 区	クラブ名	活動方針	活動予算	活動地区（クラブ）	活動内容
南 尾 張 分 区	半 田	地区委員会に一任	200,000	タイ3360地区（チェンマイ地区6RC）	山岳民族の人達への図書館建設支援
	常 滑	クラブ独自で活動	100,000	ネパール	小学校への支援
	東 海	クラブ独自で活動	100,000	タイ3360地区（シラアサナ）	シリキットダムの北辺住民の風土病根絶のための援助
			100,000	タイ3360地区（ウタラデット）	小学校施設支援
			100,000	タイ3360地区（ピチャイ）	給水設備支援
			100,000	タイ3360地区（ラブレエイ）	学校施設支援
			100,000	フィリピン3800地区（カルカン北）	TokaiLeadingCenterの建設支援
			100,000	フィリピン3810地区（パサイミヤ）	WeeklySoupKitchenの支援
	東 知 多	クラブ独自で活動	100,000	フィリピン3800地区（ファレンズエラ）	現地の高校マイサンインターナショナルハイスクールへ化学実験器具贈呈
	半 田 南	クラブ独自で活動	150,000	タイ3350地区 バンコク（スリウォン）	養鶏プロジェクトへの支援
	知 多	本年度は中止			
西 尾 張 分 区	大 府	クラブ独自で活動	100,000	フィリピン3800地区（ファレンズエラ）	2つのハイスクールへの実験設備器具の支援
	一 宮	クラブ独自で活動	230,000	スリランカ3220地区（KADUWEIA）	救急車寄贈プロジェクト
	津 島	地区委員会に一任	100,000	タイ3360地区（ファング）	山岳民族への飲料水供給支援
	尾 西	本年度は中止			
	一 宮 北	地区委員会に一任	100,000	タイ3360地区（カムペーンベット）	地方農村地域への医療チームの派遣支援
	稲 沢	地区委員会に一任	150,000	タイ3360地区（チェンマイ地区6RC）	山岳民族の人達への図書館建設支援
	あ ま	クラブ独自で活動	200,000	台湾3520地区（汐止）	汐止RCとの合同にて老人施設にクーラー等を設置した
		地区委員会に一任	100,000	タイ3360地区（ラナ・チェンマイ）	飲料水供給支援
	西 春 日 井	地区委員会に一任	100,000	タイ3360地区（チェンマイドイステープ）	幼稚園児養育施設の支援
	尾 張 中央	地区委員会に一任	100,000	タイ3360地区（ランブーン）	飲料水供給支援
東 尾 張 分 区	一 宮 中央	クラブ独自で活動	200,000	フィリピン3800地区（マニラ）	貧困地域住民のための歯科診療、口腔保健指導
	瀬 戸	地区委員会に一任	50,000	タイ3360地区（ファング）	山岳民族への飲料水供給支援
	犬 山	地区委員会に一任	150,000	タイ3360地区（ワントーン）	地域社会収入援助計画支援
	江 南	地区委員会に一任	50,000	タイ3360地区（カムペーンベット）	地方農村地域への医療チーム派遣支援
	小 牧	クラブ独自で活動	\$2,000	フィリピン3810地区（タガイタイ）	奨学基金として年間\$2,000 毎年タガイタイRCへ預託
	春 日 井	クラブ独自で活動	100,000		カラチへ活動資金
	尾 張 旭	クラブ独自で活動	100,000	モンゴル	オユンナ児童募金への援助
	名古屋空港	クラブ独自で活動	\$2,000	3450地区（九龍西RC）	母子家庭福祉基金援助
				3830地区（マカティウエストRC）	マカティ市立大学奨学基金財団へ
	瀬 戸 北	地区委員会に一任	50,000	タイ3360地区（メソッド、チャッド市）	地方農村地域の貧しい小学児童への昼食供与支援
西 名 古 屋 分 区	岩 倉	地区委員会に一任	50,000	タイ3360地区（サワンカローク北）	身障者造花製作の職業訓練センター支援
	豊 山・城北	地区委員会に一任	100,000	タイ3360地区（チェンマイ北）	盲学校への支援
	愛知長久手	クラブ独自で活動			WCS活動の情報収集中
	名 古 屋	地区委員会に一任	200,000	タイ3360地区（チェンマイ地区6RC）	山岳民族の人達への図書館建設支援
	名 古 屋 西	地区委員会に一任	50,000	タイ3360地区（チェンマイ南）	黒きこの栽培施設の支援
	名 古 屋 南	地区委員会に一任	100,000	タイ3360地区（チェンマイ南）	黒きこの栽培施設の支援
	名古屋みなと	地区委員会に一任	100,000	タイ3360地区（チェンマイ北）	盲学校への支援
	名古屋東南	クラブ独自で活動	500,000	ミャンマー	農業給水施設の支援 ヤンゴン・マンダレー国立大学へ図書寄付
	名 古 屋 中	地区委員会に一任	50,000	タイ3360地区（ウッタラディット）	学校へ飲料水供給支援
	名古屋瑞穂	地区委員会に一任	100,000	タイ3360地区（メーサリン）	地方農村地域の生徒達への飲料水供給支援
西 名 古 屋 分 区	名古屋大須	本年度は中止			
	名 古 屋 栄	地区委員会に一任	200,000	タイ3360地区（チェンマイ地区6RC）	山岳民族の人達への図書館建設支援
	名古屋名南	クラブ独自で活動	100,000	アフリカケニヤ	アフリカの飢餓の地域の子供達へ食糧を送った
	名古屋名駅	本年度は中止			
西 名 古 屋 分 区	名古屋西南	本年度は中止			

2003～2004年度各クラブのWC S活動内容

分 区	クラブ名	活動方針	活動予算	活動地区（クラブ）	活動内容
東 名 古 屋 分 区	名古屋北	地区委員会に一任	100,000	タイ3360地区（ナコーンナン）	きのご栽培実習支援
	名古屋東	地区委員会に一任	100,000	タイ3360地区（ウッタラディット）	学校へ飲料水供給支援
	名古屋守山	地区委員会に一任	50,000	タイ3360地区（スコートイ）	地方農村地域への飲料水タンク供与支援
	名古屋和合	地区委員会に一任	200,000	タイ3360地区（チェンマイ地区6RC）	山岳民族の人達への図書館建設支援
	名古屋名東	クラブ独自で活動	150,000	韓国3650地区（ソウル普信閣）	心臓病にの手術費用の一部に支援（韓国人の牧師の娘）
	名古屋名北	本年度は中止			
	名古屋千種	クラブ独自で活動	100,000	タイ	キャンヘルプタイランド（学校給食、奨学金への援助）
	名古屋昭和	地区委員会に一任	100,000	タイ3360地区（サラピー）	生徒達への冷たい飲料水供給支援
	名古屋錦	クラブ独自で活動			創立10周年記念事業にて検討
	名古屋東山	地区委員会に一任	50,000	タイ3360地区（チェンマイ地区6RC）	山岳民族の人達への図書館建設支援
	豊橋	クラブ独自で活動	100,000	タイ3350地区 バンコク（ベンジャシリ）	山岳民族定住化支援 子供達への教育支援
東 三 河 分 区	蒲郡	本年度は中止			
	豊橋北	地区委員会に一任	100,000	タイ3360地区（メソッド、チャッド市）	地方農村地域の貧しい小学児童への昼食供与支援
	豊川	クラブ独自で活動	100,000	韓国3700地区（大邱達西）	姉妹友好
	田原	クラブ独自で活動	100,000	ベトナム・クアンナム省	医療援助（日本口唇口蓋裂協会）
	豊橋南	クラブ独自で活動	270,000	韓国	晋州市慶尚大学生短期研修
	新城	本年度は中止			
	渥美	本年度は中止			
	奥三河	本年度は中止			
	豊川宝飯	本年度は中止			
	豊橋ゴールデン	クラブ独自で活動	150,000	フィリピン3800地区（マニラ）	医療器具の寄贈
	田原パシフィック	地区委員会に一任	100,000	タイ3360地区（サワンカローク北）	身障者造花製作の職業訓練センター支援
西 三 河 中 分 区	豊橋東	クラブ独自で活動	700,000	韓国	韓国中央大学校との交流
	岡崎	地区委員会に一任	150,000	タイ3360地区（スインタインガム）	学習用植物園供与支援
	豊田	クラブ独自で活動	100,000		イラン地震への義援金を豊田市社会協議会を通して日本赤十字へ寄付
	岡崎南	クラブ独自で活動	200,000	韓国	在韓日本人に対する援助（慶州ナザレ園）
	豊田西	クラブ独自で活動	100,000	スリランカ3220地区（スリランカミッドシティ）	「青少年育成基金」就学資金
	岡崎東	本年度は中止			
	豊田東	本年度は中止			
	岡崎城南	クラブ独自で活動	400,000	ミャンマー	ミャンマーにおける教育プログラム
	豊田三好	地区委員会に一任	100,000	タイ3360地区（スコートイ）	地方農村地域への飲料水タンク供与支援
	豊田中	本年度は中止			
	刈谷	クラブ独自で活動	200,000	フィリピン3860地区（ドリアンシティ ダバオ）	ニームツリー植樹等緑化事業及び友好訪問
西 三 河 分 区	安城	地区委員会に一任	50,000	タイ3360地区（チェンマイドイステープ）	幼稚園児養育施設の支援
	西尾	本年度は中止			
	碧南	地区委員会に一任	50,000	ドイツ	ドイツ国際平和村への支援
	一色	本年度は中止			
	高浜	地区委員会に一任	50,000	ドイツ	ドイツ国際平和村への支援
	知立	地区委員会に一任	124,000	バングラディッシュ	飲料水用タンク施設の支援
	西尾KIRARA	クラブ独自で活動			友好クラブの韓国五六島RCと独自で活動
	三河安城	本年度は中止			

新入会員一覧

クラブ名				氏 名		
半		田	稲	田	福	治
半		田	服	部	秀	雄
半		田	松	本	仁	磨
東		海	加	古	恭	之
東		海	宮	本	勝	弘
東		海	永	森		清
東		海	小	島		博
東		海	中	嶋		清
東	知	多	小	笠	原	直
東	知	多	山	山	さ	樹
半	田	南	山	北	正	義
半	田	南	村	田	弘	樹
大		府	加	藤	正	俊
大		府	村	瀬	和	男
一		宮	青	木	和	憲
一		宮	青	山	清	弘
一		宮	石	井	佳	延
一		宮	永	井	俊	康
一		宮	宮	島	潤	一
一		宮	林			誠
津		宮	寺	島	淳	一
津		島	和	出	泰	夫
津		島	伊	藤	彰	浩
一	宮	北	則	武	克	彦
一	宮	北	田	中		彰
一	宮	北	矢	田	政	弘
一	宮	北	渡	辺	元	男
一	宮	北	藤	木	靖	彦
一	宮	北	大	河	内	圭
一	宮	北	太	田		誠
一	宮	北	内	田	伸	雄
稲		沢	小	島	洋	國
稲		沢	伊	東		文
稲		沢	榊	田	文	裕
稲		沢	鈴	黒	ち	よ
あ		ま	山	木	数	男
あ		ま	水	田	善	茂
あ		ま	山	野	秀	昭
あ		ま	佐	藤	公	昭
あ		ま	木	村	正	孝
西	春	日	井	丹	羽	弘
西	春	日	井	神	田	利
西	春	日	井	中	村	雄
西	春	日	井	後	藤	稔
西	春	日	井	星	野	稔
西	春	日	井	鷺	見	治
尾	張	中	央	浅	野	喜
尾	張	中	央	金	森	也
尾	張	中	央	山	本	則
一	宮	中	央	太	田	宣
一	宮	中	央	厚	地	実
一	宮	中	央	伊	藤	樹
一	宮	中	央	植	田	正
一	宮	中	央	權	山	康
瀬		戸	青	井	上	隆
瀬		戸	井	角		隆
瀬		戸	堀	内		隆
犬		山	麻	生		忠
犬		山	日	比	野	万
犬		山	高	橋	喜	男
犬		山	宮	岡	秀	治
犬		山	曳	地	克	年
江		山	小	田	宗	弘
江		南	真	鍋	秀	郎
小		南	高	橋		彦
小		牧	奥	村		勤
小		牧	熊	谷	勝	彦
尾		旭	井	田	法	武
名	張	空	原	田	武	憲
名	古	空	桃	澤	好	展
名	古	空	岡	藤	道	博
名	古	空	稲	熊	正	武
名	古	空	安	川	正	德
名	古	空	香	山		勝
名	古	空	浅	野		進
岩	山	城	佐	藤	勝	美
豊	山	北	木	下	昭	二
豊	山	北	山	田	幹	夫
愛	知	久	山	本	裕	之
愛	知	久	山	本	義	朗
愛	知	久	川	本		勝
愛	知	久	日	比	野	美
愛	知	久	大	比	沢	智
愛	知	久	日	比	沢	和

氏名				氏名			
忠子	義典	藤野	加藤	久手	長古	知古	愛知
郎	晴	多	宇喜	屋	古	古	名
孝		井	櫻	屋	古	古	名
稔		野	北	屋	古	古	名
男	富	藤	佐	屋	古	古	名
行	順	山	高	屋	古	古	名
弘	和	澤	大	屋	古	古	名
薫		藤	伊	屋	古	古	名
男	泰	山	中	屋	古	古	名
八	伸	谷	長	屋	古	古	名
宏	信	井	鳥	屋	古	古	名
治	泰	松	高	屋	古	古	名
郎	洪	崎	岡	西	古	古	名
至	光	下	丹	西	古	古	名
一	榮	市	古	南	古	古	名
賢			原	南	古	古	名
治	泰	谷	岡	南	古	古	名
之	信	井	筒	南	古	古	名
近	賢	戸	城	南	古	古	名
治	千	田	山	南	古	古	名
秋	征	矢	降	南	古	古	名
雄	隆	田	松	南	古	古	名
夫	松	谷	水	南	古	古	名
英	樹	田	宮	南	古	古	名
也	万	東	伊	南	古	古	名
昌	博	金	枝	と	古	古	名
道	明	樹	篠	と	古	古	名
明	穎	田	田	と	古	古	名
征	隆	敷	仙	と	古	古	名
代	佳	崎	濱	南	古	古	名
明	規	村	中	南	古	古	名
脩	士	登	能	南	古	古	名
夫	富	原	桶	南	古	古	名
隆		井	古	中	古	古	名
久	紀	大	遠	中	古	古	名
明	俊	矢	小	中	古	古	名
郎	幸	笠	山	中	古	古	名
曉	原	原	平	中	古	古	名
樹	秀	沢	八	瑞	古	古	名
幹	木	野	木	瑞	古	古	名
始	哲	澤	倉	大	古	古	名
寛		井	照	大	古	古	名
栗		口	川	大	古	古	名
折	小	根	勝	大	古	古	名
隆	了	野	勝	大	古	古	名
之	一	西	佐	大	古	古	名
文	博	藤	堀	大	古	古	名
廣	範	部	安	大	古	古	名
佳	一	藤	伊	大	古	古	名
茂		谷	水	大	古	古	名
郎	四	井	細	大	古	古	名
夫	土	内	山	大	古	古	名
郎	二	野	水	大	古	古	名
三	俊	山	富	大	古	古	名
也	信	井	細	大	古	古	名
男	俊	岩	黒	大	古	古	名
晶	千	浦	三	大	古	古	名
隆		前	宮	大	古	古	名
文	隆	坂	長	大	古	古	名
二	洵	村	中	大	古	古	名
誠		原	田	大	古	古	名
久	孝	村	柳	大	古	古	名
則	孝	本	等	大	古	古	名
夫	信	々	清	大	古	古	名
三	裕	水	村	大	古	古	名
明	英	杉	江	大	古	古	名
二	順	藤	小	大	古	古	名
秀	和	井	酒	大	古	古	名
人	文	比	武	大	古	古	名
志	呂	祐	若	大	古	古	名
郎	次	菜	八	大	古	古	名
智	達	木	大	大	古	古	名
雄	啓	西	丸	大	古	古	名
一		山	下	大	古	古	名
光	宏	田	浅	大	古	古	名
次	耕	野	坂	大	古	古	名
太	節	野	小				

クラブ名				氏 名			
名	古	屋	北	都	築	英	信
名	古	屋	北	田	中	英	志
名	古	屋	北	石	野	英	学
名	古	屋	北	矢	橋	尚	行
名	古	屋	北	吉	野	高	彦
名	古	屋	北	阿	田	正	克
名	古	屋	北	左	部	暢	克
名	古	屋	北	右	木	優	二
名	古	屋	東	藤	辺	東	元
名	古	屋	東	渡	山	英	信
名	古	屋	東	山	下	雄	平
名	古	屋	東	今	井	俊	之
名	古	屋	東	田	村	弘	一
名	古	屋	東	大	中	和	三
名	古	屋	東	大	野	竜	博
名	古	屋	山	木	伊	藤	介
名	古	屋	山	神	谷	幸	男
名	古	屋	山	鷗	飼	健	太
名	古	屋	山	木	村	隆	臣
名	古	屋	合	二	村	定	之
名	古	屋	合	高	橋	宏	和
名	古	屋	合	川	畑	元	司
名	古	屋	合	夏	中	英	久
名	古	屋	合	木	田	弥	宏
名	古	屋	合	宮	村	光	宏
名	古	屋	合	野	田	弘	三
名	古	屋	合	内	海	修	生
名	古	屋	合	相	羽	繁	一
名	古	屋	合	須	賀	邦	郎
名	古	屋	合	外	村	之	彦
名	古	屋	合	中	里	有	孝
名	古	屋	合	中	伊	患	男
名	古	屋	東	高	木	克	貴
名	古	屋	東	鈴	木	勝	己
名	古	屋	北	加	藤	素	博
名	古	屋	北	宮	本	光	明
名	古	屋	和	国	田	宏	昭
名	古	屋	和	太	谷	寛	二
名	古	屋	山	長	木	照	治
名	古	屋	山	鈴	元	宏	裕
名	古	屋	山	小	林	重	行
名	古	屋	東	水	三	三	雄
名	古	屋	東	浦	木	吉	福
名	古	屋	東	三	鈴	明	雄
名	古	屋	東	山	大	光	仲
名	古	屋	東	水	本	隆	隆
名	古	屋	東	藤	池	資	一
名	古	屋	東	井	孝	郎	悦
名	古	屋	東	仲	康	宏	彦
名	古	屋	東	森	毅	幸	助
名	古	屋	東	稲	林	鏡	之
名	古	屋	北	大	野	義	明
名	古	屋	北	萩	股	哲	生
名	古	屋	北	且	田	隆	男
名	古	屋	北	豊	浅	修	道
名	古	屋	北	後	野	秀	二
名	古	屋	北	藤	橋	一	彦
名	古	屋	北	石	本	隆	隆
名	古	屋	北	百	瀬	元	一
名	古	屋	北	関	野	由	典
名	古	屋	北	天	多	英	郎
名	古	屋	北	本	太	卓	寛
名	古	屋	北	鈴	野	則	明
名	古	屋	北	木	谷	正	一
名	古	屋	北	阿	部	信	幸
名	古	屋	北	伊	藤	勝	文
名	古	屋	北	満	尾	泰	夫
名	古	屋	北	中	立	次	雄
名	古	屋	北	堀	田	卓	嗣
名	古	屋	北	小	島	嗣	雄
名	古	屋	北	大	野	喜	明
名	古	屋	北	小	杉	和	俊
名	古	屋	北	中	島	貴	志
名	古	屋	北	脇	田	友	伸
名	古	屋	北	西	山	友	志

新 入 会 員 一 覧

クラブ名	氏 名
岡 崎	峰 沢 賢 次
岡 崎	松 野 豊 彦
岡 崎	小 西 敏 之
岡 崎	笹 原 浩 二
岡 崎	鋤 柄 禎 彰
岡 崎	鈴 木 幸 男
岡 崎	金 田 博 良
豊 田	新 実 義 隆
豊 田	角 岡 雅 史
豊 田	早 川 滋 人
豊 田	的 場 健 徹
豊 田	木 部 雅 則
豊 田	村 上 敦 也
岡 崎	早 井 幹 夫
岡 崎	南 朝 日 伸 一
岡 崎	南 前 田 直 樹
豊 田	西 加 藤 達 男
豊 田	西 加 藤 誠 幸
豊 田	西 北 山 邦 俊
豊 田	西 河 合 秀 純
豊 田	西 牧 野 泰 二
岡 崎	山 田 昌 明
豊 田	東 宮 村 喜 平

クラブ名	氏 名
豊 田 東	山 内 達 巳
豊 田 東	成 瀬 昇 次
岡 崎 城 南	磯 部 亮 保
岡 崎 城 中	倉 橋 武 子
豊 田 中	飯 田 明 美
豊 田 中	廣 部 昌 孝
刈 谷	太 田 博 之
刈 谷	加 藤 堯 敏
刈 谷	山 守 敏 男
刈 谷	渡 邊 信 文
刈 谷	大 西 正 博
刈 谷	酒 部 芳 朗
刈 谷	平 岩 達 男
刈 谷	磯 村 健 雄
刈 谷	洪 木 健 明
刈 谷	久 米 博 示
刈 谷	小 川 耕 広
刈 谷	角 谷 中 正
安 城	田 林 逸 朗
安 城	杉 浦 恵 祐
安 城	藤 井 英 樹
安 城	奥 田 法 行
西 尾	清 水 保 彦

クラブ名	氏 名
西 尾	鳥 居 祥 雄
西 尾	新 村 裕 幸
西 尾	榎 原 正 彦
西 尾	岡 田 雅 弘
碧 南	岡 本 明 弘
碧 南	山 下 照 至
碧 南	佐 藤 古 裕 治
碧 南	那 波 宏 志
一 高	石 原 哲 雄
知 立	天 野 光 宏
知 立	鶴 田 高 則
知 立	道 家 日 出 信 平
西尾KIRARA	小 林 敏 宏
西尾KIRARA	柴 川 和 義
三 河 安 城	河 合 信 彦
三 河 安 城	田 村 脩 徹
三 河 安 城	成 田 正 幸
三 河 安 城	古 里 和 宏
三 河 安 城	待 津 茂 樹
三 河 安 城	深 津 今 朝 夕
三 河 安 城	丸 山 横 山 葉 郁
三 河 安 城	小 野 友 一

2003～2004年度 国際ロータリー各種表彰

- ・国際ロータリー意義ある業績賞 名古屋大須ロータリークラブ
- ・ロータリー財団功労表彰状 鈴木 薫（豊橋RC）
- ・国際ロータリー広報賞 一色ロータリークラブ
- ・国際ロータリー会員増強・拡大賞 刈谷ロータリークラブ
- ・国際ロータリー会長賞

南尾張分区	半田ロータリークラブ
西尾張分区	一宮ロータリークラブ 一宮北ロータリークラブ 一宮中央ロータリークラブ
東尾張分区	瀬戸ロータリークラブ 犬山ロータリークラブ 瀬戸北ロータリークラブ 豊山・城北ロータリークラブ
西名古屋分区	名古屋ロータリークラブ 名古屋南ロータリークラブ 名古屋みなとロータリークラブ 名古屋東南ロータリークラブ

西名古屋分区	名古屋中ロータリークラブ 名古屋大須ロータリークラブ 名古屋栄ロータリークラブ 名古屋名南ロータリークラブ 名古屋名駅ロータリークラブ
東名古屋分区	名古屋北ロータリークラブ 名古屋東ロータリークラブ 名古屋和合ロータリークラブ 名古屋千種ロータリークラブ
西三河中分区	岡崎南ロータリークラブ 岡崎城南ロータリークラブ 豊田三好ロータリークラブ

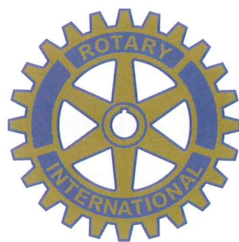
・ガバナー賞

南尾張分区	半田南ロータリークラブ
西尾張分区	西春日井ロータリークラブ
東尾張分区	小牧ロータリークラブ
西名古屋分区	白木 信平氏（名古屋西RC）

東三河分区	豊橋ロータリークラブ 豊川ロータリークラブ
西三河中分区	岡崎東ロータリークラブ
西三河分区	三河安城ロータリークラブ

物 故 者 一 覧

クラブ名	氏 名	クラブ名	氏 名	クラブ名	氏 名
一 津	宮 石 井 慶 男 様	名 古 屋	下 出 保 雄 様	豊 橋	紅 林 辰 郎 様
稲 垣	島 稲 垣 和 清 様	名 古 屋	伊 藤 健 一 様	豊 橋	神 谷 邦 雄 様
稲 垣	住 田 正 三 様	名 古 屋 東 南	坂 本 薫 俊 様	豊 橋	藤 代 新 市 様
一 宮 中	森 水 野 房 逸 郎 様	名 古 屋 南 中	杉 浦 喜 七 様	新 城	武 田 三 平 様
一 宮 中	村 井 富 治 様	名 古 屋 南 中	河 原 好 彦 様	岡 崎	堀 井 三 平 様
犬 山	宮 岡 史 郎 様	名 古 屋 名 南	近 藤 悦 子 様	豊 田	小 野 純 様
犬 山	山 田 中 栄 様	名 古 屋 名 駅	安 井 政 郎 様	豊 田	梅 村 正 夫 様
犬 山	山 田 中 栄 様	名 古 屋 名 駅	等 々 力 英 明 様	刈 谷	伊 藤 正 夫 様
春 日 井	大 畑 宏 治 様	名 古 屋 東 山	大 道 寺 徹 也 様	刈 谷	井 田 一 稔 様
名 古 屋 空 港	小 川 一 男 様	名 古 屋 守 山	山 田 達 樹 様	刈 谷	太 田 一 造 様
瀬 戸 北	余 語 彦 次 様	名 古 屋 和 合	森 武 保 様	安 城	鈴 木 清 一 様
瀬 戸 北	青 山 鍵 夫 様	名 古 屋 名 北	水 野 武 義 様	西 尾	榎 原 孝 夫 様
瀬 戸 北	青 山 鍵 夫 様	名 古 屋 千 種	加 藤 大 豊 様	西 尾	藤 井 友 一 様



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2760